

建築計画概要

■敷地概要

建 築 場 所：大阪府羽曳野市軽里3丁目6番5号
地 域 指 定：第1種中高層住居専用地域
防 火 指 定：法22条区域
その他の指定：景観地区（古墳群周辺地区）
道 路 斜 線：1.25勾配
隣 地 斜 線：20m+1.25勾配
日 影 規 制：高さが10mを超える建築物
4m・20/10・4時間/2.5時間

指定建蔽率：60%
指定容積率：200%
敷 地 面 積：2549.74㎡
前 面 道 路：北側 幅員2.31m～2.97m 接道長70.643m
南側 幅員3.03m～3.83m 接道長55.853m

給 水 設 備：前面道路 公共上水管から引込（直接給水方式）
排 水 設 備：前面道路 公共下水道へ接続
雨 水 排 水：前面道路 側溝に放流
電 気 設 備：前面道路 電柱から引込
ガ ス 設 備：前面道路 ガス本管から引込

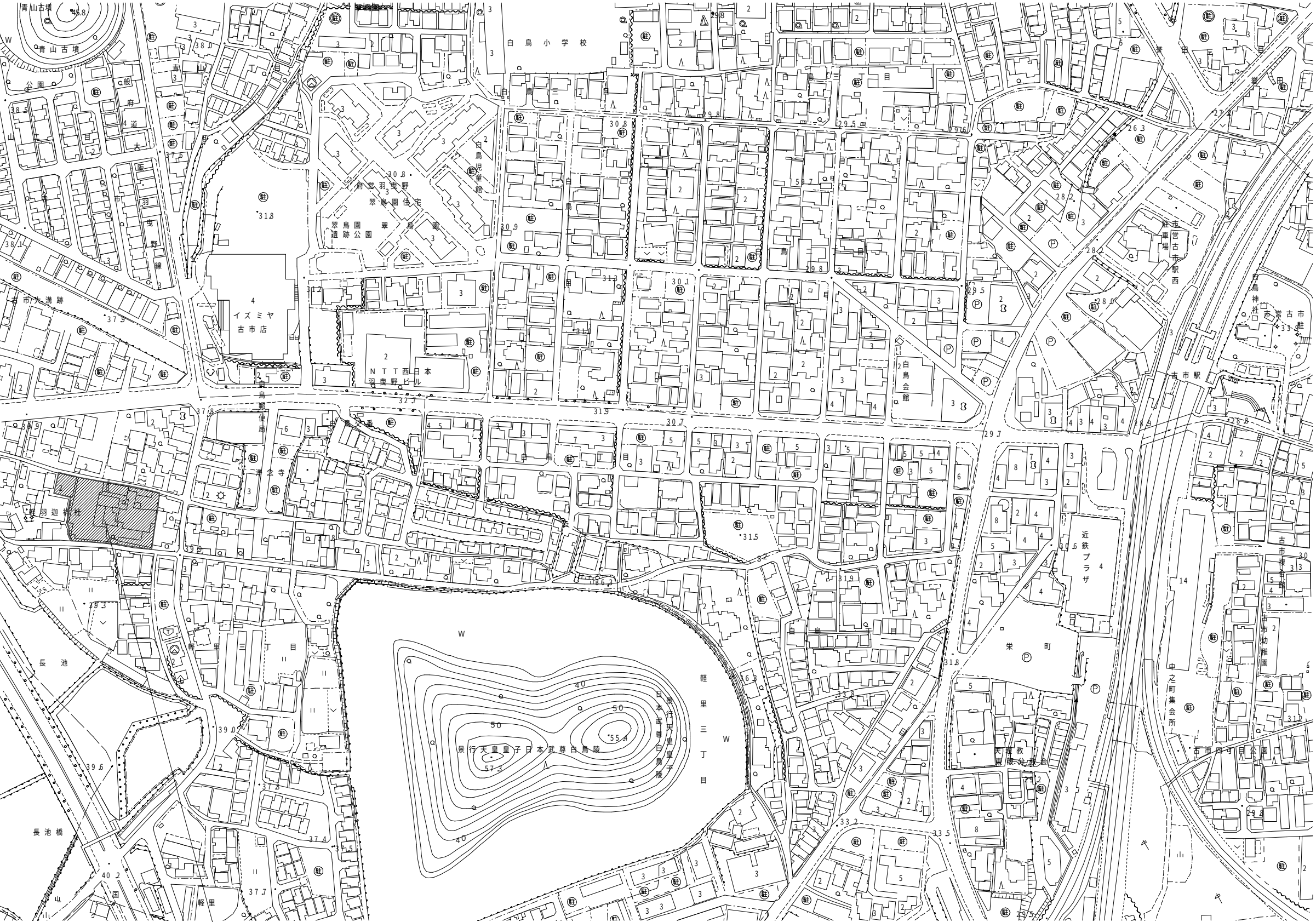
■建物概要

建 物 用 途：主屋棟/住宅（工事対象外）
長屋門・蔵棟/店舗・トイレ・倉庫
ミセ棟/店舗

工 事 種 別：改修
工 期：令和6年10月～令和7年9月
建 築 面 積：600.25㎡
延 床 面 積：618.61㎡
建 蔽 率：22.77% < 60%
容 積 率：23.45% < 200%
構 造 種 別：木造伝統工法

■留意事項

当該建物は昭和25年以前に建てられた既存不適格建築物であり、現代の基準とは異なる木造伝統工法でつくられている。建物を構成する主な素材として木と石を用い、屋根には粘土瓦、建具には紙を用いるなど、伝統的な素材でつくられている。
元の所有者はこの地で財をなし、造り酒屋を営む地域の有力者であり、主屋の規模は地域でも最大規模を誇る。
この地の伝統を受け継ぐ、最大規模の建物として貴重な建物であり、今後、多くの市民や外部からの訪問者を受け入れる施設として未永く活用するため、この建物の本来の良さ、本来の魅力、建物に込められた知恵を生かすことが求められる。
そのため、出来る限りもともと使われていた伝統の素材を用い、伝統の技法、工法で修理、改修することを基本とする。



計画地：
大阪府羽曳野市軽里3丁目6番5号

工事区分表																					
適用	項 目	建 築	電 気	空 気 調 和	衛 生	昇 降 機	別 途		テナント (別途)	備 考	適用	項 目	建 築	電 気	空 気 調 和	衛 生	昇 降 機	別 途		テナント (別途)	備 考
・	直接仮設	○	○	○	○	○					・	サイン類の本体（非電照式）	○								誘導標識等を含む
・	関係官公署への申請手続	○	○	○	○	○					・	サイン類の本体（電照式）	○								照明器具を含む
・	関係官公署の各種負担金						○				・	同上用電源		○							
・	本設受電後引渡までの電気使用料金	○	○	○	○	○				基本料金を含む	・	温沸室の流し台及びコンロ台								○	トラップは流し台に含む
・	本設水道、下水、ガスの引渡までの使用料金	○	○	○	○	○					・	同上への配管及び機器取付								○	
・	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造の梁・壁・床のスリーブ及び箱入	○	○	○	○						・	温沸室のレンジフード（ミニキッチン含む）								○	
・	同上の補強	○									・	同上のダクト及び接続								○	
・	同上の穴埋	○	○	○	○						・	厨房器具及び据付								○	
・	外壁貫通部の防水スリーブ	○									・	洗面器カウンター	○								
・	同上の配管後のシーリング	○	○	○	○						・	洗面化粧台	○			○					
・	設備機器設置用のコンクリート基礎	○									・	同上への配管接続				○					
・	設備機器設置用のアンカ用孔開及び箱入		○	○	○						・	便所等の化粧鏡（既製品）				○					
・	設備機器設置用のアンカ及び埋戻		○	○	○						・	便所等の面台	○								
・	設備機器設置用の鋼製架台		○	○	○						・	便所等の照明用ボックス	○								
・	設備機器設置用のコンクリート基礎の仕上	○									・	同上の照明器具		○							
・	屋外へのコンクリート配管立上	○									・	身障者便所の鏡				○					
・	同上の配管後開口部ふさぎ		○	○	○						・	システム便所(ユニット) の設置	○			○					
・	同上の配管廻のシーリング		○	○	○						・	空調、衛生設備用一般電動機及び据付			○	○					
・	雨水排水の縦桶及び最寄会所への接続	○			○						・	同上制御盤と電動機接続までの電気工事		○							VWF制御の場合は空調、衛生工事
・	雨水排水の会所桧及び屋外排水管	○			○						・	冷凍機、ボイラー等の操作蓋及び据付								○	
・	雨水排水の会所桧の蓋	○			○						・	同上の2次側電気工事								○	
・	汚水排水の会所桧及び蓋				○						・	空気熱源ヒートポンプパッケージの電源供給		○							
・	化粧蓋の場合の化粧仕上	○									・	同上の2次側電気工事			○						室外機から室内機の配管配線
・	機器搬入用仮設開口及び仕舞	○									・	消火器ボックス（埋込型）								○	
・	同上の機器搬入用フック及びホイストビーム	○									・	消火器ボックス（露出型）								○	
・	設備機器用の壁材の穴開(石・タイル等の場合)	○									・	消火器ボックス（消火栓箱に組込）								○	
・	設備機器用の壁材の穴開（ボード等の場合）	○									・	消火器（ＡＢＣ－10型）								○	
・	設備機器用の壁材の穴開(鋼板ﾊﾞﾙﾞﾙ・ｶﾞｽ等の場合)	○									・	消火器（大型）								○	
・	外壁ガラリーの取付	○								ベントキャップは除く	・	防犯監視盤						○			
・	同上のダクト接続用金物	○									・	防犯監視用の配管		○							
・	同上のダクト及び接続			○							・	同上の配線及び端末機器取付						○			
・	建具ガラリーの取付	○									・	同上の建具加工	○								
・	同上のダクト接続用金物	○									・	同上に取付機器又は組込機器						○			
・	同上のダクト及び接続			○							・	防犯監視設備から中央監視設備間の配管配線		○							
・	セルラーダクトの取付	○									・	諸官庁指導による追加変更工事						○			
・	ヘッダーダクトの取付		○																		
・	同上のマーカ－等の取付		○																		
・	同上の耐火処理	○																			
・	一般天井の設備機器取付用穴開	○																			
・	設備機器用取付用の壁及び天井の補強	○																			
・	天井及び床の点検口	○																			
・	シャフト等の点検口	○																			

特記仕様書

1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。

2. 本特記仕様書における採用事項

①. 項目欄は番号等に○印を付したものを適用する。

②. 項目欄に○印を附し特記事項欄に⊙印を附していない場合は標準仕様書による。

③. 特記事項は○印を附したものを適用する。但し⊙印の付かない場合は※印の附した事項を採用する。
○印と※印を附した場合は共に適用する。

3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。

○国土交通省大臣官房長官営繕部監修 公共建築木造工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版

・国土交通省大臣官房長官営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版

・国土交通省大臣官房長官営繕部監修 建築物解体工事共通仕様書 令和4年版

4. その他事項

・各項目欄の番号(例：1.4 ○○○)は標準仕様書の番号（章番号を除く）に照合する

・各項目欄の番号(例：表○.○.○、及び図○.○.○)は標準仕様書の各表、及び図番号に該当する項目とする

・各項目欄の番号(例：●公○章***、公***、●公***）は公共建築工事標準仕様書の各項目に相当する

・各項目欄の番号(例：1.* ○○○)は標準仕様書の番号（章番号を除く）に該当しない項目とする

章

項目

特記事項

1章 一般共通事項

④ 工事実績情報登録

1.* 建築基準法の風圧

・積雪に関する規定

④ 工事の記録等

④ 電気保安技術者

④ 施工条件

④ 養生材の処理等

④ 使用材料

④ 化学物質の濃度測定

④ 完成時の提出図書

④ 完成図

(CORINS)への登録：⊙行う ・行わない

基準風速： ・ $V_o=3.4$ (m/s) 平成12年建告第1454号第2

地表面粗度区分： ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ

積雪区分： ・区域=(32)／ $\alpha=0.0009$ ／ $\beta=0.00$ ／ $\gamma=0.21$ ／ $R=0$
平成12年建告第1445号 別表

工事報告書の書式等： ⊙協議により決定 ・指定の書式 ・任意の書式 ・

技術者の配置： ⊙配置する（・常駐 ⊙非常駐） ・配置しない

施工順序等の制約： ・無し ・有り【・現場説明書による ⊙図示 ・

工事車両の駐車場所： ・図示 ・現場説明書による ⊙協議により決定

資材、機材置場： ・図示 ・現場説明書による ⊙協議により決定

発生土仮置場： ・図示 ・現場説明書による ⊙協議により決定

その他の施工条件： ・図示 ・現場説明書による ・

発注者への引渡発生材： ※金属類及びPCB含有物 ・図示

特別管理産業廃棄物の有無： ・無し ・有り【分類； ・図示 ・

発生材のリサイクル： ・図示 ⊙建設発生木材、金属類、硬質塩化ビニル管類、蛍光ランプ類、小型二次電池

⊙仮設材以外の全ての建築材料（仕上材、下地材、副資材）のホルムアルデヒド放散量はJIS等の材料規格

において放散量が規定されている場合は原則としてF☆☆☆☆とする。但し使用予定材料にF☆☆☆☆が存在しない場合は監督員と協議のうえ決定する。

濃度測定： ・未実施 ⊙実施

化学物質濃度を下記のとおり測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し報告すること。

測定対象物質： ⊙ホルムアルデヒド ⊙トルエン ⊙キシレン ⊙エチルベンゼン

⊙スチレン ・図示 ・

測定方法： ・簡易法 ⊙パッシブ型採取機器 ・測定バッジ；

測定対象室： ・図示 ⊙店舗1、店舗2、店舗3

測定箇所数： ・図示 ⊙箇所 上記各室1箇所ずつ

・厚生労働省の標準的測定方法による場合の測定者は、環境計量証明事業所として登録を行っている者、又は作業環境測定事業所の有機溶剤の登録を行っている者とする。

完成図： ⊙必要 ・不要

保全に関する資料： ⊙必要 ・不要

提出部数： ※各2部 ・部

種類： ※表1.7.1 ・一般図 ⊙実施設計竣工図一式 ⊙施工承認図 ・

記入内容： ※表1.7.1 ・図示 ・

提出要領： ⊙データ形式【 ⊙C A D ⊙P D F ・

⊙A3原稿2つ折り製本 ・

2章 仮設工事

④ 監督職員事務所等

④ 工事用水

④ 工事電力

④ 仮囲い

3. 仮設物

監督職員事務所の設置： ・必要 ⊙不要

○監督員事務所の規模、設備、備品等

・（ ）号（会議室（ ）m²を含む）

・（ ）号に会議室（ ）m²を加えた規模

・専用電話 ・兼用FAX ・冷暖房機 ・机 ・椅子 ・書棚 ・検査用具 ・その他；

受注者事務所の設置： ・必要 ⊙不要

○受注者事務所の規模、設備、備品等

・（ ）号（会議室（ ）m²を含む）

・（ ）号に会議室（ ）m²を加えた規模

・専用電話 ・兼用FAX ・冷暖房機 ・机 ・椅子 ・書棚 ・検査用具 ・その他；

構内既存の施設： ⊙利用できない ・利用できる【・有償 ・無償】

構内既存の施設： ⊙利用できない ・利用できる【・有償 ・無償】

・動力以外利用できる【・有償 ・無償】

種類： ・仮囲い用成型鋼板；H=3.0m、t=1.2mm

・塗装溶融亜鉛メッキ鋼板波板；H=1.8m、t=0.19mm

⊙H=1.8m ⊙A型Hリケート；H=0.8m

3章 土・地業・基礎工事

● 3章 土工事

④ 埋戻し及び盛土

④ 建設発生土の処理

● 4章 地業工事

④ 2 材 料

④ 3 砂利及び砂地業

④ 4 捨てコンクリート地業

④ 5 床下防湿層

④ 基礎工事

● 5章 鉄筋工事

④ 1 鉄 筋

④ 2 溶接金網

④ 3 継手及び定着

④ 3 5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

④ 3 7 各部配筋

● 公2. 値切り等

材料： ・搬入真砂土（砂礫等の混入のないもの） ⊙掘削土（良質なもの）

種別： ・A種 ・B種 ・C種 ・D種

・現場説明書による ・構外搬出適切処理 ⊙構内指定場所堆積 ⊙構内指定場所敷均し

・他現場に搬入（ ） ・

・指定処分地（ ） ・

・本章の事項は構造特記仕様書による

● 公6. 砂利、砂、捨てコンクリート地業等

砂地業の種別： ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 ⊙再生砕石

防湿層の材料： ※ポリエチレンフィルム t=0.15mm ・

砂利及び砂地業の厚さ： ⊙図示 ※60mm ・100mm ・120mm ・150mm ・

捨てコンクリートの厚さ： ⊙図示 ※50mm ・ mm ・120mm ・150mm ・

床下防湿層の適用： ⊙適用しない ・適用する ・図示

床下防湿層の範囲： ・図示 ・

4. 基礎工事

・本章の事項は構造特記仕様書による

・本章の事項は構造特記仕様書による

● 公2. 材 料

鉄筋の種別： ・SR295 ・SD295A ・SD295B ・SD345 ・SD390 ⊙図示 ・

溶接金網の寸法、径： ・φ6x150x150 ・φ6x100x100 ・φ4.5x50x50 ⊙図示 ・

● 公3. 加工及び組立

継手の種類： ・重ね継手 ・ガス圧接継手 ・機械継手 ⊙図示 ・

継手の位置： ⊙図示 ・

柱主筋の重ね継手長さ： ・40d(50d) ・図示 ・

梁主筋の重ね継手長さ： ・40d(50d) ・図示 ・

耐力壁鉄筋の重ね継手長さ： ※40d(50d) ・図示 ・

先組み工法等の継手の位置： ・図示 ・

鉄筋の定着長さ： ※表5.3.4による ・図示 ・

折曲げ定着の方法： ※図5.3.3による ・図示 ・

機械式定着工法の適用箇所、種類： ・図示 ・

鉄筋の最小かぶり厚さ： ※表5.3.6による ・図示 ・

溶接金網の最小かぶり厚さ： ※表5.3.6による ・図示 ・

土に接する柱、梁、スラブ及び壁の鉄筋のかぶり厚さ（軽量コンクリートの場合）：
⊙図示 ・40mm ・50mm ・60mm ・

塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋のかぶり厚さ： ・図示 ・

各部の配筋： ⊙図示 ・

● 公2. コンクリートの種類及び品質

コンクリートの種別： ※Ⅰ類 ・Ⅱ類

気乾単位容積質量による種類： ・軽量コンクリート（下表による） ・図示

施工部位	設計基準強度(N/mm2)	備 考
・ルーフバルコニー防水押え	・18 ・21	
・屋上防水押え	・18 ・21	
・浴室防水押え	・18 ・21	

コンクリートの要求性能等による種類： ・図示 ・

コンクリートの種別： ※Ⅰ類 ・Ⅱ類

特殊な要求性能のコンクリートの適用： ・図示 ・

大臣認定を受けたコンクリートの適用： ・図示 ・

④ 2 コンクリートの強度

④ 4 ワークability、スランプ

④ 5 構造コンクリートの仕上り

④ 1 コンクリートの材料

④ 2 コンクリートの調合

④ 3 打継ぎ

④ 2 湿潤養生

公8.1 型枠一般

④ 2 材 料

気乾単位容積質量による種類： ・普通コンクリート（下表による） ・図示

施工部位	設計基準強度(N/mm2)	備 考
・構造躯体（基礎～ 階）	30	
・構造躯体（ 階～ 階）	24	
・構造躯体（ 階～ 階）	21	
・捨てコンクリート	・18 ・21	

コンクリートの要求性能等による種類： ・図示 ・

スランプ： ※表6.2.2による ・図示 ・

打放し仕上げの種別（合板せき板を用いる場合）

施工部位	種別	備 考
・化粧打放し部	A種	
・打放し補修下地部	B種	
・基礎部	C種	

コンクリートの仕上りの平坦さ： ・a種 ・b種 ・c種

● 公3. コンクリートの材料及び調合

セメントの種類： ※普通ポルトランドセメントA種 ※混合セメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種

高炉セメントB種の適用箇所： ・図示 ・基礎 ・地中梁 ・

フライアッシュセメントB種の適用箇所： ・図示 ・

骨材の種類： ※JIS A 5308(付属書A)の骨材 ・規定外の骨材：

細骨材の種類： ※JIS A 5308(付属書A)の細骨材 ・規定外の細骨材：

骨材のアルカリシリカ反応性による区分： ※A ・B

混和剤： ・AE剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・

混和材： ・フライアッシュ ・高炉スラグ微粉末 ・膨張剤 ・

混和材料の使用法等： ・図示 ※製造所資料に基づき承諾

コンクリートの構造体強度補正値(S)： ※表6.3.2による ・図示 ・

● 公6. コンクリートの工事現場内運搬、打込み及び締固め

打継ぎの位置： ※梁、スラブ；スラブの中央(1/4) ※柱、壁、梁、基礎の上端 ・図示

打継ぎ目地の見付寸法： ・図示 ・25mm ・20mm ・15mm ・

● 公7. 養 生

普通エコセメントの養生期間： ・5日 ・7日 ・

● 公8. 型 枠

外部に面する打放し仕上げの増打厚さ： ・25mm ・20mm ・15mm ・

ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法： ・下表による ・図示 ・

施工部位	位置	形状	寸法(見付x深さ)
・片持ちスラブ	・図示	・両転び ・片転び	20mmx15mm
・外部開口部廻り	・図示	・両転び ・片転び	15mmx12mm
・壁タイル張り仕上面	・図示	・両転び ・片転び	15mmx10mm

スリーブの材種等等： ・銅管 ・VP管 ・溶融亜鉛めっき銅板 ・つば付き銅管

型枠の材料等： ⊙下表による ・図示 ・

種類	種別・厚さ	材質
⊙合板	※「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm	※複 合
	・「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm	※南洋材
・床型枠用鋼製デッキプレート		・針葉材

鋼材の形状及び寸法： ・図示 ・

断熱材を兼用した型枠材： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・

MCR工法： ・適用する【適用箇所： ・図示 ・

スリーブ： ・硬質塩化ビニル管 ・溶融亜鉛めっき銅管 ・銅管 ・つば付き銅管 ・銅管 ・紙フェノール

● 公10. 軽量コンクリート

土に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・

水に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・

軽量コンクリート種類： ・下表による ・図示 ・

施工部位	種類	備 考
・ルーフバルコニー防水押え	・1種 ・2種	
・屋上防水押え	・1種 ・2種	
・浴室防水押え	・1種 ・2種	

所要スランプ： ※21cm以下 ・18cm以下 ・図示 ・

● 公11. 寒中コンクリート

適用期間： ・図示 ・1.1月 日～4月 日まで

積算温度の採用： ・採用する ・採用しない

公10.1 一般事項

公10.2 種類及び品質

公11.1 一般事項

公11.2 材料及び調合

株式会社 西 本 組

西 本 建 築 事 務 所

nishimoto architect office

一般建築士事務所

奈良県知事登録 第2023 (ろ) 2495号

〒630-0234 奈良県生駒市萩原町20

TEL 0743-77-8095 FAX 0743-77-8126

管理建築士・1級建築士 第341443号 西本 翠

〒174-0074 東京都板橋区東新町2-25-15

TEL 03-3959-0768 FAX 03-5926-9868

Project

羽曳野市旧浅野家住宅 実施設計

Date 2024.07.31

Architect 西本 翠

Scale none

Sheet No. D-03

Title 共 通 建築 特記仕様書 -1

Drawing 西本 成 志

Check 西本 翠

項 目		特記事項				
◆ J A S 以外の化粧ばり構造用集成柱： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・						
使用部位	強度等級	樹種 心材化粧材/厚さ	見付材 面品質	区分等級	備 考	
	E190-F615		1面1等	1等	※15%	
	E105-F345		4面2等	2等		
	E65-F255					
◎造作用単板積層材						
◆ J A S による造作用単板積層材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・						
使用部位	仕上げ	表面の品質	防腐防蟻処理	備 考		
	仕上有	1等	・有 ・無	天然木化粧加工		
	仕上有	2等	・有 ・無	塗装加工		
	未仕上	3等	・有 ・無			
◆ J A S 以外の造作用単板積層材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・						
使用部位	仕上げ	含水率	表面の品質	防腐防蟻処理	備 考	
	仕上有	※14%	1等	・有 ・無	天然木化粧加工	
	仕上有	※14%	2等	・有 ・無	塗装加工	
	未仕上	※14%	3等	・有 ・無		
◎直交集成板						
◆ J A S による直交集成板： ・下表による（寸法は図示） ・図示						
使用部位	曲げ強度	種別	接着性能	樹種区分	備 考	
	Mx120-3-3	A種構成	使用環境A	S1		
	Mx 60-9-9	B種構成	使用環境B	S2		
	S120-3-3		使用環境C	S3		
	S 30-9-9			S4		
2.3 合板等 ◎下地用合板						
◆ J A S による普通合板						
使用部位	表板樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	板面の品質	等級・処理・寸法等	
	㍻㍺	※5.5	※1類	※2等	F☆☆☆☆/防虫処理材	
	㍻	9	2類	1等		
	・図示	12		※C-D		
◆ J A S による構造用合板						
使用部位	表板樹種名	等級	接着の程度	板面の品質	処理・寸法等	
外壁・内壁耐力壁	針葉樹	1級	特類	A-B	F☆☆☆☆/防虫処理材	
各室床下地捨て張り	㍻	2級	1類	B-C		
内壁耐力壁	㍻			D-D		
◆ J A S による化粧ばり構造用合板						
使用部位	表板樹種名	等級	接着の程度	板面の品質	処理・寸法等	
外壁・内壁耐力壁	針葉樹	1級	特類	A-B	F☆☆☆☆/防虫処理材	
各室床下地捨て張り	㍻	2級	1類	B-C		
内壁耐力壁	㍻			D-D		
◆ J A S による天然木化粧合板						
使用部位	品 名	厚さ (mm)	単板樹種名	接着の程度	備 考	
		12		1類	F☆☆☆☆/防虫処理材	
		15		2類	F☆☆☆☆/防虫未処理	
◆ J A S による特殊加工化粧合板						
使用部位	品 名	厚さ (mm)	表面性能㍻㍺	接着の程度	備 考	
		12	・F ・FW	1類	ォｰレ/防虫処理材	
		15	・W ・SW	2類	ﾌﾟﾘｯﾄ/防虫未処理	
◆パーティクルボード						
使用部位	厚さ (mm)	曲げの区分	接着の区分	難燃性区分	備 考	
	※15			※13P/M		
	18					
◆ J A S による構造用パネル						
使用部位	品 名	厚さ (mm)	曲げ等級	備 考		
		図示	・1級 ・2級	ォｰレ/防虫処理材		
		25	・3級 ・4級	ﾌﾟﾘｯﾄ・塗装/防虫未処理		
◆ミディアムデンシティーファイバーボード (構造用 M D F)						
使用部位	厚さ (mm)	表面状態区分	曲げの区分	接着の区分	難燃性区分	備 考
	※15	・RN ・RS	・30 ・25	U	難燃2	
	18	・DV ・D0 ・DC	・15 ・5	M	難燃3	
				P		
㉑ 接合具等		釘： ※釘 (JIS A 5508) ・その他の接合具 (図示) 仕上げ釘打ちの工法： ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 木ねじ： ※木ねじ (JIS B 1112,1135) ・その他の接合具 (図示)				

項 目	特記事項					
◆ J A S 以外の化粧ばり構造用集成柱： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・						
使用部位	強度等級	樹種 心材化粧材/厚さ	見付材 面品質	区分等級	備 考	
	E190-F615		1面1等	1等	※15%	
	E105-F345		4面2等	2等		
	E65-F255					
◎造作用単板積層材						
◆ J A S による造作用単板積層材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・						
使用部位	仕上げ	表面の品質	防腐防蟻処理	備 考		
	仕上有	1等	・有 ・無	天然木化粧加工		
	仕上有	2等	・有 ・無	塗装加工		
	未仕上	3等	・有 ・無			
◆ J A S 以外の造作用単板積層材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・						
使用部位	仕上げ	含水率	表面の品質	防腐防蟻処理	備 考	
	仕上有	※14%	1等	・有 ・無	天然木化粧加工	
	仕上有	※14%	2等	・有 ・無	塗装加工	
	未仕上	※14%	3等	・有 ・無		
◎直交集成板						
◆ J A S による直交集成板： ・下表による（寸法は図示） ・図示						
使用部位	曲げ強度	種別	接着性能	樹種区分	備 考	
	Mx120-3-3	A種構成	使用環境A	S1		
	Mx 60-9-9	B種構成	使用環境B	S2		
	S120-3-3		使用環境C	S3		
	S 30-9-9			S4		
2.3 合板等 ◎下地用合板						
◆ J A S による普通合板						
使用部位	表板樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	板面の品質	等級・処理・寸法等	
	㍻㍺	※5.5	※1類	※2等	F☆☆☆☆/防虫処理材	
	㍻	9	2類	1等		
	・図示	12		※C-D		
◆ J A S による構造用合板						
使用部位	表板樹種名	等級	接着の程度	板面の品質	処理・寸法等	
外壁・内壁耐力壁	針葉樹	1級	特類	A-B	F☆☆☆☆/防虫処理材	
各室床下地捨て張り	㍻	2級	1類	B-C		
内壁耐力壁	㍻			D-D		
◆ J A S による化粧ばり構造用合板						
使用部位	表板樹種名	等級	接着の程度	板面の品質	処理・寸法等	
外壁・内壁耐力壁	針葉樹	1級	特類	A-B	F☆☆☆☆/防虫処理材	
各室床下地捨て張り	㍻	2級	1類	B-C		
内壁耐力壁	㍻			D-D		
◆ J A S による天然木化粧合板						
使用部位	品 名	厚さ (mm)	単板樹種名	接着の程度	備 考	
		12		1類	F☆☆☆☆/防虫処理材	
		15		2類	F☆☆☆☆/防虫未処理	
◆ J A S による特殊加工化粧合板						
使用部位	品 名	厚さ (mm)	表面性能㍻㍺	接着の程度	備 考	
		12	・F ・FW	1類	ォｰレ/防虫処理材	
		15	・W ・SW	2類	ﾌﾟﾘｯﾄ/防虫未処理	
◆パーティクルボード						
使用部位	厚さ (mm)	曲げの区分	接着の区分	難燃性区分	備 考	
	※15			※13P/M		
	18					
◆ J A S による構造用パネル						
使用部位	品 名	厚さ (mm)	曲げ等級	備 考		
		図示	・1級 ・2級	ォｰレ/防虫処理材		
		25	・3級 ・4級	ﾌﾟﾘｯﾄ・塗装/防虫未処理		
◆ミディアムデンシティーファイバーボード (構造用 M D F)						
使用部位	厚さ (mm)	表面状態区分	曲げの区分	接着の区分	難燃性区分	備 考
	※15	・RN ・RS	・30 ・25	U	難燃2	
	18	・DV ・D0 ・DC	・15 ・5	M	難燃3	
				P		
㉑ 接合具等		釘： ※釘 (JIS A 5508) ・その他の接合具 (図示) 仕上げ釘打ちの工法： ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 木ねじ： ※木ねじ (JIS B 1112,1135) ・その他の接合具 (図示)				

14章 屋根及び びとい工事	③ 工 法	建築基準法の基づく風圧力に対応した工法： ・構造計算により安全性が確認された工法 瓦の緊結方法： ※告示第109号による緊結 ・告示第1485号の構造計算方法により安全性が確認された緊結 瓦の緊結用釘等の有効長さ： ・野地板の厚さの1/2以上に達する長さ ・野地板を貫通する長さ 瓦枚木の留付け工法： ※「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」に準拠した工法 ・ 棟の工法： ・図示 ・7寸丸伏せ棟 ・F形用冠伏伏せ棟 ・のし積み棟 面戸、雀口等の仕上げ： ・しっくい塗り ・モルタル塗り ・図示 ・ 8. と い 金属板の材種： ・塗装溶融亜鉛めっき銅板 ・塗装溶融亜鉛-5%7%ミニウム合金めっき銅板 ・ポリ塩化ビニル被覆金属板 ⑤塗装溶融55%7%ミニウム-亜鉛合金めっき銅板 ・塗装ステンレス銅板 ・冷間圧延ステンレス銅板 ・ 銅板の厚さ（一般部）： ※0.35mm ・0.4mm ・ 銅板の厚さ（谷とい部）： ※0.4mm ・0.6mm ・ 硬質塩化ビニル樹脂製といの種類： ・丸形VP管(カー) ・丸形VU管(カー) ・角形(カー) 硬質塩化ビニル樹脂製といの呼径： ・50A ・65A ・75A ・ 硬質塩化ビニル樹脂製といの長さ： ・図示 ・ 集水器の形状等： ・図示 ・ あんこうの形状等： ・図示 ・	17章 建具工事	③.2 材 料	●公7. 木製建具 建具材の加工、組立て時の含水率の種別： ・A種 ※B種 ・C種 ・フラッシュ戸の心材の中骨、上下棧及び中棧には空気穴を適正に設ける。 合板類の適用： ・適用 ⑤適用しない ・図示 種類： ・ラワン合板 ・シナ合板 ・図示 ・ かまち戸の樹種： ・桧 ・ナラ ・アヲ ⑤杉 鏡板の樹種： ⑤杉 ・桧 ・ササキ ・ナラ ・アヲ ふすまの上張りの種類： ・本鳥の子 ・新鳥の子 ・ビニル紙 ・ 代用樹種等を適用しない箇所： ・ フラッシュ戸の表面板の厚さ： ※表16.7.6による ・ かまち戸の見込寸法： ⑤図示 ※36mm ・ ふすまの見込寸法： ・図示 ※19.5mm ・ 戸ふすまの見込寸法： ・図示 ※30mm ・ 紙貼障子の見込寸法： ・図示 ※30mm ・ ふすまの工法： ・I型 ・II型 ・ ふすまの縁の仕上げ： ・図示 ・本漆塗り ・カユ塗り ・ウチ塗装 ・素木 ・ 枠の材料： ・図示 くつずりの材料： ・図示 ●公8. 建具用金物 適用範囲： ・建具製作所仕様以外の金物（ 金物の種類、材質： ※表16.8.1による ・ 軸吊りヒンジ： ・自閉装置付き ・自閉装置なし ドアクローザのディレードアクション（遅延閉）機能の適用： ・適用 ・適用しない 戸当り： ・あおり止め(フック)付き ・あおり止め(フック)付きなし 金属製建具の丁番： ※表16.8.2による ・ 樹脂製建具の丁番： ※表16.8.3による ・ 木製製建具の丁番： ※表16.8.4による ・ ドアハンドル類の取付け位置： ・FL+900 ・FL+1,000 ・図示 ・ クレセント類の取付け位置： ・窓高さの1/2高さ（高窓は協議による） ・図示 ・ マスターキー： ・製作する ・製作しない ⑤マスターキーの製作については施設管理者及び監督員と協議する。 マスターキーの系統： ・ 系統 指定建物錠の防犯性能の適用： ・する ・しない 指定建物錠とは、建物の外部出入口用に用いるシリンダー錠・シリンダー/サムターン錠が該当 耐ピッキング性能 ・5分未満 ・5分以上 ※10分以上 耐鍵穴壊し性能 ・5分未満 ・5分以上 ※10分以上 耐サムターン回し性能 ・なし(5分未満) ※あり(5分以上) 耐カム送り解錠性能 ・なし(5分未満) ※あり(5分以上) 耐こじ破り性能 ・なし(5分未満) ※あり(5分以上) 出荷時の子鍵本数： ※3本 ・ 本 鍵箱の適用： ⑤必要 ・不必要 ●公10. 自閉式上吊り引戸装置 性能： ※表16.10.1による ・ ●公14. ガラス ガラスの種類： ⑤図示 ・ ガラス留め材 金属性製建具用パテはJISA5752による。 <table><tr><th>建具の種類</th><th>種類・材質</th></tr><tr><td>・アルミニウム製</td><td>・シーリング材 ※カスケット ・パテ材(・1種 ・2種)</td></tr><tr><td>・鋼 製</td><td>※シーリング材 ・パテ材(・1種 ・2種)</td></tr><tr><td>・ステンレス製</td><td>※シーリング材 ・パテ材(・1種 ・2種)</td></tr><tr><td>⑤木 製</td><td>※シーリング材 ・パテ材(・木製用 ・)</td></tr></table> ガラス溝の大きさ： ※製造所仕様による ・図示 表面形状： ・図示 ・ブレン ・梨地 ・カシミ ・ 寸法、厚み： ・図示 ・190x190x95 ・145x145x95 ・ 壁用金属枠： ・図示 ・アルミニウム製 ・スチール製 ・ステンレス製 ・ 補強剤： ・図示 ・ 化粧目地の色： ・白 ・グレー ・黒 ・ シーリング材： ・ポリウレタン系 ・ウレタン系 ・シリコン系 ・ 金属製化粧カバー： ・図示 ・ 壁用金属枠の留付間隔(木造下地)： ・製造所の仕様 ・450mm ・300mm 風圧力に対応した工法： ・ 目地幅： ※標準仕様書による ・ 伸縮調整目地の位置： ※標準仕様書による ・ 伸縮調整目地の仕上： ※標準仕様書による ・	建具の種類	種類・材質	・アルミニウム製	・シーリング材 ※カスケット ・パテ材(・1種 ・2種)	・鋼 製	※シーリング材 ・パテ材(・1種 ・2種)	・ステンレス製	※シーリング材 ・パテ材(・1種 ・2種)	⑤木 製	※シーリング材 ・パテ材(・木製用 ・)	18章 塗装工事	●公18章 塗装工事 公1.3 材 料 ③.1～2.7 ***素地ごしらえ 公4.2 木部***塗り 公4.3 鉄鋼面***塗り 公5.2 珪酸エマルジョン塗り 公9.2 合成樹脂***塗り 公10.2 ウレタン樹脂7:2:1塗り 公11.2 ステン塗り 公12.2 木材保護塗料塗り	●公1. 共通事項 塗料の防火材料の指定： ・図示 ・無 ・有（ ●公2. 素地ごしらえ <table><tr><th>塗装面の種類</th><th>種 別</th></tr><tr><td>木部（不透明塗料塗り部）</td><td>※A種 ・B種</td></tr><tr><td>木部（透明系塗料塗り部）</td><td>・A種 ※B種</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>・A種 ・B種 ※C種</td></tr><tr><td>亜鉛メッキ鋼面</td><td>・A種 ・B種</td></tr><tr><td>モルタル、ブラスター</td><td>・A種 ※B種</td></tr><tr><td>コンクリート、ALCパネル</td><td>・A種 ※B種</td></tr><tr><td>押出成形ポリ板</td><td>・A種 ※B種</td></tr><tr><td>せっこうその他のボード</td><td>縦目処理工法の場合： ※A種 ・B種 その他の場合： ・A種 ※B種</td></tr></table> ●公4. 合成樹脂調合ペイント塗り（SOP） 種別（外部）： ※A種 ・B種 種別（内部：多孔質広葉樹以外）： ・A種 ※B種 種別（内部：多孔質広葉樹）： ・A種 ・B種 種別： ・A種 ※B種 ●公5. クリヤラッカー塗り（CL） 種別： ・A種 ※B種 ●公9. 合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP） 種別： ・A種 ※B種 ●公10. ウレタン樹脂ワニス塗り（UC） 種別： ・A種 ※B種 ●公11. ステン塗り 塗料の種別： ・図示 ・ ●公12. 木材保護塗料塗り（WP） 種別： ・A種 ※B種	塗装面の種類	種 別	木部（不透明塗料塗り部）	※A種 ・B種	木部（透明系塗料塗り部）	・A種 ※B種	鉄鋼面	・A種 ・B種 ※C種	亜鉛メッキ鋼面	・A種 ・B種	モルタル、ブラスター	・A種 ※B種	コンクリート、ALCパネル	・A種 ※B種	押出成形ポリ板	・A種 ※B種	せっこうその他のボード	縦目処理工法の場合： ※A種 ・B種 その他の場合： ・A種 ※B種							
	建具の種類	種類・材質																																									
・アルミニウム製	・シーリング材 ※カスケット ・パテ材(・1種 ・2種)																																										
・鋼 製	※シーリング材 ・パテ材(・1種 ・2種)																																										
・ステンレス製	※シーリング材 ・パテ材(・1種 ・2種)																																										
⑤木 製	※シーリング材 ・パテ材(・木製用 ・)																																										
塗装面の種類	種 別																																										
木部（不透明塗料塗り部）	※A種 ・B種																																										
木部（透明系塗料塗り部）	・A種 ※B種																																										
鉄鋼面	・A種 ・B種 ※C種																																										
亜鉛メッキ鋼面	・A種 ・B種																																										
モルタル、ブラスター	・A種 ※B種																																										
コンクリート、ALCパネル	・A種 ※B種																																										
押出成形ポリ板	・A種 ※B種																																										
せっこうその他のボード	縦目処理工法の場合： ※A種 ・B種 その他の場合： ・A種 ※B種																																										
●公15章 左官工事 公2.4 ラス系下地 ③.5 セっこうボード その他のボード下地 公2.6 こまい下地 公2.7 木ずり下地 公3.2 材 料 公3.5 工 法 ③.10.1 一般事項 ③.10.2 材 料 ③.10.3 調合及び塗厚 公10.4 工 法 ③.11.2 材 料 ③.11.3 調 合 ③.11.4 塗 厚 ③.11.5 工 程 公11.7 土物仕上げ ③.11.8 大津仕上げ	●公2. 下 地 通気工法ラス系下地の種類： ・二層下地 ・単層下地 ・図示 直張り工法ラス系下地の種類： ・スチール下地 ・ラスシート下地 ・図示 ラス下地板の指定： ・耐力壁仕様 ・防火構造 ・準耐火構造 ・図示 換気口部の措置： ※「公共建築木造工事標準仕様書/11.4.3施工」による ・図示 ラスシート下地の指定： ・耐力壁 ・図示 <table><tr><th>種 類</th><th>厚さ(mm)</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>⑤GB-R ・GB-F</td><td>12.5 15</td><td>店舗1、店舗2、倉庫</td></tr><tr><td>・木毛ポリ板</td><td>20</td><td></td></tr><tr><td>・硬質木片ポリ板</td><td>18</td><td></td></tr></table> こまい下地の指定： ・耐力壁 ・図示 木ずり用小幅板の樹種： ※杉(芯去り材) ・桧(芯去り材) ・ ●公3. モルタル塗り モルタル： ・現場調合材料 ・既調合材料 既製目地： ・適用 ・不適用 既製目地の形状寸法等： ・図示 ・ 床の目地： ・設ける ・設けない 工法： ※押し目地 ・切り目地 ・ 外壁タイル下地モルタルの接着力試験： ・行う ・行わない ●公10. しっくい塗り しっくいの下地： ※標準仕様書15.10.1による ・図示 しっくい： ⑤現場調合材料 ・既調合材料(種類等；) 既調合しっくいの各層の塗厚： ※表15.10.1及び表15.10.2による ・図示 現場調合しっくいの各層の塗厚： ※表15.10.3及び表15.10.4による ・図示 既調合しっくいの上塗り仕上げ： ・なで切り仕上げ ・パターン仕上げ ●公11. こまい壁塗り 土壁用のり： ・ふのり ・つのまた ・ぎんなんそう ・粉末海藻 ・図示 大津壁用のり： ・ふのり ・つのまた ・こんにゃくのり ・にかわ ・合成高分子系混和剤 ・図示 色砂： ・天然砂 ・岩石の砕砂 ・人工着色砂 ・ 下塗りの調合： ※表15.11.2による ・図示 塗厚： ※表15.11.8による ・図示 工程の種別： ※A種 ・B種 工法の種類： ・土物仕上げ工法(・水ごね土物1工法 ・水ごね土物2工法) ・土物仕上げ工法(・のりさし土物工法 ・のりこね土物工法) ・砂壁仕上げ工法 ・切返し仕上げ工法 ちりじゃくり： ・図示 ・ 工法の種類： ⑤普通大津仕上げ工法 ・大津みがき仕上げ工法	種 類	厚さ(mm)	施工箇所	⑤GB-R ・GB-F	12.5 15	店舗1、店舗2、倉庫	・木毛ポリ板	20		・硬質木片ポリ板	18		③.2 材質、形状及び寸法 ③.3 形状及び仕上げ 公7.4 工 法 公8.1 一般事項 ③.2 材質、形状及び寸法 ③.3 取付け施工 ③.4 鍵 ③.10.3 性能等 ③.14.2 材 料 ③.14.3 ガラス溝の寸法形状等 公14.5 ガラスの積み	19章 内装工事	●公19章 内装工事 ③.2 材 料 ●公2. ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り ビニル床シートの材料： ・図示 ・下表による <table><tr><th>種 類</th><th>記号</th><th>色柄</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td>・発泡砲層のないビニル床シート</td><td>※FS ・NS</td><td>※無地 ・マーブル</td><td>※2.0 ・2.5</td></tr><tr><td>・発泡層のあるビニル床シート(クッションフロア)</td><td>・DO</td><td></td><td>※2.3 ・3.5</td></tr></table> ビニル床タイル、ゴム床タイルの材料： ・図示 ・下表による <table><tr><th>種 類</th><th colspan="2">厚さ(mm)</th></tr><tr><td>・コンポジットビニル床タイル</td><td>半硬質(CT)</td><td>・2.0 ・</td></tr><tr><td>・コンポジットビニル床タイル</td><td>軟質(CTS)</td><td>・2.0 ・</td></tr><tr><td>・ホモポリエチレンビニル床タイル(HT)</td><td></td><td>・2.0 ・</td></tr><tr><td>・ゴム床タイル</td><td>・無地 ・マーブル</td><td>・4.0 ・</td></tr></table> ◎帯電防止床シート張り 種類： ・ 性能： ・体積抵抗値(1.0x10 ⁹ Ω) ・ 厚さ： ・2.0mm ・4.0mm ・4.5mm ・ ◎帯電防止床タイル張り 種類： ・ 性能： ・体積抵抗値(1.0x10 ⁹ Ω) ・ 寸法厚さ： ・300x300x2.0mm ・500x500x3.0mm ・図示 ◎視覚障害者用床タイル張り 種類： ・合成ゴム貼付用 ・合成ゴム埋込用 ・合成ゴム裏面CON ・せっ器質タイル ・コンクリート 厚さ： ・2mm ・15mm ・20mm ・30mm ・ ◎耐動荷重性床シート張り 種類： ・ 厚さ： ・ mm ・ ◎防滑性床シート張り 種類： ・ 厚さ： ・ mm ・ ◎防滑性床タイル張り 種類： ・ 寸法厚さ： ・300x300x2.0mm ・500x500x3.0mm ・図示	種 類	記号	色柄	厚さ(mm)	・発泡砲層のないビニル床シート	※FS ・NS	※無地 ・マーブル	※2.0 ・2.5	・発泡層のあるビニル床シート(クッションフロア)	・DO		※2.3 ・3.5	種 類	厚さ(mm)		・コンポジットビニル床タイル	半硬質(CT)	・2.0 ・	・コンポジットビニル床タイル	軟質(CTS)	・2.0 ・	・ホモポリエチレンビニル床タイル(HT)		・2.0 ・	・ゴム床タイル	・無地 ・マーブル	・4.0 ・
種 類	厚さ(mm)	施工箇所																																									
⑤GB-R ・GB-F	12.5 15	店舗1、店舗2、倉庫																																									
・木毛ポリ板	20																																										
・硬質木片ポリ板	18																																										
種 類	記号	色柄	厚さ(mm)																																								
・発泡砲層のないビニル床シート	※FS ・NS	※無地 ・マーブル	※2.0 ・2.5																																								
・発泡層のあるビニル床シート(クッションフロア)	・DO		※2.3 ・3.5																																								
種 類	厚さ(mm)																																										
・コンポジットビニル床タイル	半硬質(CT)	・2.0 ・																																									
・コンポジットビニル床タイル	軟質(CTS)	・2.0 ・																																									
・ホモポリエチレンビニル床タイル(HT)		・2.0 ・																																									
・ゴム床タイル	・無地 ・マーブル	・4.0 ・																																									
17章 建具工事	●公16章 内装工事 公1.3 防火戸 ③.4 見本の制作等 公1.6 その他	●公1. 共通事項 防火戸の指定： ・図示 ・ ・防火戸等の自動閉鎖装置は、日本建築センター評定品とする。 建具見本の制作： ・必要 ⑤不要 仮組の実施： ・行う ⑤行わない 防犯建物部品の適用： ・図示 ・適用 ・適用しない																																									

19章 内装工事	項 目	特記事項	章	項 目	特記事項	章	項 目	特記事項																																																																																																
	公2.3 施 工	ビニル幅木の厚み： ※1.5mm以上 ・ ビニル幅木の高さ： ※60mm ・100mm ・300mm ㊦50mm 下地の工法： ※標準仕様書19.2.3(1)による ・図示 目地処理場合の工法： ※熱溶接工法 ・図示 ・ ●公4．合成樹脂塗床 <table><tr><th>種 類</th><th>仕上げ種類</th><th>備 考</th></tr><tr><td>㊦弾性樹脂塗り床材</td><td>※平滑 ・防滑 ・つや消し</td><td>F☆☆☆☆</td></tr><tr><td rowspan="3">・I樹脂樹脂塗り床材</td><td>・薄膜流し展べ</td><td>F☆☆☆☆</td></tr><tr><td>・厚膜流し展べ： ※平滑 ・防滑</td><td></td></tr><tr><td>・樹脂貼付： ・平滑 ・防滑</td><td></td></tr></table> ●公7．せっこうボード、その他ボード及び合板張り <table><tr><th>規格名称</th><th>種 類</th><th>記号</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">木質系セメント板</td><td>・木毛セメント板</td><td>・HW ・NW</td><td>・25・50</td></tr><tr><td>・木片セメント板</td><td>・HF ・NF</td><td>・18 ・</td></tr><tr><td>せっこうボード製品</td><td>※図示 ・</td><td>※図示 ・</td><td>※図示 ・</td></tr><tr><td>繊維強化セメント板</td><td>・ケイ酸加減量板(タイプ2)</td><td>・0.8FK</td><td>※図示 ・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・1.0FK</td><td>※図示 ・</td></tr><tr><td rowspan="2">パーテイクボード繊維板</td><td rowspan="2">・</td><td>・RS・VS</td><td>※図示 ・</td></tr><tr><td>・DV・D0・DC</td><td>※図示 ・</td></tr><tr><td>火山性ガラス質複層板(VSボード)</td><td>・</td><td>・</td><td>※図示 ・</td></tr></table> ◎合板 <table><tr><th>材 種</th><th>樹種・防虫・難燃・防煙処理等</th><th>厚さ(mm)</th><th>工法</th></tr><tr><td rowspan="2">・難燃合板</td><td>生地のまま又は透明塗料塗りの場合 ・ワック ・</td><td>・4 ・5.5 ・6 ・</td><td>・A種 ※B種</td></tr><tr><td>不透明塗料塗りの場合 ・シタ(1級・2級) ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">・普通合板</td><td>・ワック ・</td><td>・1類</td><td>・4 ・5.5 ・A種</td></tr><tr><td>・シタ</td><td>・2類</td><td>・6 ・ ※B種</td></tr><tr><td rowspan="2">・捨張り用合板</td><td>・南洋材 ・</td><td>・型枠用</td><td>・9 ・12 ・A種</td></tr><tr><td>・針葉樹</td><td>・構造用</td><td>・ ※B種</td></tr><tr><td rowspan="2">・有孔合板</td><td>・シタ</td><td>・1類</td><td>・4 ・6 ・A種</td></tr><tr><td></td><td>・2類</td><td>・ ※B種</td></tr><tr><td rowspan="2">・天然木化粧合板</td><td>化粧単板のそば包み</td><td>・4.2 ・</td><td>・A種</td></tr><tr><td>・行う ※行わない 化粧単板の厚さ ※0.3未満 ・</td><td></td><td>※B種</td></tr><tr><td>・特殊加工化粧合板</td><td>表面仕上げの種類 ・メラミン ・ポリエステル ・</td><td>・4.0 ・3.0</td><td>・A種 ※B種</td></tr></table> 普通合板の防虫処理： ※行わない ・行う 天然木化粧合板の防虫処理： ※行わない ・行う 特殊加工化粧合板の防虫処理： ※行わない ・行う せっこうボードの目地処理： ・継目処理工法 ・目透し工法 ・突付け工法 ●公8．壁紙張り 防火性能の指定： ・下表による ・図示 ・ <table><tr><th>品 質</th><th>検定区分</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・プラスチック系・樹脂系</td><td>・1級 ・2級 ・</td><td></td></tr><tr><td>・織物系</td><td>・1級 ・3級 ・4級 ・</td><td></td></tr></table> ◎素地ごしらえ モルタル面及びプラスター面： ・A種 ※B種 コンクリート面： ・A種 ※B種 せっこうボード及びその他のボード面： ・A種 ※B種	種 類	仕上げ種類	備 考	㊦弾性樹脂塗り床材	※平滑 ・防滑 ・つや消し	F☆☆☆☆	・I樹脂樹脂塗り床材	・薄膜流し展べ	F☆☆☆☆	・厚膜流し展べ： ※平滑 ・防滑		・樹脂貼付： ・平滑 ・防滑		規格名称	種 類	記号	厚さ(mm)	木質系セメント板	・木毛セメント板	・HW ・NW	・25・50	・木片セメント板	・HF ・NF	・18 ・	せっこうボード製品	※図示 ・	※図示 ・	※図示 ・	繊維強化セメント板	・ケイ酸加減量板(タイプ2)	・0.8FK	※図示 ・			・1.0FK	※図示 ・	パーテイクボード繊維板	・	・RS・VS	※図示 ・	・DV・D0・DC	※図示 ・	火山性ガラス質複層板(VSボード)	・	・	※図示 ・	材 種	樹種・防虫・難燃・防煙処理等	厚さ(mm)	工法	・難燃合板	生地のまま又は透明塗料塗りの場合 ・ワック ・	・4 ・5.5 ・6 ・	・A種 ※B種	不透明塗料塗りの場合 ・シタ(1級・2級) ・			・普通合板	・ワック ・	・1類	・4 ・5.5 ・A種	・シタ	・2類	・6 ・ ※B種	・捨張り用合板	・南洋材 ・	・型枠用	・9 ・12 ・A種	・針葉樹	・構造用	・ ※B種	・有孔合板	・シタ	・1類	・4 ・6 ・A種		・2類	・ ※B種	・天然木化粧合板	化粧単板のそば包み	・4.2 ・	・A種	・行う ※行わない 化粧単板の厚さ ※0.3未満 ・		※B種	・特殊加工化粧合板	表面仕上げの種類 ・メラミン ・ポリエステル ・	・4.0 ・3.0	・A種 ※B種	品 質	検定区分	施工箇所	・プラスチック系・樹脂系	・1級 ・2級 ・		・織物系	・1級 ・3級 ・4級 ・		20章 ユニット及びその他の工事	㊦2.2 材 料 ㊦2.3 工 法	㊦2.2 材 料 ㊦2.3 新植の工法 ㊦2.4 新植樹木の枯補償 公3.6 移植樹木の枯損処置 ㊦2.2 材 料 ㊦2.3 芝張りの工法 ㊦2.7 芝張り***の枯補償 公5.2 植栽基盤 公5.3 材 料 公5.4 工 法 公5.5 新植樹木、芝及び 地被類の枯補償 ：章 掘屋工事 指定 メー カー 等 リ ス ト 指定 工 事 業者 等 リ ス ト 施 主 給 品 リ ス ト	●公3．植 樹 樹木の樹種／寸法／株立ち数等： ㊦図示 ・ 支柱材： ※丸太【・杉 ・桧 ・松 ・ 】 ・竹 支柱材の防腐処理方法： ※加圧式防腐処理 ・焼き丸太処理 ・ 幹巻き用材料： ※幹巻き用テープ ・わら及びこも 支柱の工法： ・図示 ㊦添え柱形 ・鳥居形 ・八掛形 ・ 補償期間： ※引渡しの日から1年 ・ 補償期間： ※同等のものを再植樹、及び撤去樹木等の処分 ・図示 ●公4．芝張り、吹付けは種及び地被類 芝の種類： ※コクシバノ ・ノシバ ・ 吹付けは種用種子の種類／量： ※洋芝類（ g/m2） ・図示 ・ 地被類の樹種／芽立数／コンテナ径／コンテナ数： ・図示 ・ 芝張りの工法（平地）： ※目地張り ・べた張り 芝張りの工法（法面）： ・目地張り ※べた張り 補償期間： ※引渡しの日から1年 ・ ●公5．屋上緑化 ◎屋上緑化システム 土壌層の厚さ： ・ ◎屋上緑化システム 排水層： ・軽量骨材 ・板状成型品 土壌層： ・人工軽量土 ※改良土 ◎屋上緑化軽量システム 樹木、芝及び地被類の樹種／寸法／株立ち数等： ・図示 ・ 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等： ・図示 ・ 建設省告示第1458号に対応した工法： ・ 支柱の設置／形式等： ・設置しない ・設置する； 灌水装置の設置／種類： ・設置しない ・設置する； 新植樹木の補償期間： ※引渡しの日から1年 ・ 芝及び地被類の補償期間： ※引渡しの日から1年 ・
	種 類	仕上げ種類	備 考																																																																																																					
	㊦弾性樹脂塗り床材	※平滑 ・防滑 ・つや消し	F☆☆☆☆																																																																																																					
	・I樹脂樹脂塗り床材	・薄膜流し展べ	F☆☆☆☆																																																																																																					
		・厚膜流し展べ： ※平滑 ・防滑																																																																																																						
		・樹脂貼付： ・平滑 ・防滑																																																																																																						
	規格名称	種 類	記号	厚さ(mm)																																																																																																				
	木質系セメント板	・木毛セメント板	・HW ・NW	・25・50																																																																																																				
		・木片セメント板	・HF ・NF	・18 ・																																																																																																				
せっこうボード製品	※図示 ・	※図示 ・	※図示 ・																																																																																																					
繊維強化セメント板	・ケイ酸加減量板(タイプ2)	・0.8FK	※図示 ・																																																																																																					
		・1.0FK	※図示 ・																																																																																																					
パーテイクボード繊維板	・	・RS・VS	※図示 ・																																																																																																					
		・DV・D0・DC	※図示 ・																																																																																																					
火山性ガラス質複層板(VSボード)	・	・	※図示 ・																																																																																																					
材 種	樹種・防虫・難燃・防煙処理等	厚さ(mm)	工法																																																																																																					
・難燃合板	生地のまま又は透明塗料塗りの場合 ・ワック ・	・4 ・5.5 ・6 ・	・A種 ※B種																																																																																																					
	不透明塗料塗りの場合 ・シタ(1級・2級) ・																																																																																																							
・普通合板	・ワック ・	・1類	・4 ・5.5 ・A種																																																																																																					
	・シタ	・2類	・6 ・ ※B種																																																																																																					
・捨張り用合板	・南洋材 ・	・型枠用	・9 ・12 ・A種																																																																																																					
	・針葉樹	・構造用	・ ※B種																																																																																																					
・有孔合板	・シタ	・1類	・4 ・6 ・A種																																																																																																					
		・2類	・ ※B種																																																																																																					
・天然木化粧合板	化粧単板のそば包み	・4.2 ・	・A種																																																																																																					
	・行う ※行わない 化粧単板の厚さ ※0.3未満 ・		※B種																																																																																																					
・特殊加工化粧合板	表面仕上げの種類 ・メラミン ・ポリエステル ・	・4.0 ・3.0	・A種 ※B種																																																																																																					
品 質	検定区分	施工箇所																																																																																																						
・プラスチック系・樹脂系	・1級 ・2級 ・																																																																																																							
・織物系	・1級 ・3級 ・4級 ・																																																																																																							
公4.2 材 料 公4.3 工 法																																																																																																								
㊦2 材 料 ㊦3 工 法																																																																																																								
㊦2.2 材 料 ㊦2.3 工 法																																																																																																								
㊦2.2 材 料 ㊦2.3 工 法																																																																																																								
㊦2.2 材 料 ㊦2.3 工 法																																																																																																								
㊦2.2 材 料 ㊦2.3 工 法																																																																																																								
㊦2.2 材 料 ㊦2.3 工 法																																																																																																								
㊦2.2 材 料 ㊦2.3 工 法																																																																																																								
㊦2.2 材 料 ㊦2.3 工 法																																																																																																								

20章 ユニット及びその他の工事	2.1 一般事項	2．断熱・防露工事 断熱地域区分： ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ ・Ⅴ ・Ⅵ 断熱材の単位体積重量： ㊦F☆☆☆☆ ・F☆☆☆☆ ・ 断熱材の種類： ㊦図示 ・下表による ・ <table><tr><th>施工部位</th><th>分類</th><th>材料名</th><th>規格・寸法等(mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・屋根</td><td>フェルト状</td><td>グラスウール</td><td>24K相当・t=100mm</td><td></td></tr><tr><td>・天井</td><td>ボード状</td><td>高性能グラスウール</td><td>A種・保温板4号・t=50</td><td></td></tr><tr><td>・大壁（断熱部位）</td><td>ばら状</td><td>グラスウールボード</td><td>A種・保温板1種Ⅰ号・t=50</td><td></td></tr><tr><td>・真壁（断熱部位）</td><td>現場発泡</td><td>ロックウールボード</td><td>65K</td><td></td></tr><tr><td>・外気に接する床</td><td></td><td>ビーズ法ポリスチレンフォーム</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・その他の床</td><td></td><td>押出法ポリスチレンフォーム</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>硬質ウレタンフォーム</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>ポリエステルフォーム</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>セルロースファイバー</td><td></td><td></td></tr></table>	施工部位	分類	材料名	規格・寸法等(mm)	備 考	・屋根	フェルト状	グラスウール	24K相当・t=100mm		・天井	ボード状	高性能グラスウール	A種・保温板4号・t=50		・大壁（断熱部位）	ばら状	グラスウールボード	A種・保温板1種Ⅰ号・t=50		・真壁（断熱部位）	現場発泡	ロックウールボード	65K		・外気に接する床		ビーズ法ポリスチレンフォーム			・その他の床		押出法ポリスチレンフォーム					硬質ウレタンフォーム					ポリエステルフォーム					セルロースファイバー			20章 ユニット及びその他の工事	㊦2.5 トイレブース ㊦2.11 表 示	㊦2.5 トイレブース ㊦2.11 表 示	23章 植栽及び屋上緑化工事	㊦3章 植栽***工事 ㊦2.2 植栽基盤一般 ●公2．植栽基盤 有効土層として整備する面積／厚さ： ※表23.2.1による ・図示 基盤浸透水排水施設の設置： ・設置する ㊦設置しない 排水施設： ・図示 ・暗渠 ・開渠 ・排水層 ・縦穴排水 ・ 植栽基盤整備工法（樹木）： ※A種 ・B種 ・C種 ・D種 植栽基盤整備工法（芝、地被類）： ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 土壌改良の適用： ・適用する ㊦適用しない 植込み用土： ・現場発生の良質土 ㊦客土 土壌改良材： ・バーク堆肥 ・発酵下水汚泥コンポスト ・ バーク堆肥の場合の緩効性肥料の適用： ・適用しない ・適用する；	㊦3章 植栽***工事 ㊦2.2 植栽基盤一般 ●公2．植栽基盤 有効土層として整備する面積／厚さ： ※表23.2.1による ・図示 基盤浸透水排水施設の設置： ・設置する ㊦設置しない 排水施設： ・図示 ・暗渠 ・開渠 ・排水層 ・縦穴排水 ・ 植栽基盤整備工法（樹木）： ※A種 ・B種 ・C種 ・D種 植栽基盤整備工法（芝、地被類）： ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 土壌改良の適用： ・適用する ㊦適用しない 植込み用土： ・現場発生の良質土 ㊦客土 土壌改良材： ・バーク堆肥 ・発酵下水汚泥コンポスト ・ バーク堆肥の場合の緩効性肥料の適用： ・適用しない ・適用する；	㊦3章 植栽***工事 ㊦2.2 植栽基盤一般 ●公2．植栽基盤 有効土層として整備する面積／厚さ： ※表23.2.1による ・図示 基盤浸透水排水施設の設置： ・設置する ㊦設置しない 排水施設： ・図示 ・暗渠 ・開渠 ・排水層 ・縦穴排水 ・ 植栽基盤整備工法（樹木）： ※A種 ・B種 ・C種 ・D種 植栽基盤整備工法（芝、地被類）： ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 土壌改良の適用： ・適用する ㊦適用しない 植込み用土： ・現場発生の良質土 ㊦客土 土壌改良材： ・バーク堆肥 ・発酵下水汚泥コンポスト ・ バーク堆肥の場合の緩効性肥料の適用： ・適用しない ・適用する；	㊦3章 植栽***工事 ㊦2.2 植栽基盤一般 ●公2．植栽基盤 有効土層として整備する面積／厚さ： ※表23.2.1による ・図示 基盤浸透水排水施設の設置： ・設置する ㊦設置しない 排水施設： ・図示 ・暗渠 ・開渠 ・排水層 ・縦穴排水 ・ 植栽基盤整備工法（樹木）： ※A種 ・B種 ・C種 ・D種 植栽基盤整備工法（芝、地被類）： ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 土壌改良の適用： ・適用する ㊦適用しない 植込み用土： ・現場発生の良質土 ㊦客土 土壌改良材： ・バーク堆肥 ・発酵下水汚泥コンポスト ・ バーク堆肥の場合の緩効性肥料の適用： ・適用しない ・適用する；
	施工部位	分類	材料名	規格・寸法等(mm)	備 考																																																							
	・屋根	フェルト状	グラスウール	24K相当・t=100mm																																																								
	・天井	ボード状	高性能グラスウール	A種・保温板4号・t=50																																																								
	・大壁（断熱部位）	ばら状	グラスウールボード	A種・保温板1種Ⅰ号・t=50																																																								
	・真壁（断熱部位）	現場発泡	ロックウールボード	65K																																																								
	・外気に接する床		ビーズ法ポリスチレンフォーム																																																									
	・その他の床		押出法ポリスチレンフォーム																																																									
			硬質ウレタンフォーム																																																									
			ポリエステルフォーム																																																									
		セルロースファイバー																																																										
㊦2 材 料																																																												
㊦2 材 料																																																												
㊦2 材 料																																																												
㊦2 材 料																																																												
㊦2 材 料																																																												
㊦2 材 料																																																												
㊦2 材 料																																																												
㊦2 材 料																																																												
㊦2 材 料																																																												

20章 ユニット及びその他の工事	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						

20章 ユニット及びその他の工事	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						

20章 ユニット及びその他の工事	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						

20章 ユニット及びその他の工事	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						

20章 ユニット及びその他の工事	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						

20章 ユニット及びその他の工事	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						

20章 ユニット及びその他の工事	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						

20章 ユニット及びその他の工事	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						

20章 ユニット及びその他の工事	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						

20章 ユニット及びその他の工事	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						

20章 ユニット及びその他の工事	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						

20章 ユニット及びその他の工事	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						

20章 ユニット及びその他の工事	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						

20章 ユニット及びその他の工事	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						

20章 ユニット及びその他の工事	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						

20章 ユニット及びその他の工事	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						

20章 ユニット及びその他の工事	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						

20章 ユニット及びその他の工事	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						
	㊦2 材 料						

外部仕上表（長屋門・蔵棟・ミセ東棟）									
屋根	（既存）	いぶし本瓦・和瓦土葺きは全数仮撤去・打診検査を行い、状態確認を行う。葺き土は撤去処分。	外壁	（既存）	長屋門・蔵棟：既存焼杉板撤去、既存土壁補修	雨樋	（既存）	銅製：補修の上再利用、塩ビ製【撤去処分】	
		打診検査の結果、良好なものはケレン清掃を行い、穴あけ加工の上再利用し、不良なものは			ミセ東棟：既存ササラ子下見板撤去、既存土壁補修			（改修）ガルバリウム製	
		監督員と相談の上、処分又は外構工事に再利用する。			長屋門・蔵棟：焼杉板張り 一部 漆喰塗			開口部	
	（改修）	改質737マルチフィングの上 いぶし本瓦・和瓦、引掛け棧葺き		（改修）	ミセ東棟：ササラ子下見板張り 一部 漆喰塗		雨戸袋	木製建具 既存下見板撤去の上新設（桧・ササラ子等再利用可能なものは再利用すること）	
軒裏		杉化粧野地板表し 一部 漆喰塗	基礎		長屋門部分：既存布石存置、鉄筋コンクリート補強	水切り		－	
					蔵部分：鉄筋コンクリートベタ基礎				
					ミセ東棟：既存コンクリート布基礎のまま				

内部仕上表（長屋門・蔵棟）									
階数	改修室名	床		幅木	壁・腰壁	天井		廻縁	備 考
	（現況室名）	下地	仕上	仕上	下地	仕上	下地	仕上	
1階	多目的トイレ	コンクリート直押え	リノリウム床シート t=2.5	リノリウム床シート 巻上 ソフト巾木 h=150	土壁【補修】 木造下地+耐水石膏ボード t=12.5	－ 化粧珪酸カルシウム板 t=6	木造野縁+耐水石膏ボード t=9.5捨貼り	岩綿吸音板 t=12	塩ビ 底目地タイル フラットカウンター多機能トイレタック、補助手摺、化粧鏡、自動水栓
	ジェンダーレストイレ	コンクリート直押え	リノリウム床シート t=2.5	リノリウム床シート 巻上 ソフト巾木 h=150	土壁【補修】 木造下地+耐水石膏ボード t=12.5	－ 化粧珪酸カルシウム板 t=6	木造野縁+耐水石膏ボード t=9.5捨貼り	岩綿吸音板 t=12	塩ビ 底目地タイル 衛生陶器、化粧鏡、手洗器、自動水栓、紙巻 人工大理石甲板 t20
	男子トイレ	コンクリート直押え	リノリウム床シート t=2.5	リノリウム床シート 巻上 ソフト巾木 h=150	土壁【補修】 木造下地+耐水石膏ボード t=12.5	－ 化粧珪酸カルシウム板 t=6	木造野縁+耐水石膏ボード t=9.5捨貼り	岩綿吸音板 t=12	塩ビ 底目地タイル 衛生陶器、トイレブース、人工大理石甲板 t20、化粧鏡、手洗器、 自動水栓、補助手摺、紙巻
	（ 米蔵1 ）	木造床組【撤去】	板張り【撤去】	－	土壁【存置】	板張り【撤去】	梁組表し【存置】	板張り【撤去・置き土共】	－
	倉 庫	コンクリート直押え	防塵塗装 クリア	杉 h=120	土壁【補修】	並大津	母屋表し+木造野縁+石膏ボード t=9.5	並大津	ピクチャーレール
	（ 米蔵2 ）	木造床組【撤去】	板張り【撤去】	－	土壁【存置】	板張り+土塗り【撤去】	母屋表し【存置】	板張り+土塗り【撤去・置き土共】	－
	女子トイレ	コンクリート直押え	リノリウム床シート t=2.5	リノリウム床シート 巻上 ソフト巾木 h=150	土壁【補修】 木造下地+耐水石膏ボード t=12.5	－ 化粧珪酸カルシウム板 t=6	木造野縁+耐水石膏ボード t=9.5捨貼り	岩綿吸音板 t=12	塩ビ 底目地タイル 衛生陶器、トイレブース、人工大理石甲板 t20、化粧鏡、手洗器、 自動水栓、補助手摺、紙巻
	（ 物置1 ）	木造床組【撤去】	板張り【撤去】	－	土壁【存置】	漆喰【撤去】	梁組表し【存置】	化粧野地板表し【劣化部取替】	－
	玄 関	－	石敷【一部復旧】	洗い出し【現況のまま】	土壁【現況のまま】	聚楽【現況のまま】	梁組表し【現況のまま】	化粧野地板表し【現況のまま】	－
	（ 玄 関 ）	－	石敷【一部仮撤去】	洗い出し【存置】	土壁【存置】	聚楽【存置】	梁組表し【存置】	化粧野地板表し【劣化部取替】	－
	店舗-1	コンクリート直押え	防塵塗装 クリア	杉 h=60	土壁【補修】 木造下地（真壁受材仕様）+荒壁ハネ	漆喰【存置】 漆喰	半丸太竿縁【現況のまま】	板張り【現況のまま】	－
	（ 物置2 ）	木造床組【撤去】	板張り【撤去】	－	土壁【存置】	漆喰【劣化部撤去】	半丸太竿縁【存置】	板張り【劣化部取替】	－
	店舗-2	コンクリート直押え	防塵塗装 クリア	杉 h=60	土壁【補修】 木造下地（真壁受材仕様）+荒壁ハネ 木造下地+耐水石膏ボード t=12.5	漆喰 漆喰 化粧珪酸カルシウム板 t=6（テナント工事）	木造野縁	杉 敷目板張り	杉 36 x 36 厨房機器（テナント工事）、浅型ガラスカウンター（テナント工事） フード（テナント工事）
	（ 前 室 ）	木造床組【撤去】	板張り【撤去】	－	土壁【存置】	漆喰【劣化部撤去】	木造野縁【撤去】	竿縁天井【撤去】	杉【撤去】
	（ 和室1 ）	木造床組【撤去】	畳【撤去】	畳寄せ【撤去】	土壁【存置】	漆喰【劣化部撤去】	木造野縁【撤去】	竿縁天井【撤去】	杉【撤去】
	（ 和室2 ）	木造床組【撤去】	畳【撤去】	畳寄せ【撤去】	土壁【存置】	漆喰【劣化部撤去】	木造野縁【撤去】	竿縁天井【撤去】	杉【撤去】

内部仕上表（ミセ東棟）									
階数	改修室名	床		幅木	壁・腰壁	天井		廻縁	備 考
	（現況室名）	下地	仕上	仕上	下地	仕上	下地	仕上	
1階	客 席	コンクリート増打ち 直押え	防塵塗装 クリア	コンクリート（補修）の上 防塵塗装 クリア	土壁【補修】	漆喰【補修】 杉板張り+EP塗装	梁組表し【現況のまま】	化粧野地板表し【現況のまま】	－
	（ ミ セ ）	コンクリート【存置】	塗装	コンクリート【存置】	土壁【存置】	漆喰【存置】 板張り+塗装【撤去】	梁組表し【存置】	化粧野地板表し【劣化部取替】	－
	付 室	コンクリート増打ち 直押え	防塵塗装 クリア	コンクリート【補修】	土壁【補修】	漆喰【補修】 杉板張り+EP塗装	木造野縁+石膏ボード t=9.5	－	杉
	（ 付 室 ）	コンクリート【存置】	塗装	コンクリート【補修】の上 防塵塗装 クリア	土壁【存置】	漆喰【存置】 板張り+塗装【撤去】	木造野縁【撤去】	竿縁天井【撤去】	杉【撤去】 鏡【撤去】、電話機【撤去】、照明器具【撤去】
2階	中2階	木造床組（現況のまま）+捨て根太	桧縁甲板 t=15	桧 h=120	土壁【補修】	漆喰【補修】	梁組表し【現況のまま】	化粧野地板表し【現況のまま】	－
	（ 中2階 ）	木造床組【存置】	板張り【存置】	－	土壁【存置】	漆喰【存置】	梁組表し【存置】	化粧野地板表し（存置）	－ 階段、手摺【補修】、ガラス手摺壁 階段【撤去】、手摺【存置】、手洗器【撤去】

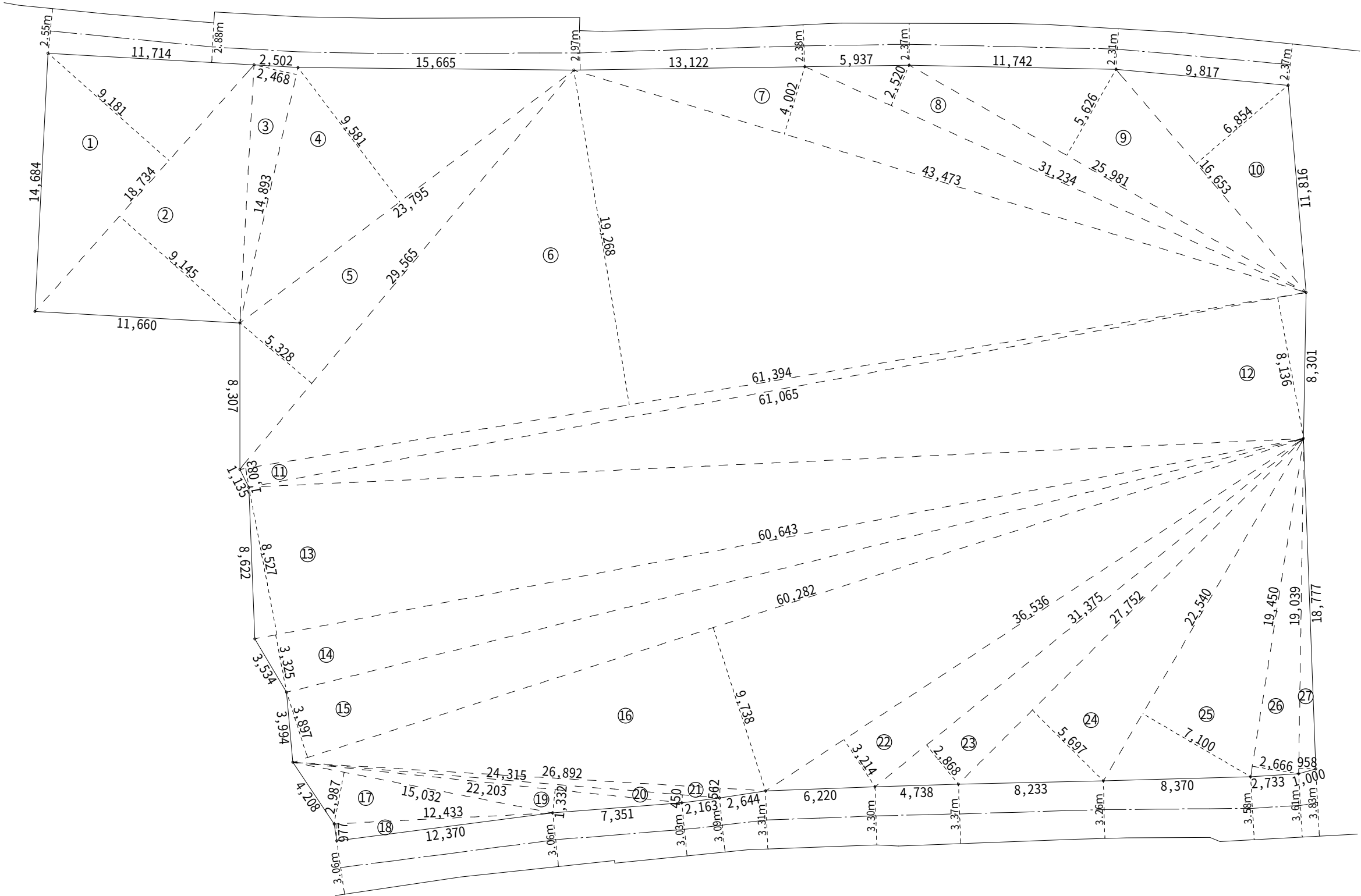
特記事項		
・木造床組は全面撤去を行い、長屋門部分は既存玉石基礎にRC底板補強を行う。	・米蔵-1、米蔵-2は揚屋を行い、鉄筋コンクリートベタ基礎を新たに築造する。揚屋工事に伴う土壁撤去部分は、揚屋工事完了後	
・構造体の沈下・歪みを調査し、ジャッキ等を用いて出来る限り補修する。	適切に補修を行うこと。	
・既存構造体は調査し、使用上問題なければ出来る限り活用する。	・瓦の葺き土、土壁の処分については木舞竹等分別の上、場内処分とする。	
・不足が生じた木材は、原則として国産材（古材・新材とも）を用いる。	・木製戸袋等撤去新設する造作物は既存の意匠を踏襲すること。	
・石膏ボードは全て12.5mm（不燃第1027号）とする。		
・水廻りなど多湿箇所に使用する石膏ボードは不燃耐水石膏ボード12.5mm（不燃第11652号）とする。		

株式会社 西 本 組 西 本 建 築 事 務 所 nishimoto architect office 一級建築士事務所	奈良県知事登録 第2023（ろ）2495号 〒630-0234 奈良県生駒市萩原町20 〒174-0074 東京都板橋区東新町2-25-15 管理建築士・1級建築士 第341443号 西本 翠 TEL 0743-77-8095 FAX 0743-77-8126 TEL 03-3959-0768 FAX 03-5926-9868	Project 羽曳野市旧浅野家住宅 実施設計	Date 2024.07.31	Architect 西本 翠	Scale none	Sheet No. D-08	Title 共 通 仕 上 表
			Drawing 西本 成 志	Check 西本 翠			

現 況

敷地面積算定表

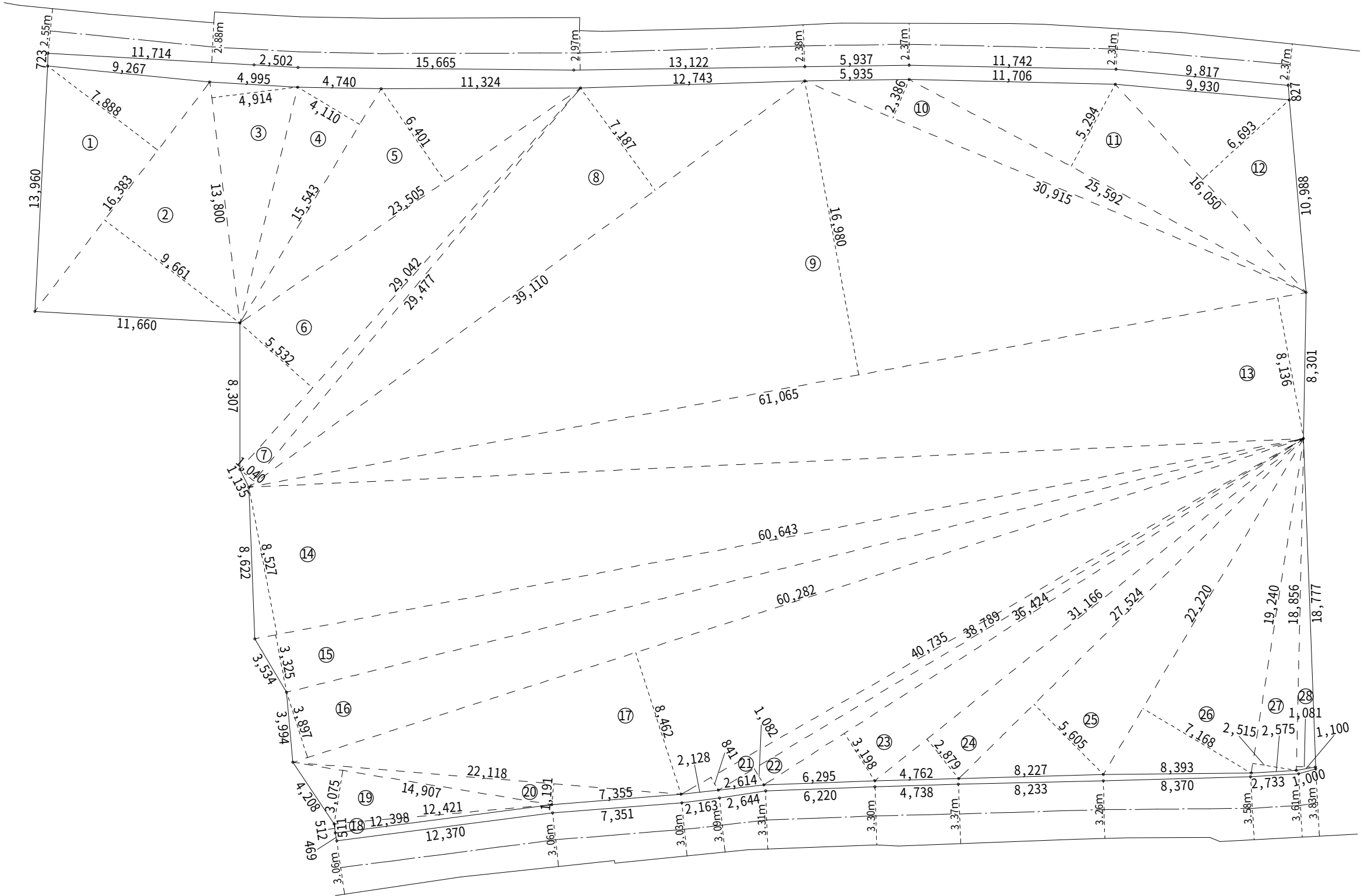
記号	底辺 (m)	高さ (m)	倍面積 (m2)
1	18.734	9.181	171.996854
2	18.734	9.145	171.322430
3	14.893	2.468	36.755924
4	23.795	9.581	227.979895
5	29.565	5.328	157.522320
6	61.394	19.268	1182.939592
7	43.473	4.002	173.978946
8	31.234	2.520	78.709680
9	25.981	5.626	146.169106
10	16.653	6.854	114.139662
11	61.394	1.083	66.489702
12	61.065	8.136	496.824840
13	60.643	8.527	517.102861
14	60.643	3.325	201.637975
15	60.282	3.897	234.918954
16	60.282	9.738	587.026116
17	15.032	2.987	44.900584
18	12.433	0.977	12.147041
19	22.203	1.332	29.574396
20	24.315	0.450	10.941750
21	26.892	0.562	15.113304
22	36.536	3.214	117.426704
23	31.375	2.868	89.983500
24	27.752	5.697	158.103144
25	22.540	7.100	160.034000
26	19.450	2.666	51.853700
27	19.039	0.958	18.239362
		倍面積 合計	5273.832342
		敷地面積	2636.91



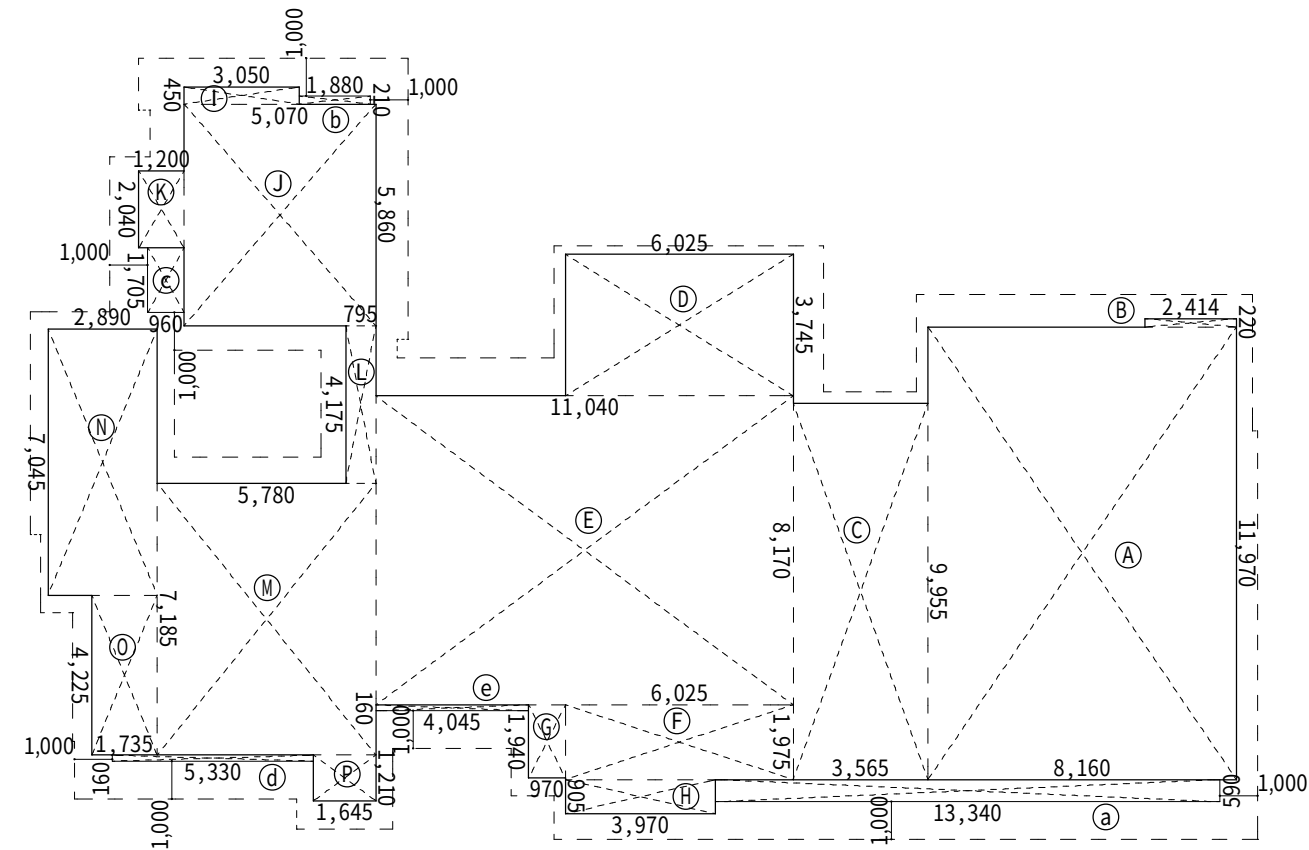
敷地求積図 1:250

敷地面積算定表

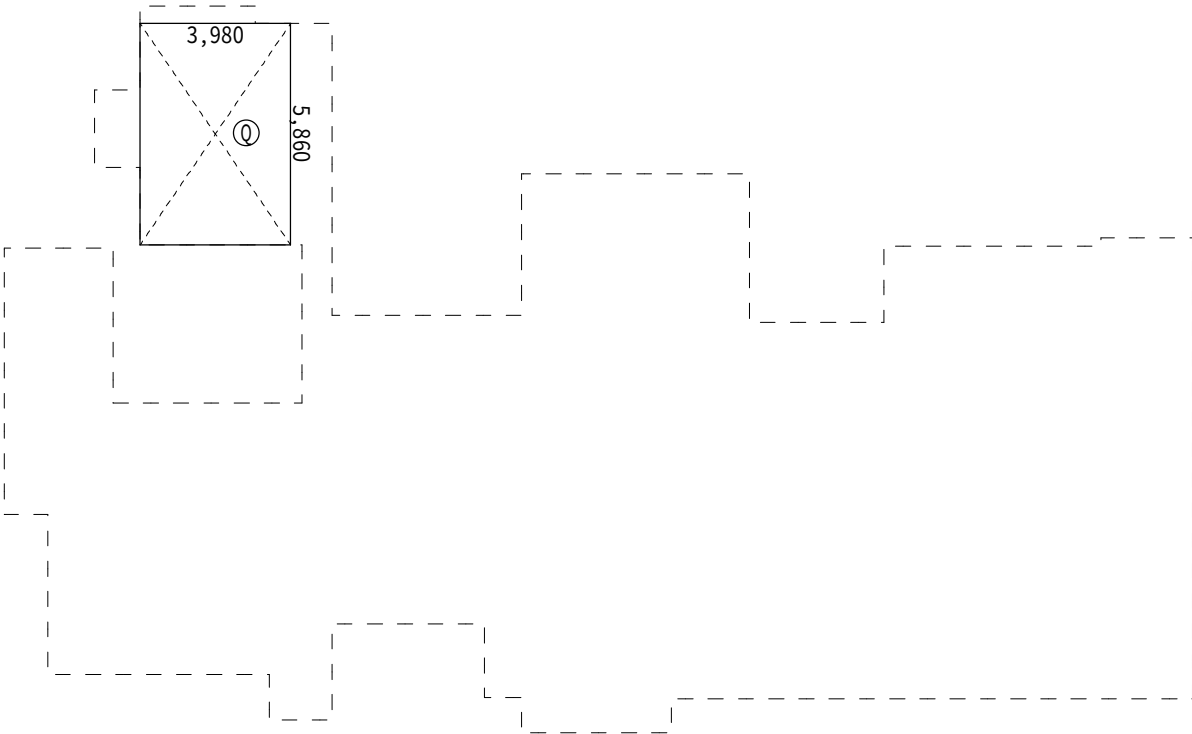
記号	底辺 (m)	高さ (m)	倍面積 (m2)
1	16.383	7.888	129.229104
2	16.383	9.661	158.276163
3	13.800	4.914	67.813200
4	15.543	4.110	63.881730
5	23.505	6.401	150.455505
6	29.042	5.532	160.660344
7	29.477	1.040	30.656080
8	39.110	7.187	281.083570
9	61.065	16.980	1036.883700
10	30.915	2.386	73.763190
11	25.592	5.294	135.484048
12	16.050	6.693	107.422650
13	61.065	8.136	496.824840
14	60.643	8.527	517.102861
15	60.643	3.325	201.637975
16	60.282	3.897	234.918954
17	60.282	8.462	510.106284
18	12.421	0.511	6.347131
19	14.907	3.075	45.839025
20	22.118	1.191	26.342538
21	40.735	0.841	34.258135
22	38.789	1.082	41.969698
23	36.424	3.198	116.483952
24	31.166	2.879	89.726914
25	27.524	5.605	154.272020
26	22.220	7.168	159.272960
27	19.240	2.515	48.388600
28	18.856	1.081	20.383336
倍面積 合計			5099.484507
敷地面積			2549.74



敷地求積図 1:250



主屋 1階求積図・建築面積求積図 1：200

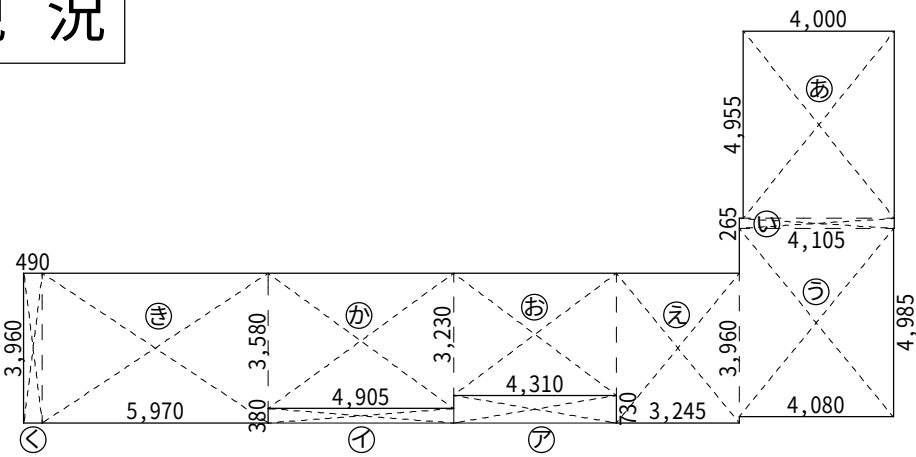


主屋 2階求積図 1：200

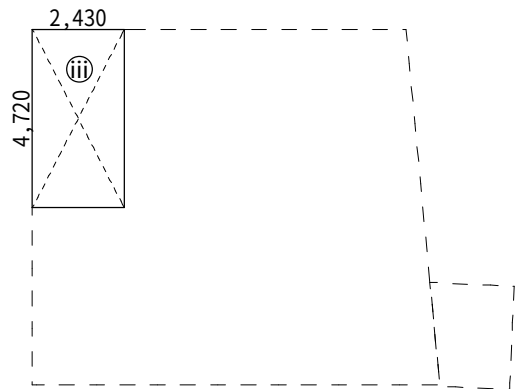
主屋棟 集計表

記号	式						(m2)
A	8.160	×	11.970	×	1	=	97.675200
B	2.414	×	0.220	×	1	=	0.531080
C	3.565	×	9.955	×	1	=	35.489575
D	6.025	×	3.745	×	1	=	22.563625
E	11.040	×	8.170	×	1	=	90.196800
F	6.025	×	1.975	×	1	=	11.899375
G	0.970	×	1.940	×	1	=	1.881800
H	3.970	×	0.905	×	1	=	3.592850
I	3.050	×	0.450	×	1	=	1.372500
J	5.070	×	5.860	×	1	=	29.710200
K	1.200	×	2.040	×	1	=	2.448000
L	0.795	×	4.175	×	1	=	3.319125
M	5.780	×	7.185	×	1	=	41.529300
N	2.890	×	7.045	×	1	=	20.360050
O	1.735	×	4.225	×	1	=	7.330375
P	1.645	×	1.210	×	1	=	1.990450
合 計							371.890305
1階 床面積							371.89
Q	3.980	×	5.860	×	1	=	23.322800
合 計							23.322800
2階 床面積							23.32
延床面積							395.21
a	13.340	×	0.590	×	1	=	7.870600
b	1.880	×	0.210	×	1	=	0.394800
c	0.960	×	1.705	×	1	=	1.636800
d	5.330	×	0.160	×	1	=	0.852800
e	4.045	×	0.160	×	1	=	0.647200
A~P							371.890305
合 計							383.292505
建築面積							383.30

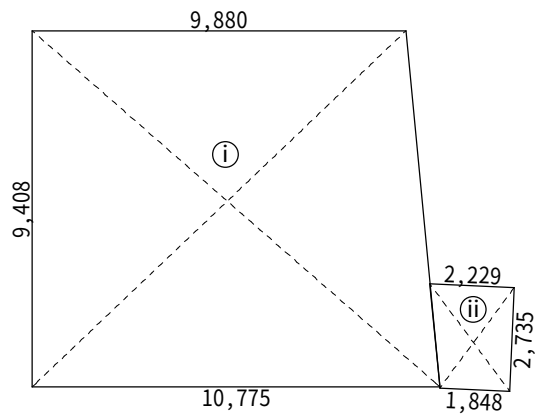
現況



長屋門・蔵 1階求積図・建築面積求積図 1:200



ミセ東 2階求積図 1:200



三七東 1階求積図・建築面積求積図 1:200

長屋門・蔵棟 集計表

記号	式					(m2)
あ	4.000	×	4.955	×	1	= 19.820000
い	4.105	×	0.265	×	1	= 1.087825
う	4.080	×	4.985	×	1	= 20.338800
え	3.245	×	3.960	×	1	= 12.850200
お	4.310	×	3.230	×	1	= 13.921300
か	4.905	×	3.580	×	1	= 17.559900
き	5.970	×	3.960	×	1	= 23.641200
く	0490	×	3.960	×	1	= 1.940400
合 計						111.159625
1階 床面積・延床面積						111.16
ア	4.310	×	0.730	×	1	= 3.146300
イ	4.905	×	0.380	×	1	= 1.863900
あ〜く						111.159625
合 計						116.169825
建築面積						116.17
あ〜え						54.096825
倉庫 床面積						54.10
お						13.921300
共用部分 床面積						13.92
か〜く						43.141500
住宅 床面積						43.15

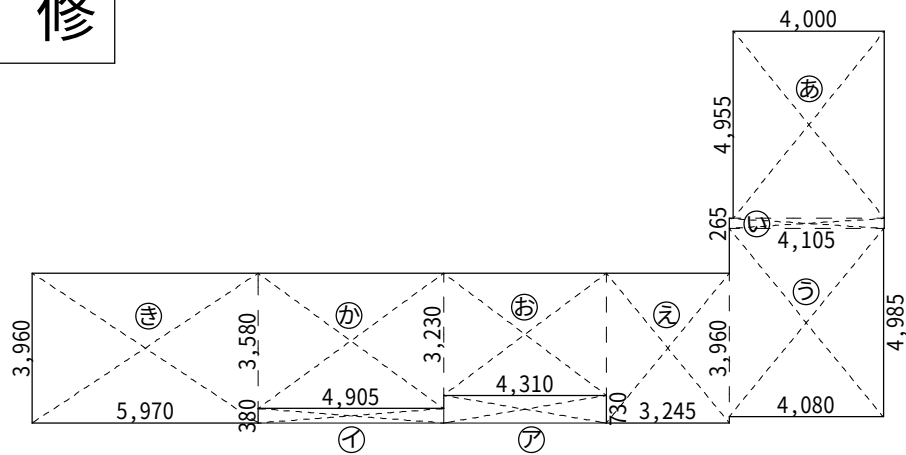
ミセ東棟 集計表

記号	式	(m2)
i	$(9.880+10.775) \times 9.408 \times 1/2 =$	97.161120
ii	$(1.848+2.229) \times 2.735 \times 1/2 =$	5.575298
	合 計	102.736418
	1階 床面積	102.73
iii	$2.430 \times 4.720 \times 1 =$	11.469600
	合 計	11.469600
	2階 床面積	11.46
i ～ iii	延床面積	114.19
i ～ ii		102.736418
	合 計	102.736418
	建築面積	102.73

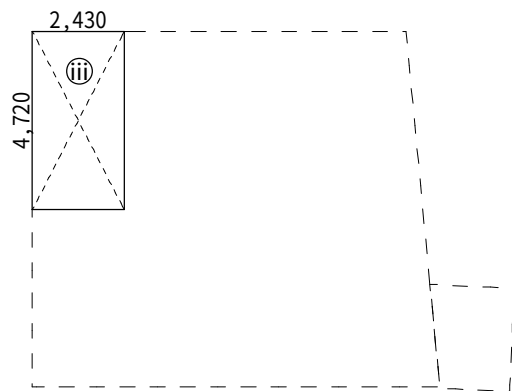
全体集計表

敷地面積				2636.91
	主屋	長屋門・蔵	ミセ東	合計
延床面積	(住宅)	(倉庫・住宅)	(店舗)	
1F	371.89	111.16	102.73	585.78
2F	23.32		11.46	34.78
合計	395.21	111.16	114.19	620.56
			容積率	23.54%
建築面積	383.30	116.17	102.73	602.20
			建蔽率	22.84%

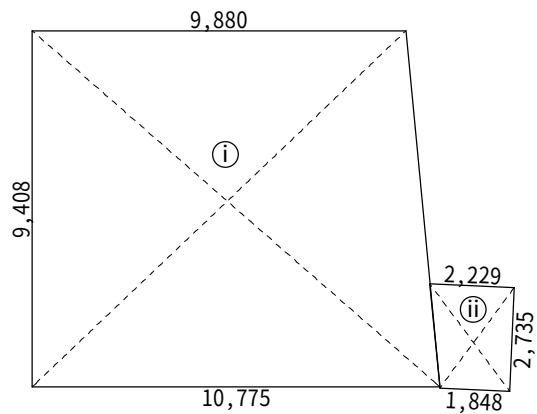
改修



長屋門・蔵 1階求積図・建築面積求積図 1:200



ミセ東 2階求積図 1:200



三七東 1階求積図・建築面積求積図 1:200

長屋門・蔵棟 集計表

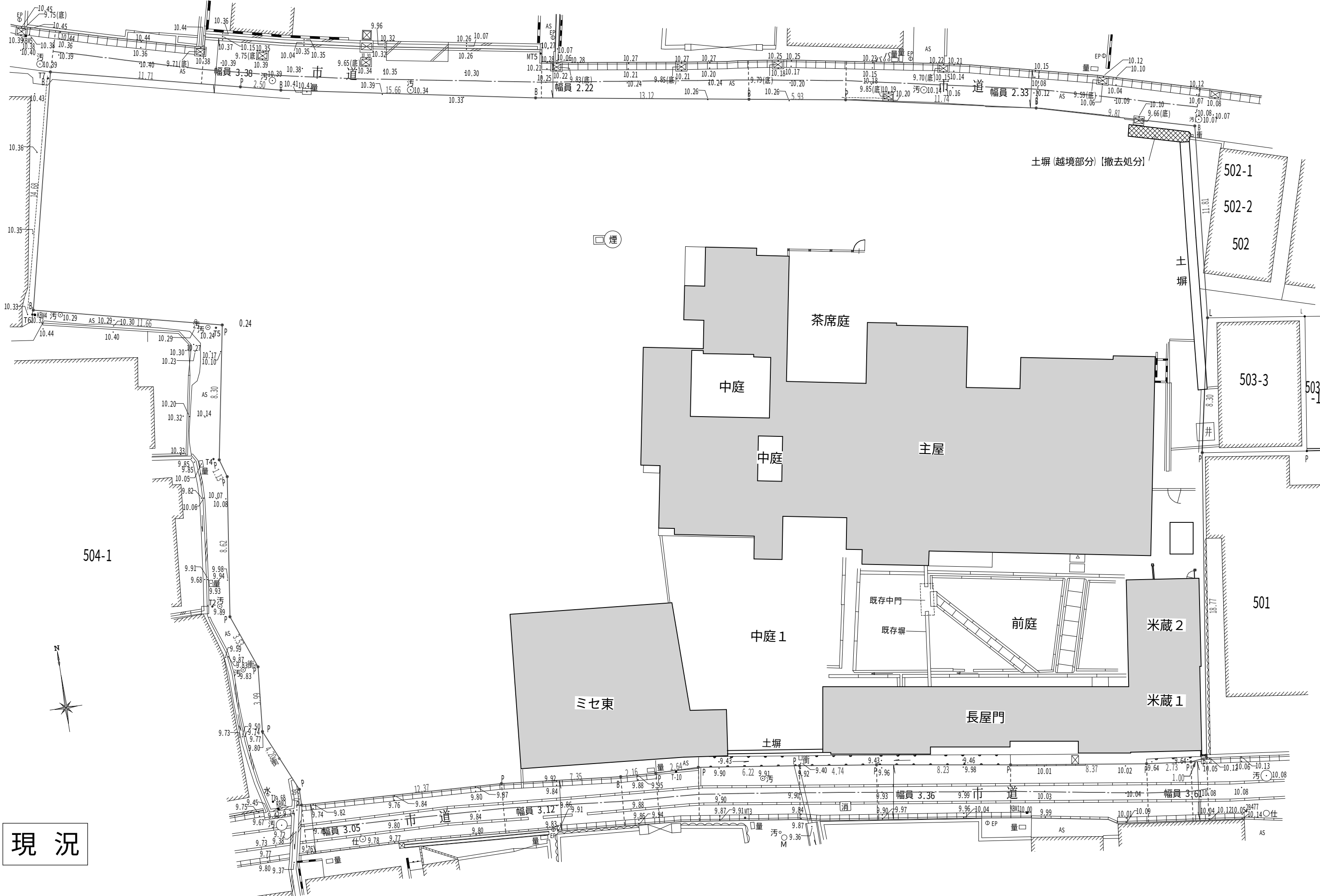
記号	式	(m2)
あ	4.000 × 4.955 × 1 =	19.820000
い	4.105 × 0.265 × 1 =	1.087825
う	4.080 × 4.985 × 1 =	20.338800
え	3.245 × 3.960 × 1 =	12.850200
お	4.310 × 3.230 × 1 =	13.921300
か	4.905 × 3.580 × 1 =	17.559900
き	5.970 × 3.960 × 1 =	23.641200
合 計		109.219225
1階 床面積・延床面積		109.21
ア	4.310 × 0.730 × 1 =	3.146300
イ	4.905 × 0.380 × 1 =	1.863900
あ〜き		109.219225
合 計		114.229425
建築面積		114.22
あ+い		20.907825
倉庫 床面積		20.90
う+え		33.189000
トイレ 床面積		33.18
お		13.921300
共用部分 床面積		13.92
か+き		41.201100
店舗 床面積		41.20

ミセ東棟 集計表

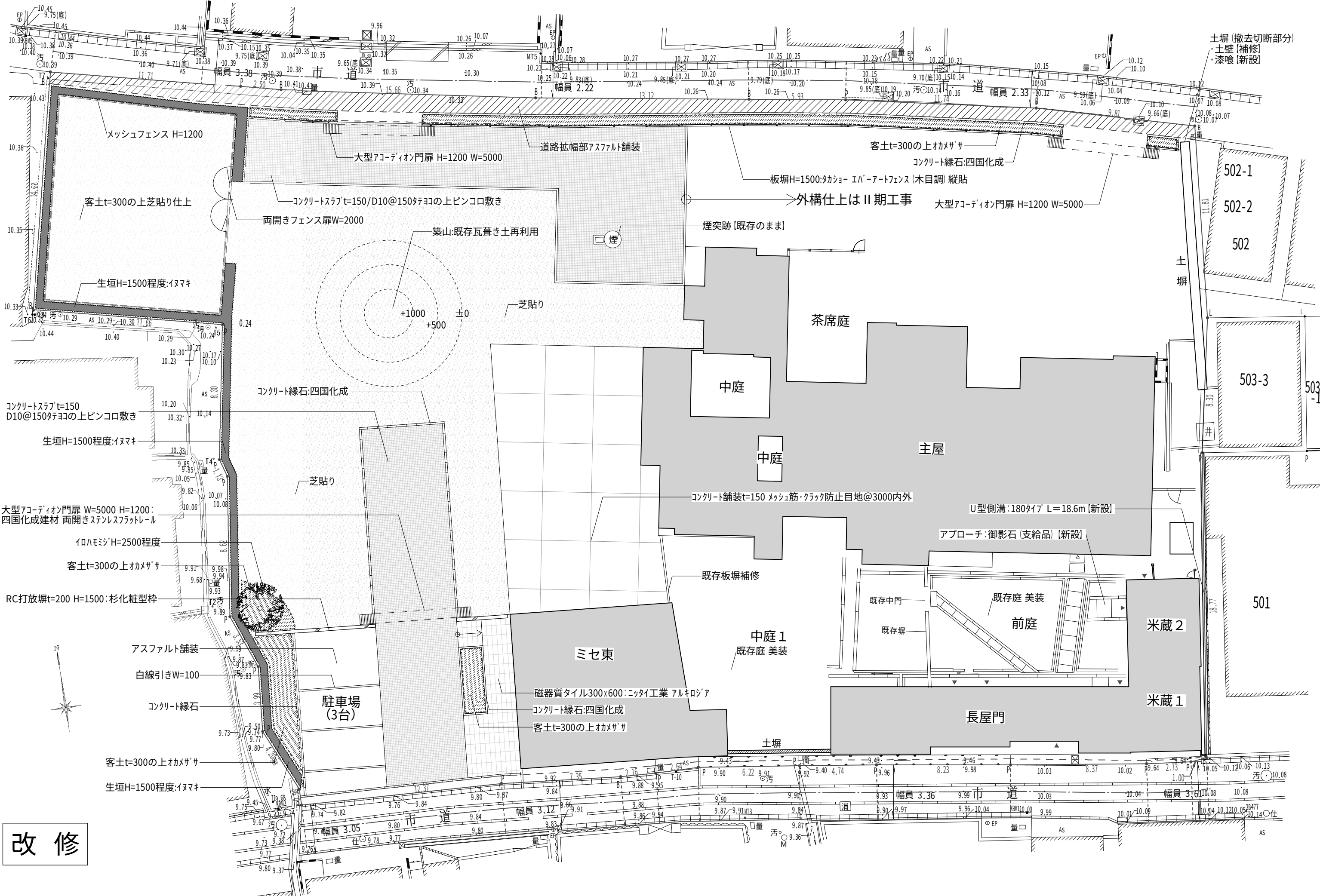
記号	式	(m2)
i	$(9.880+10.775) \times 9.408 \times 1/2 =$	97.161120
ii	$(1.848+2.229) \times 2.735 \times 1/2 =$	5.575298
	合 計	102.736418
	1階 床面積	102.73
iii	$2.430 \times 4.720 \times 1 =$	11.469600
	合 計	11.469600
	2階 床面積	11.46
i ～ iii	延床面積	114.19
i ～ ii		102.736418
	合 計	102.736418
	建築面積	102.73

全体集計表

敷地面積				2636.91
	主屋	長屋門・蔵	ミセ東	合計
延床面積	(住宅)	(トイレ・倉庫・店舗)	(飲食店)	
1F	371.89	109.21	102.73	583.83
2F	23.32		11.46	34.78
合計	395.21	109.21	114.19	618.61
			容積率	23.45%
建築面積	383.30	114.22	102.73	600.25
			建蔽率	22.77%

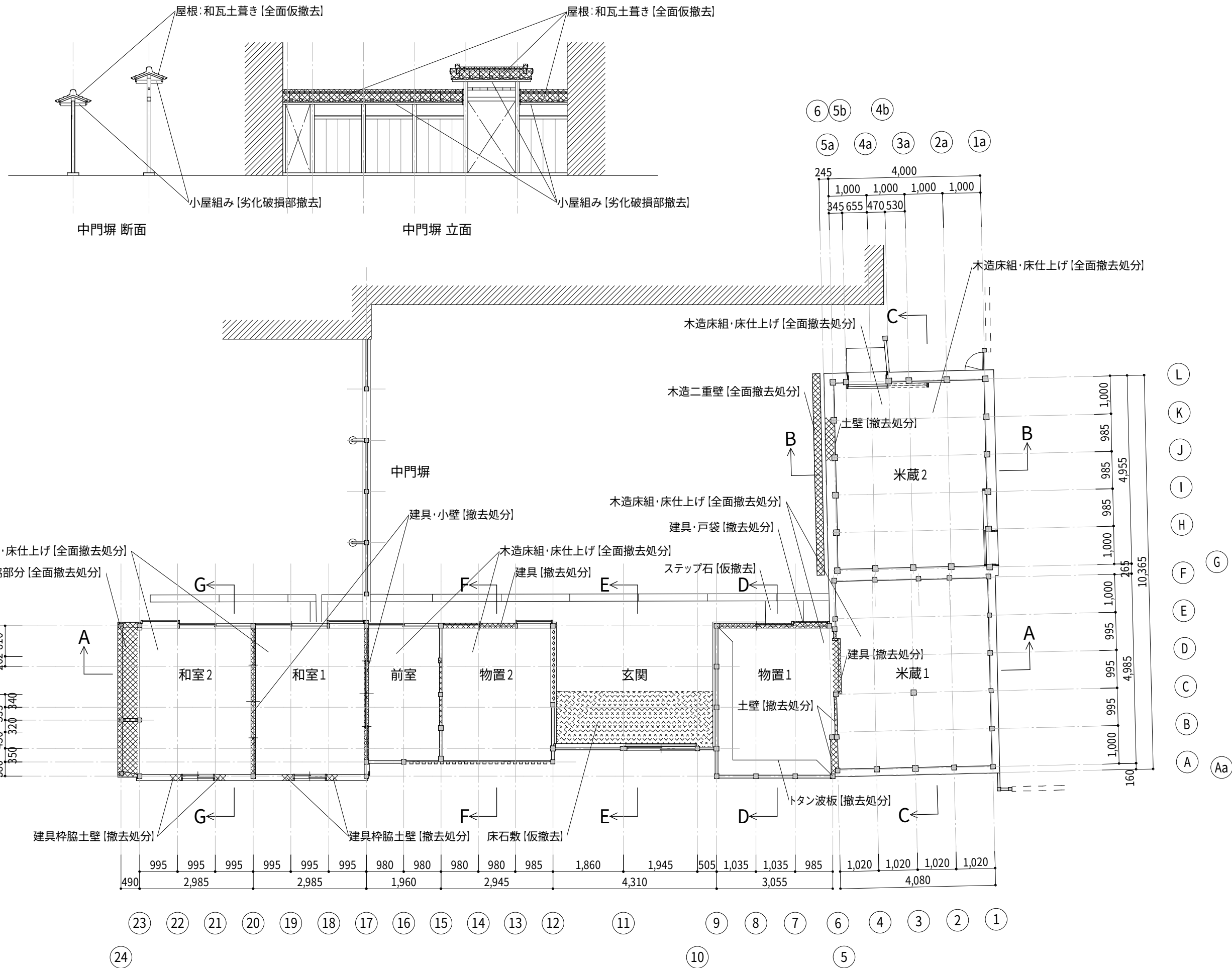


現況

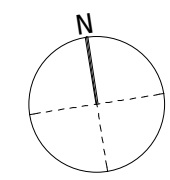
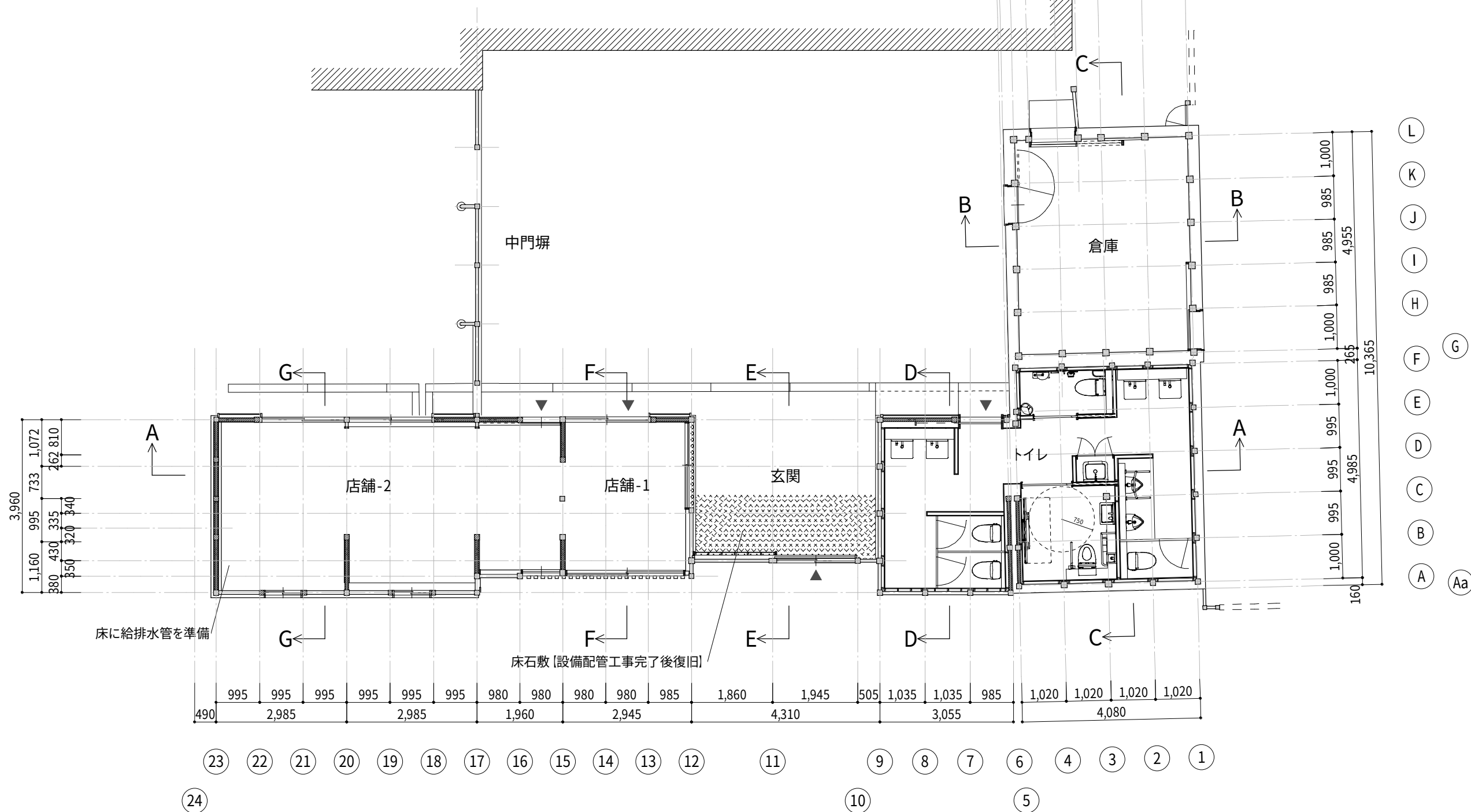
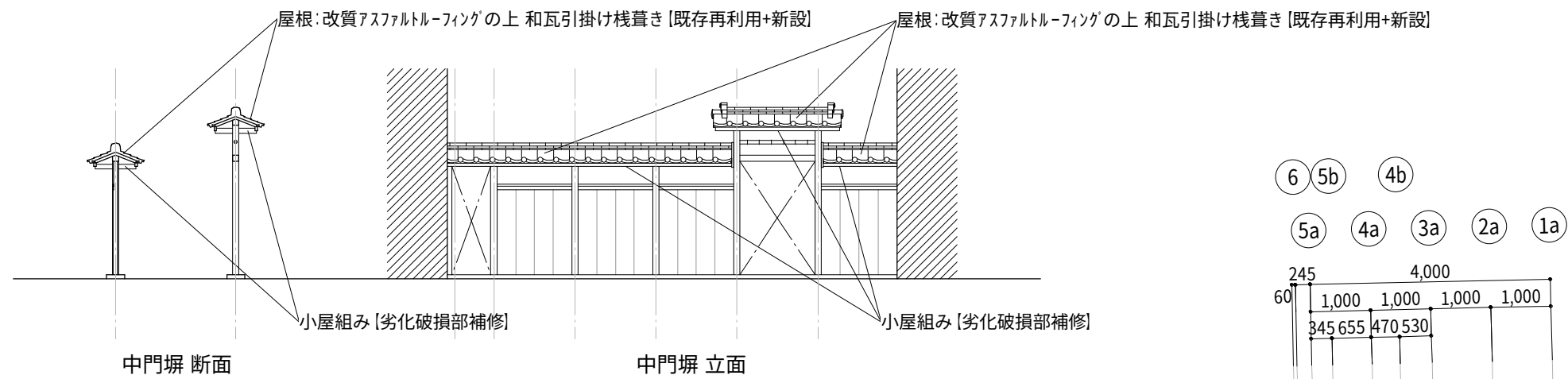


改修

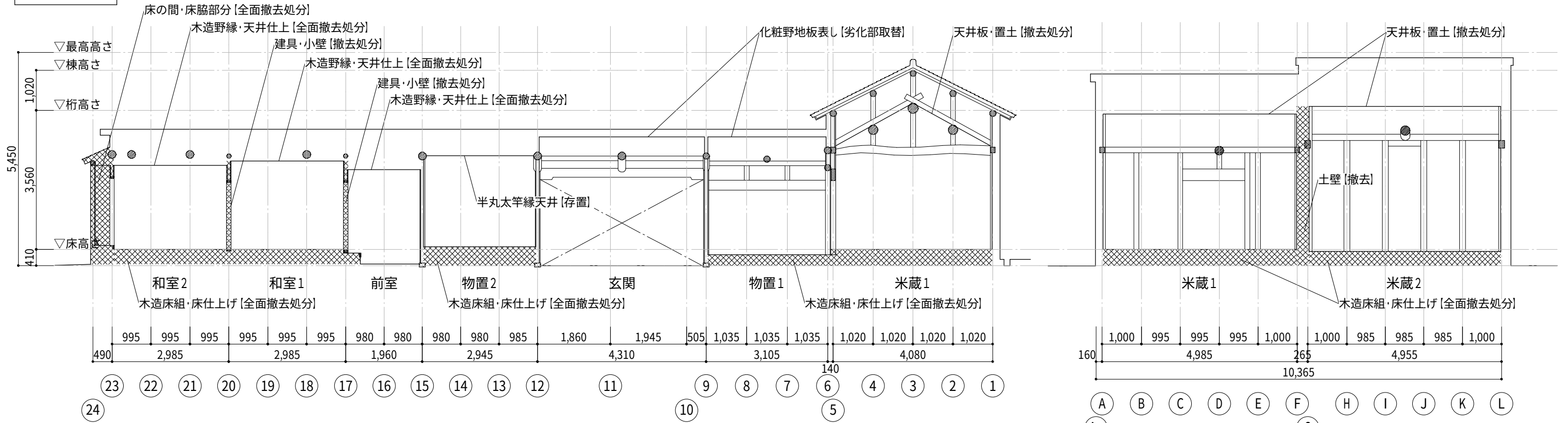
現況



改修

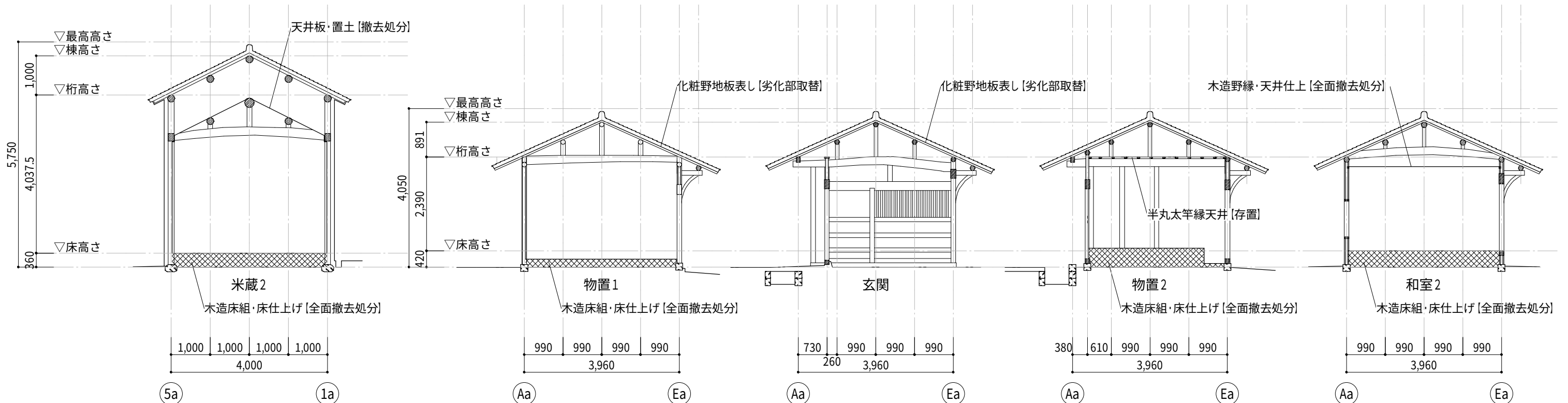


現 況



A-A 断面

C-C 断面



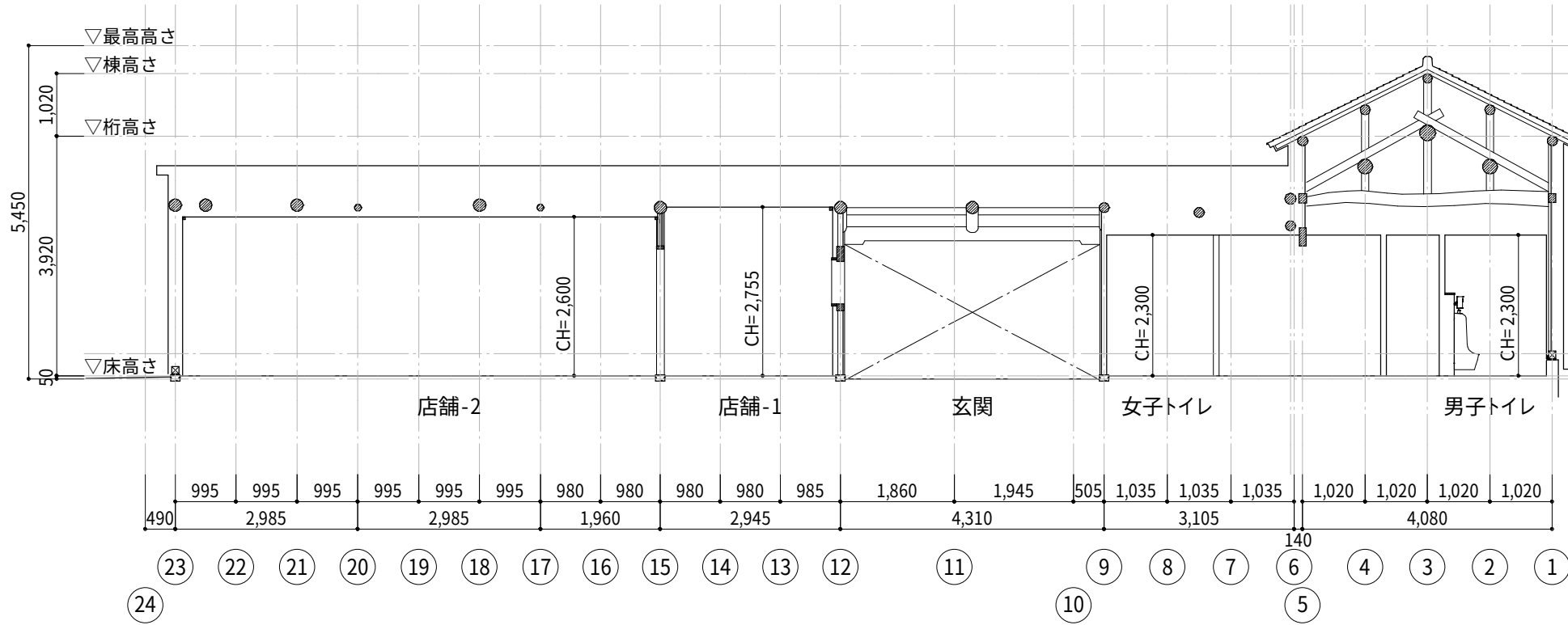
B-B 断面

D-D 断面

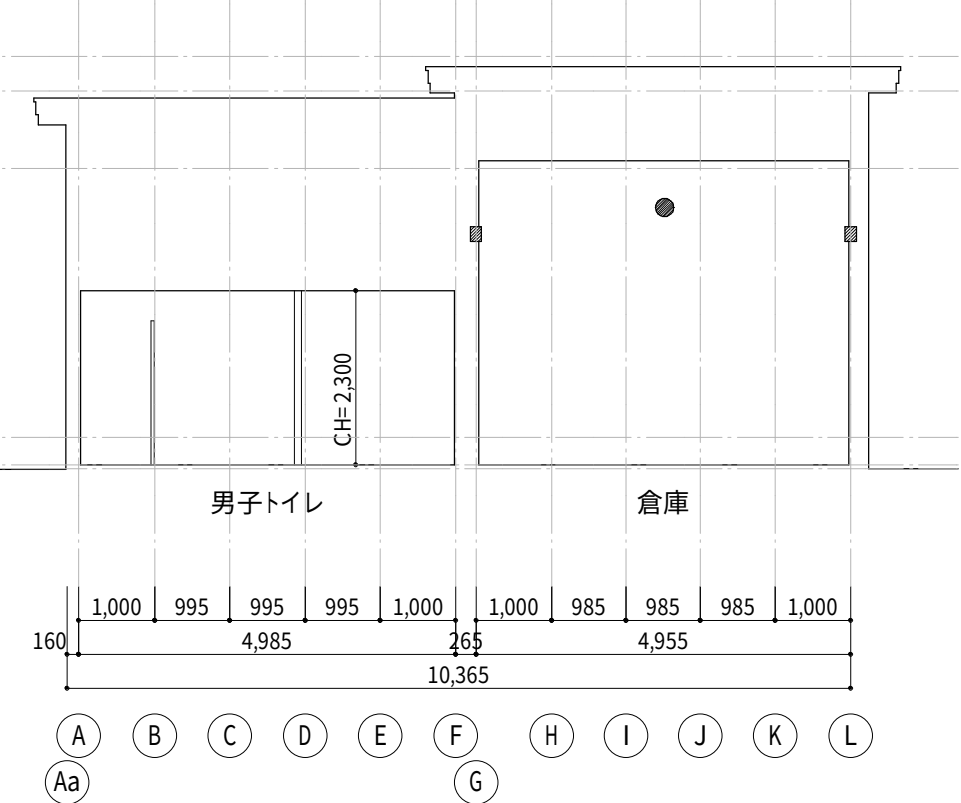
E-E 断面

F-F 断面

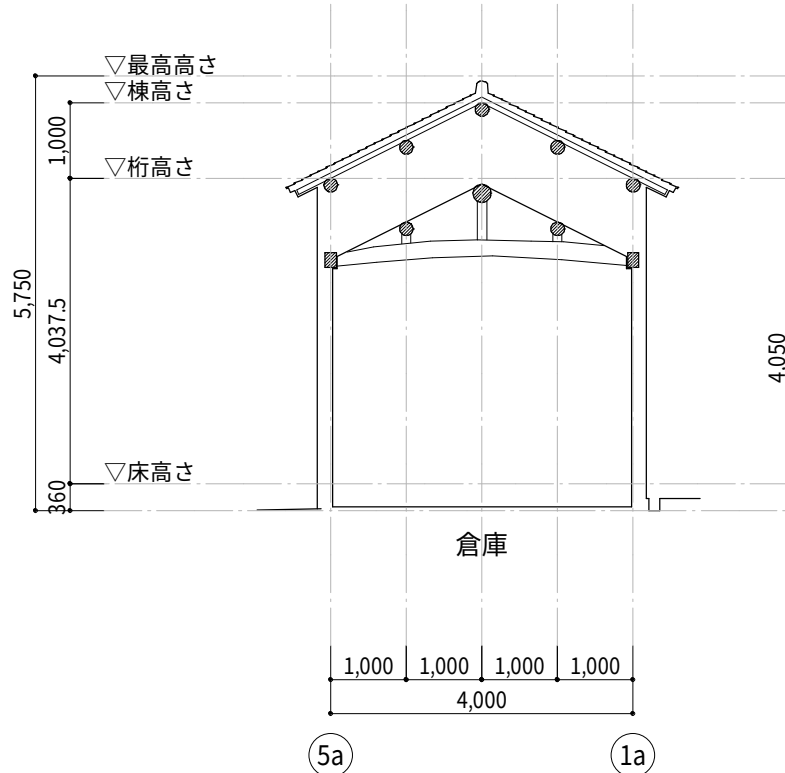
G-G 断面



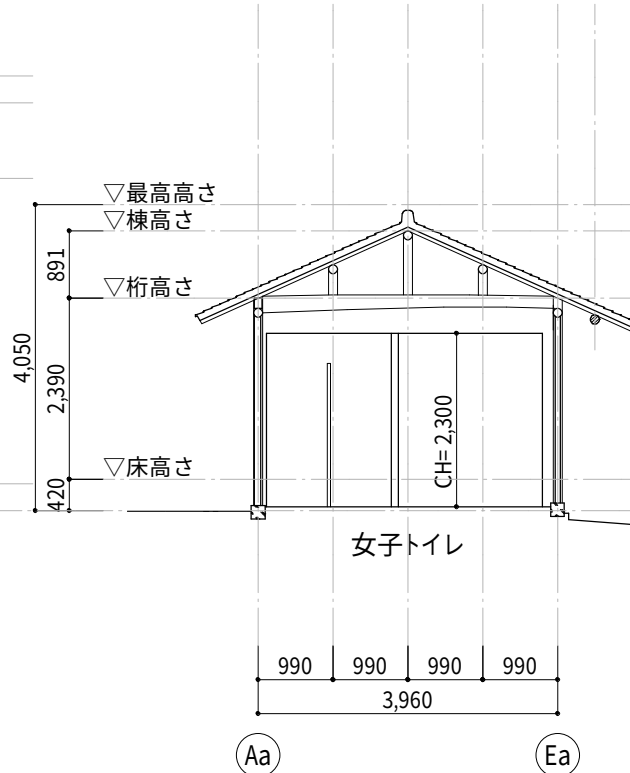
A-A 断面



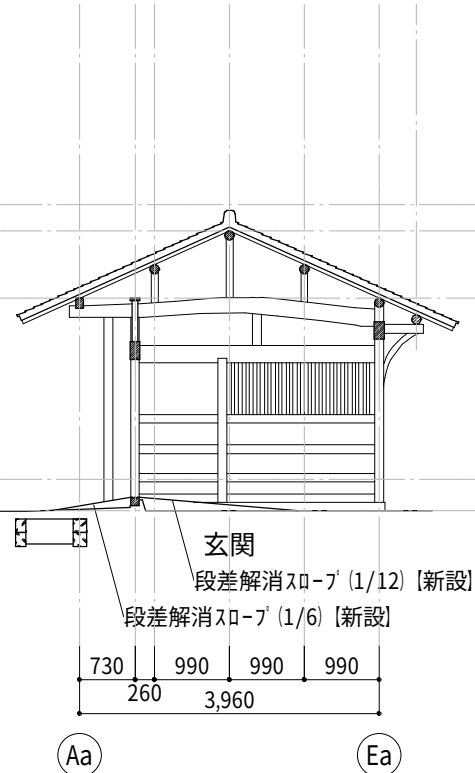
C-C 断面



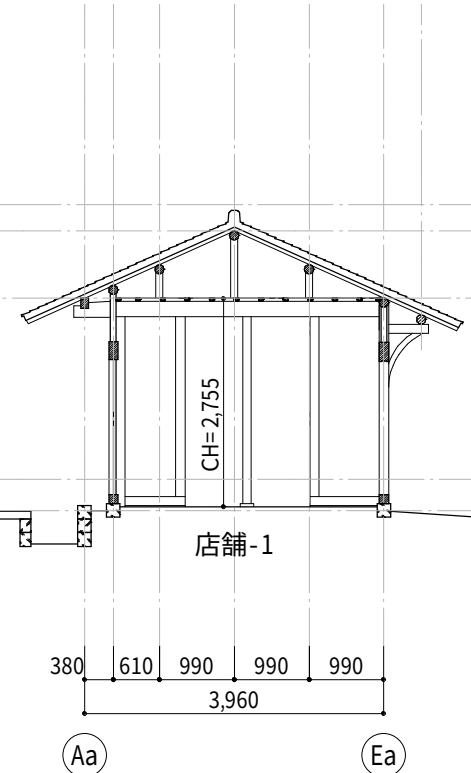
B-B 断面



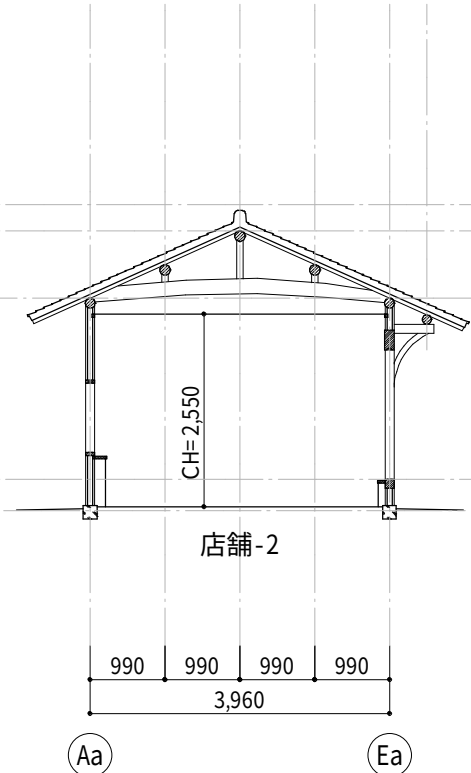
D-D 断面



E-E 断面

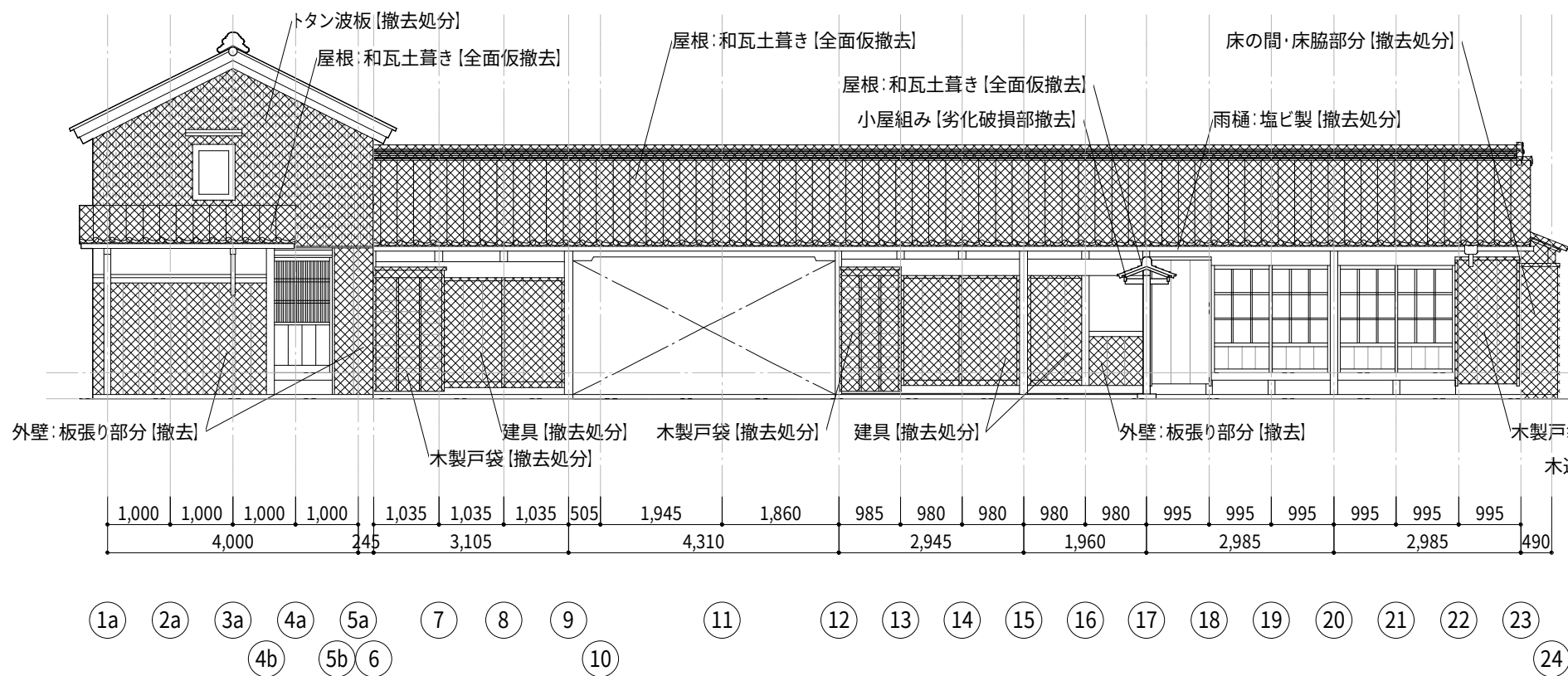


F-F 断面

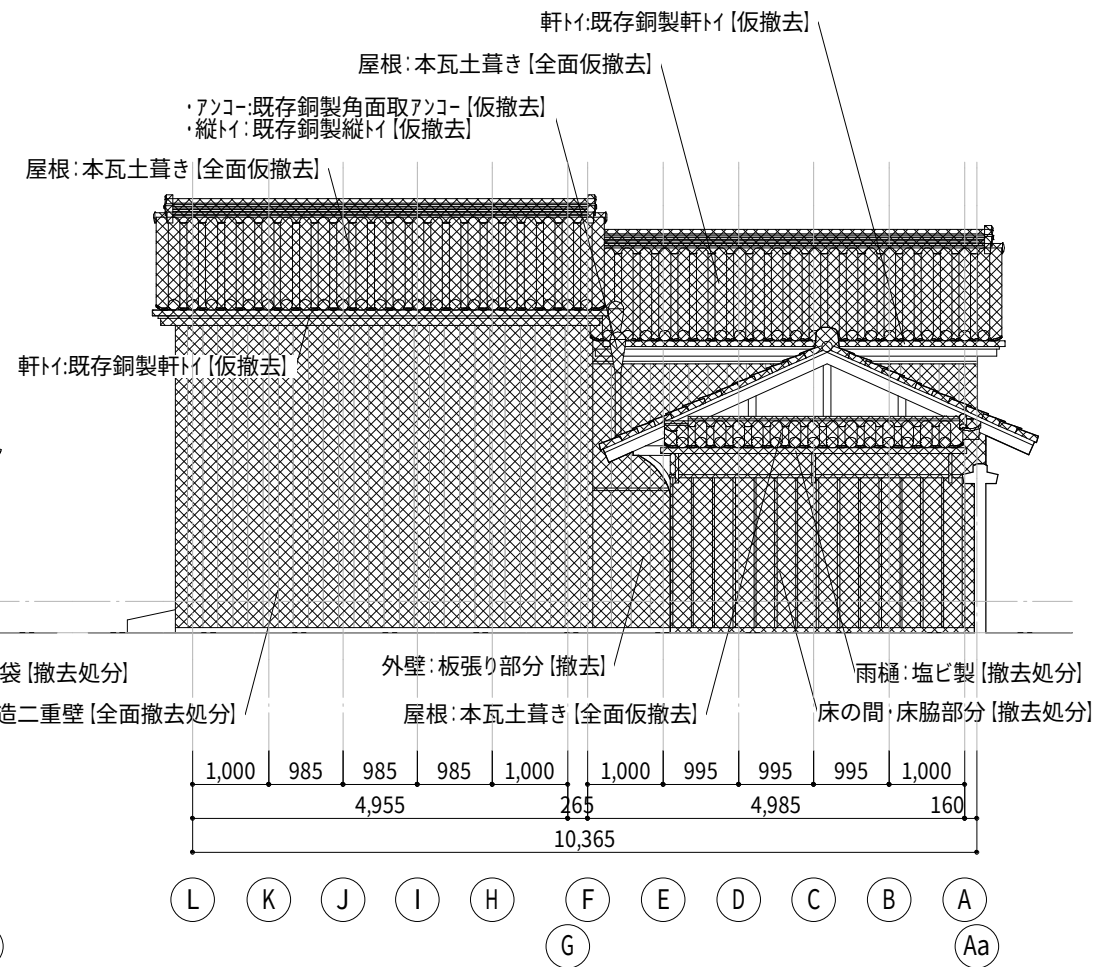


G-G 断面

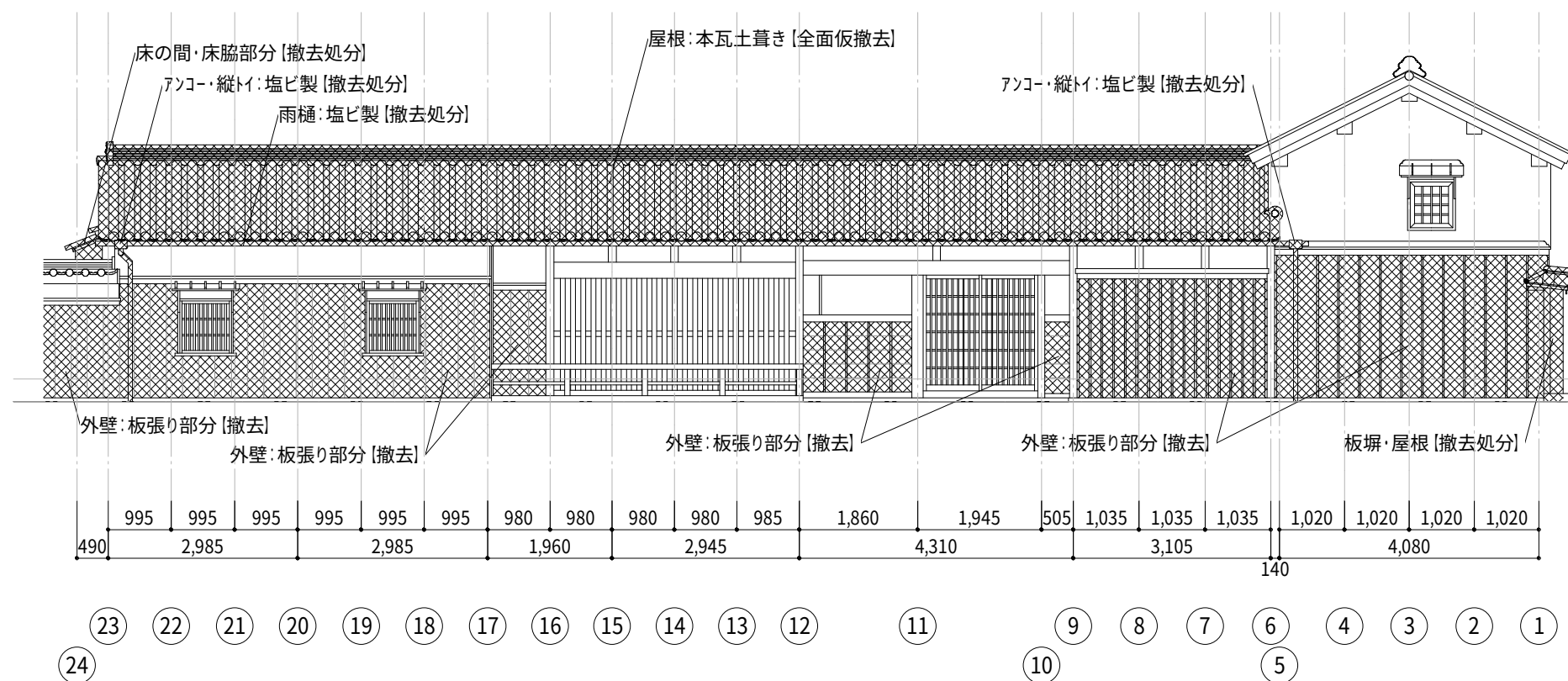
現 況



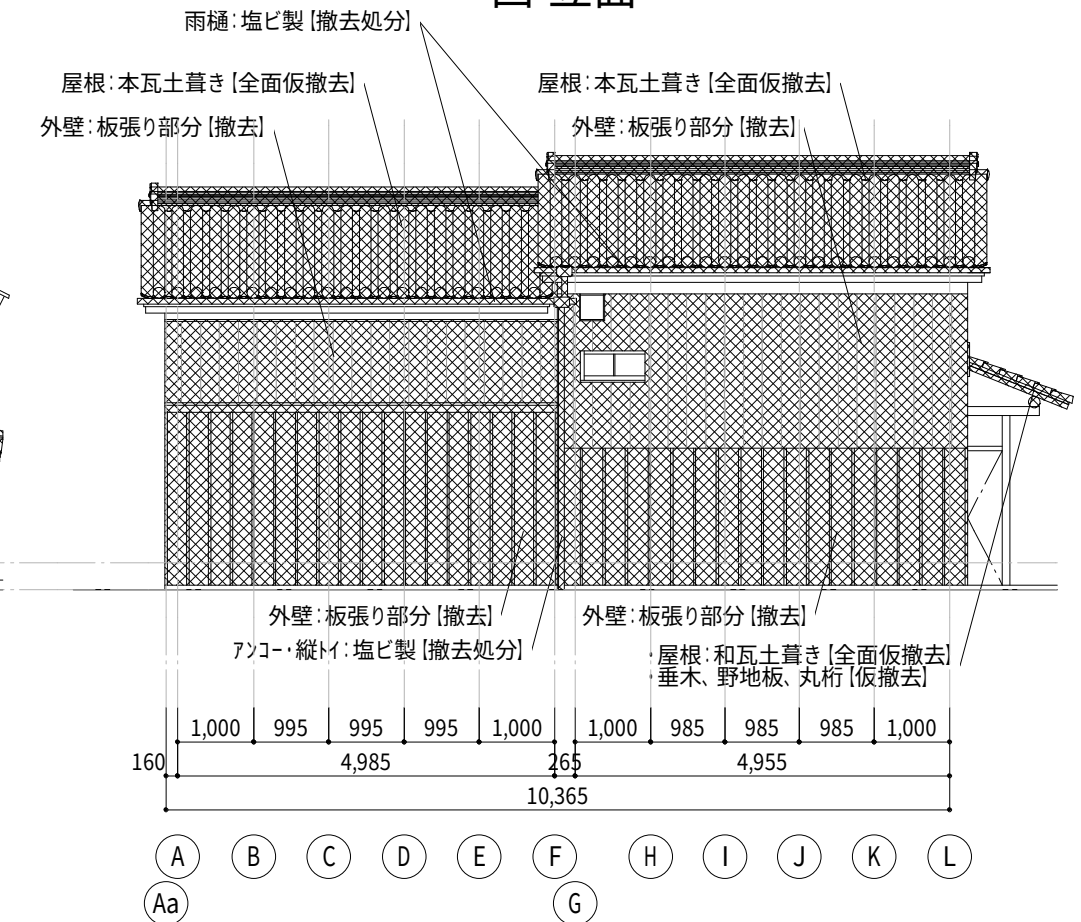
北 立面



西 立面

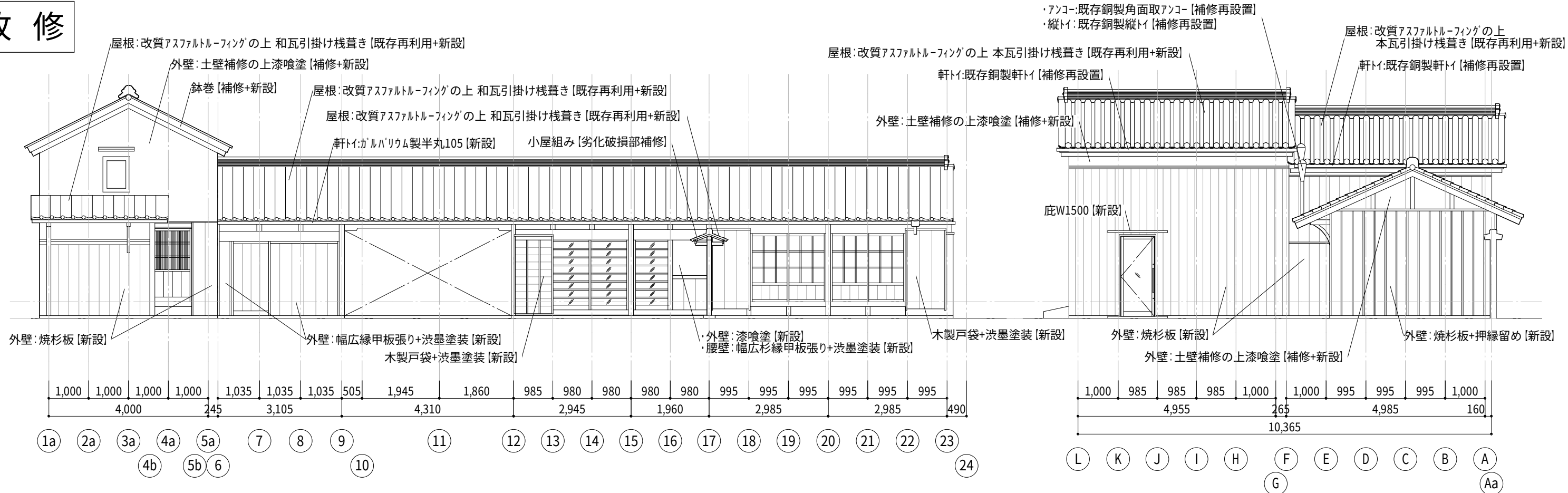


南 立面



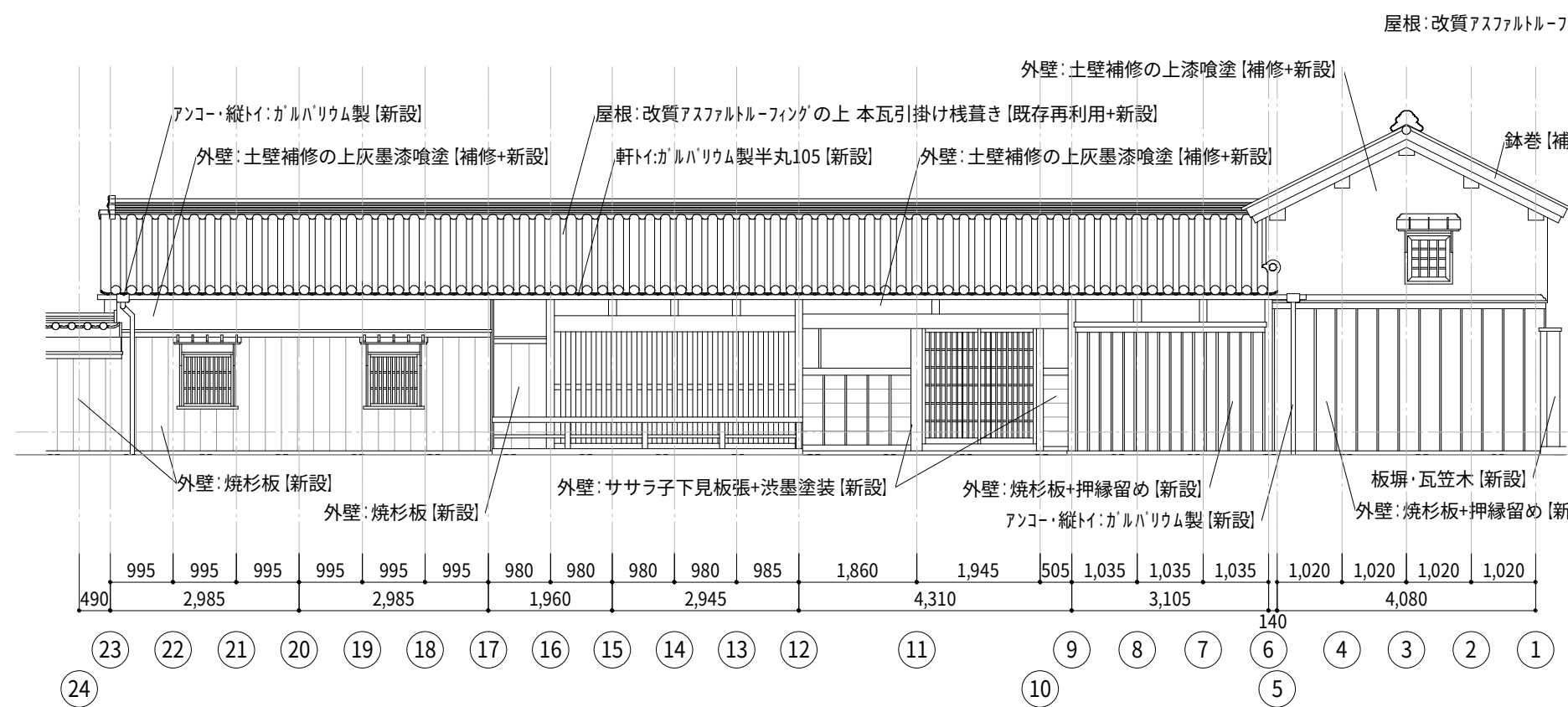
東 立面

改修

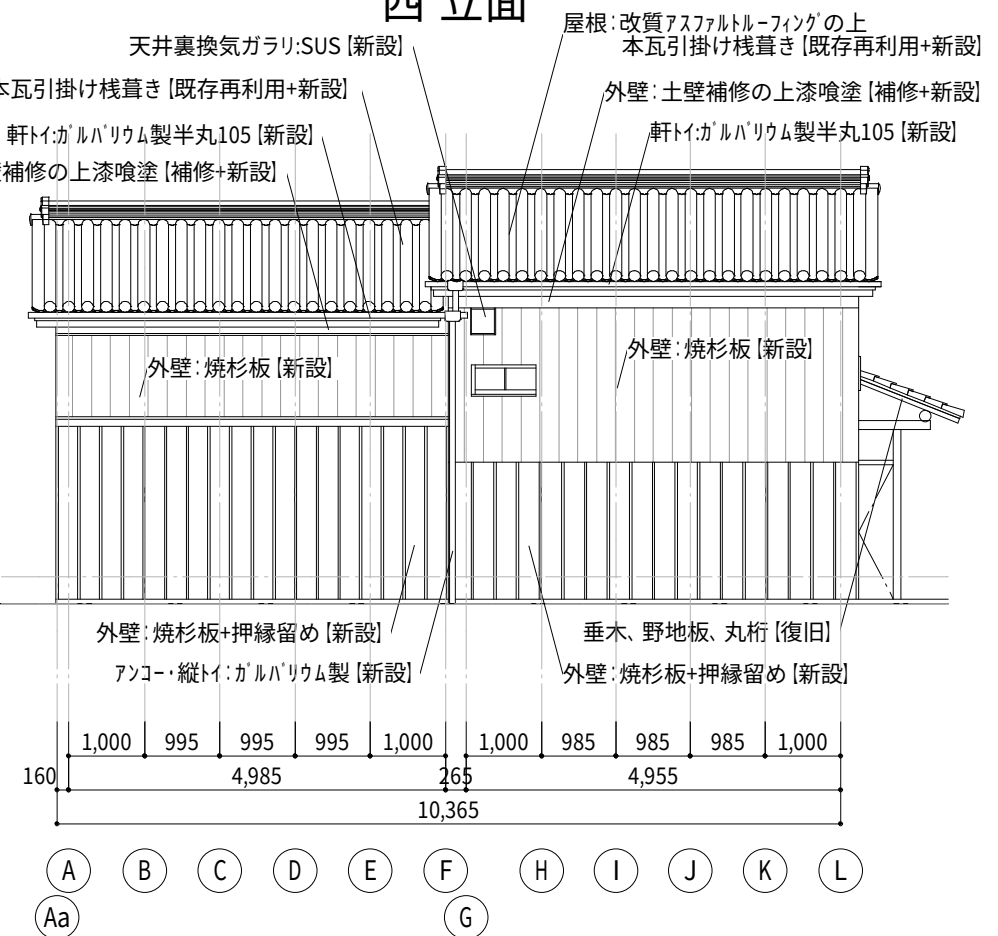


北 立面

西 立面

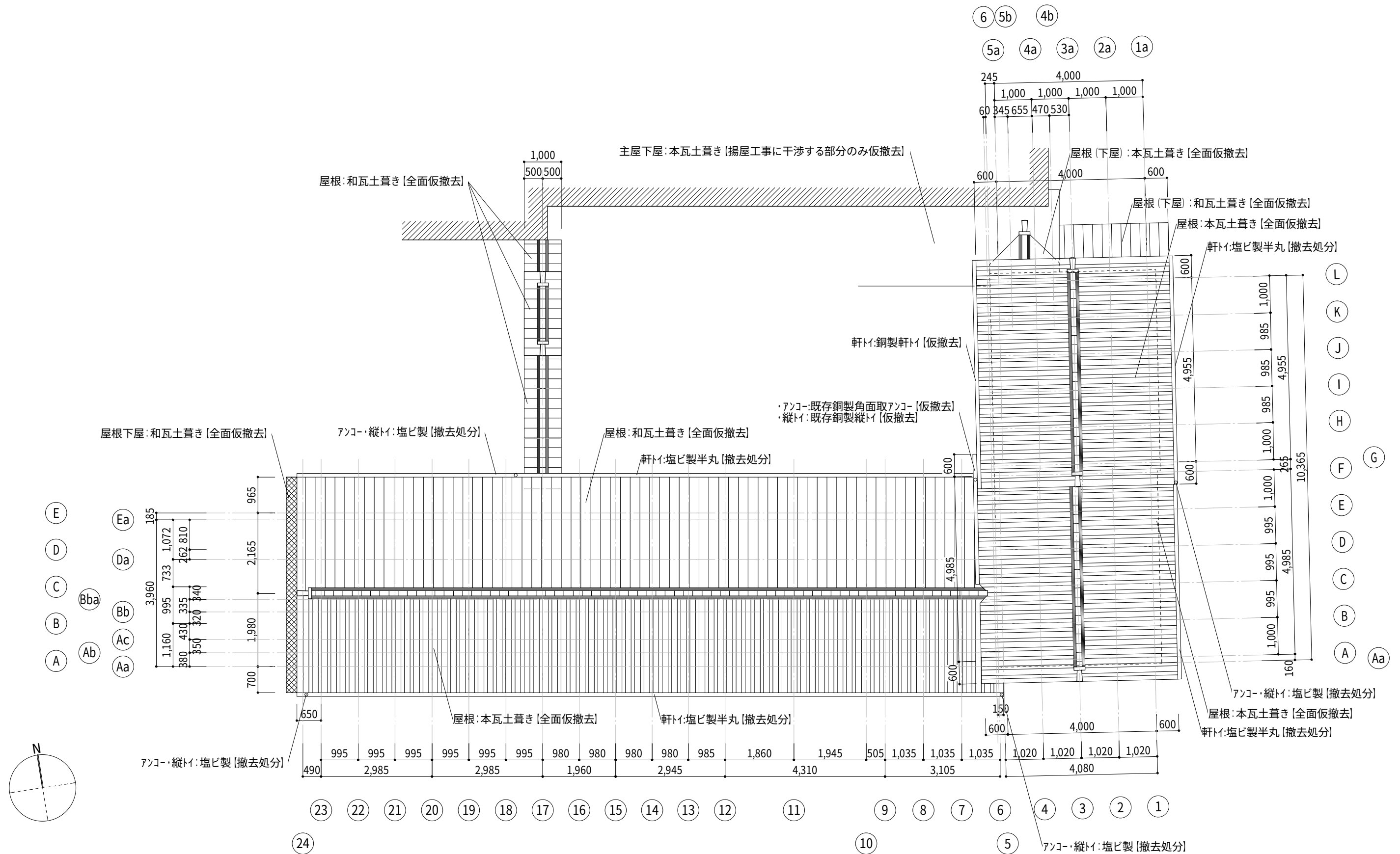


南 立面

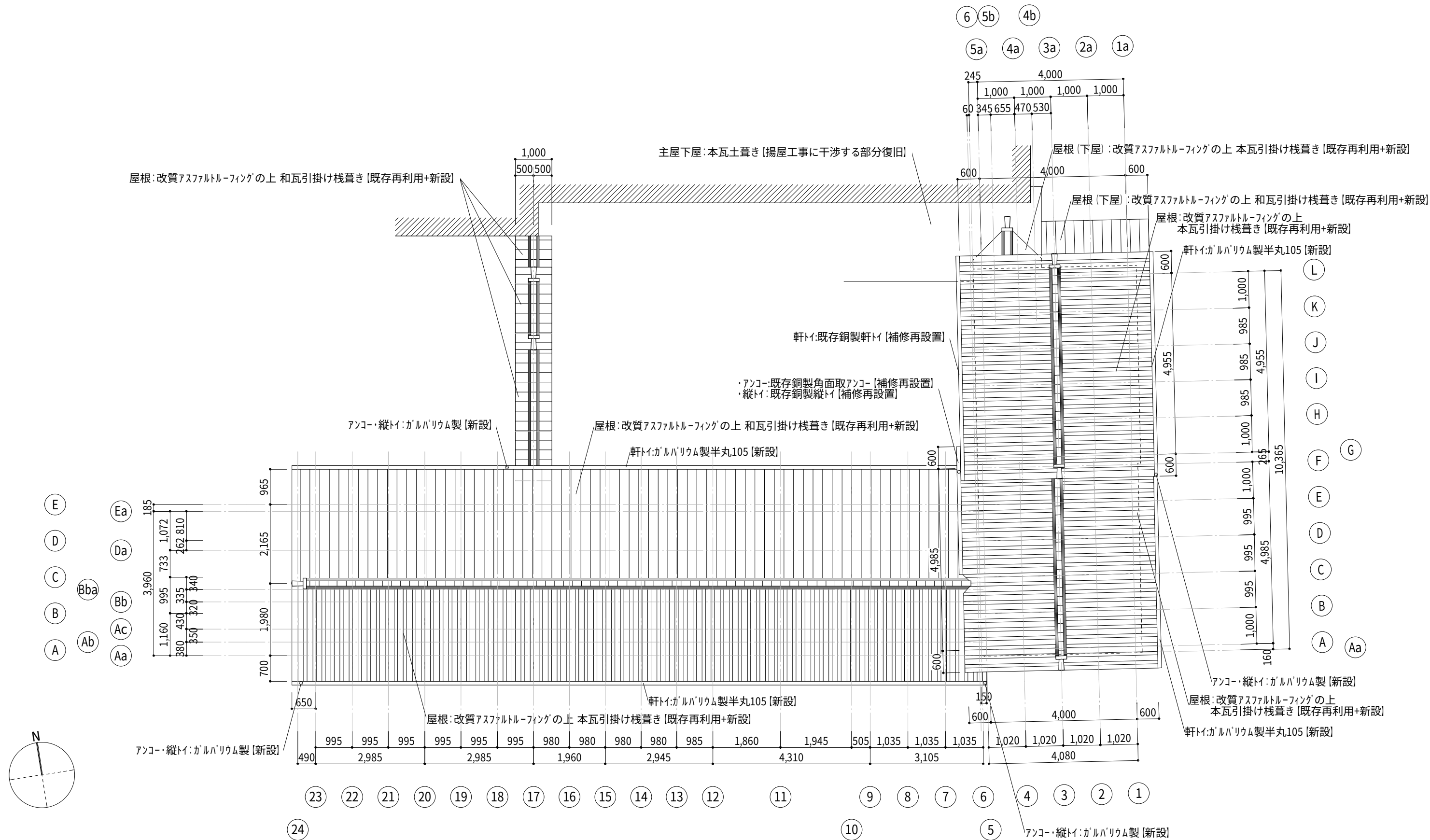


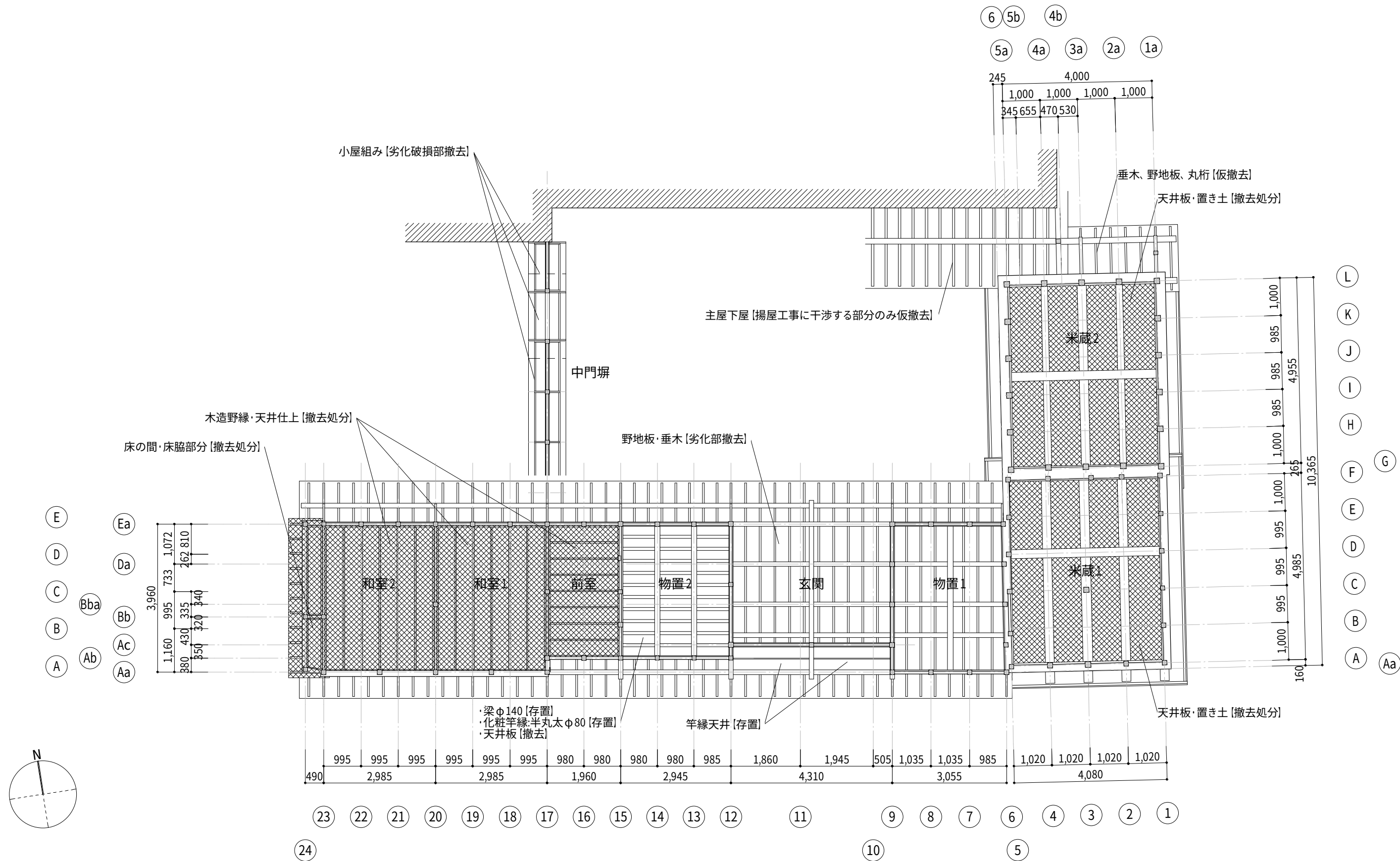
東 立面

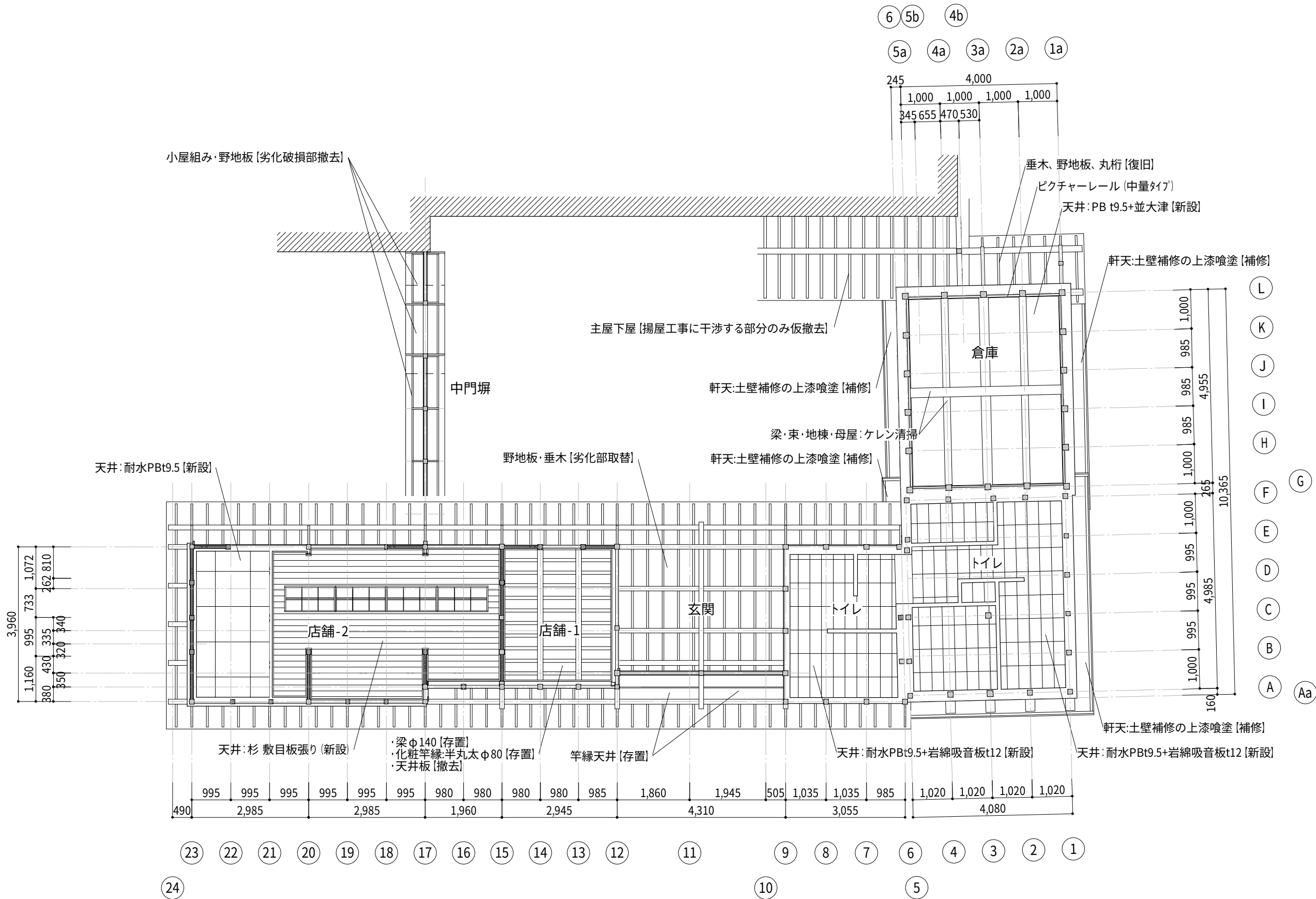
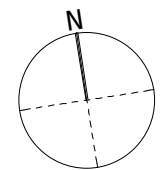
現況



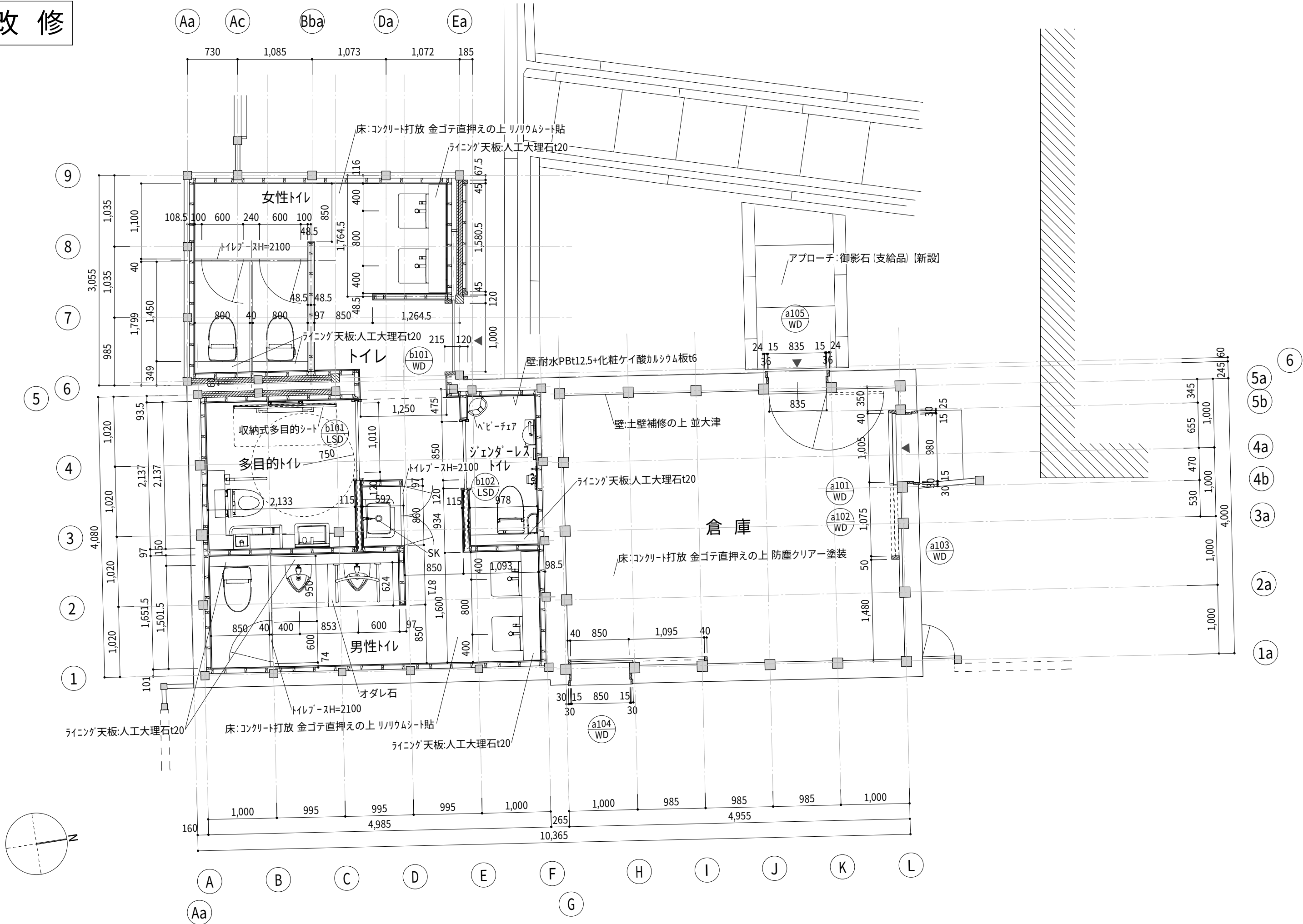
改修

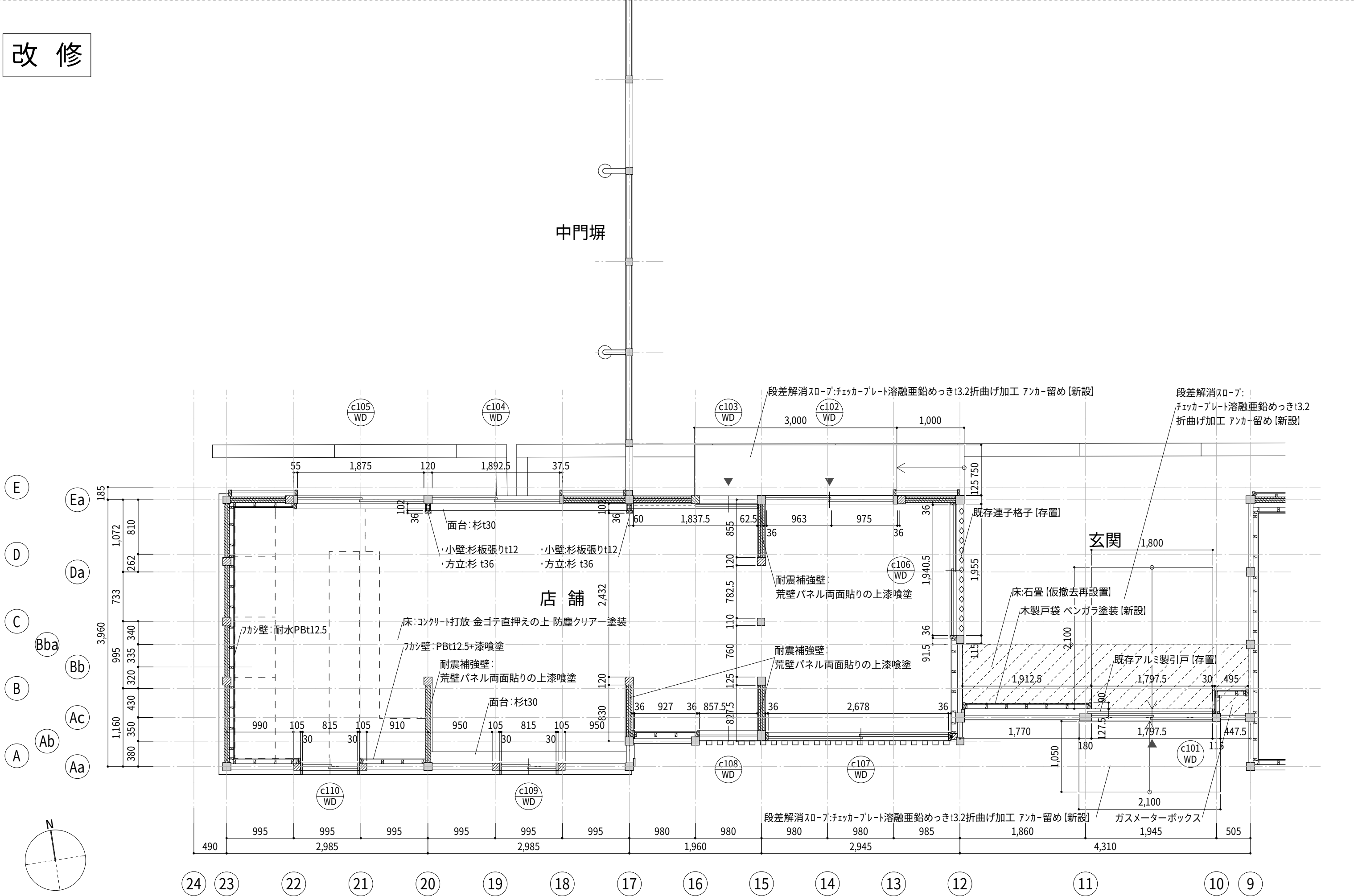




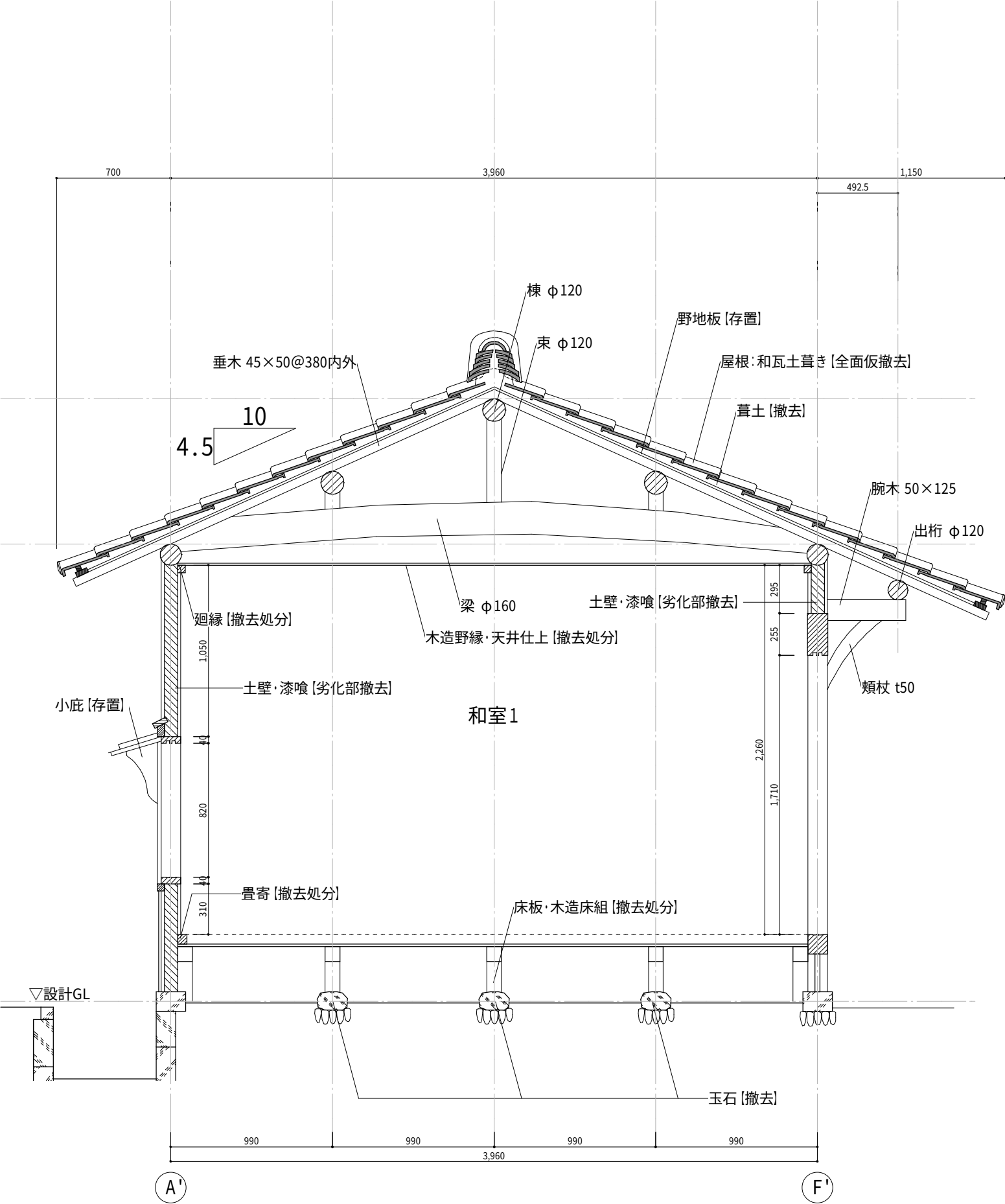


改修

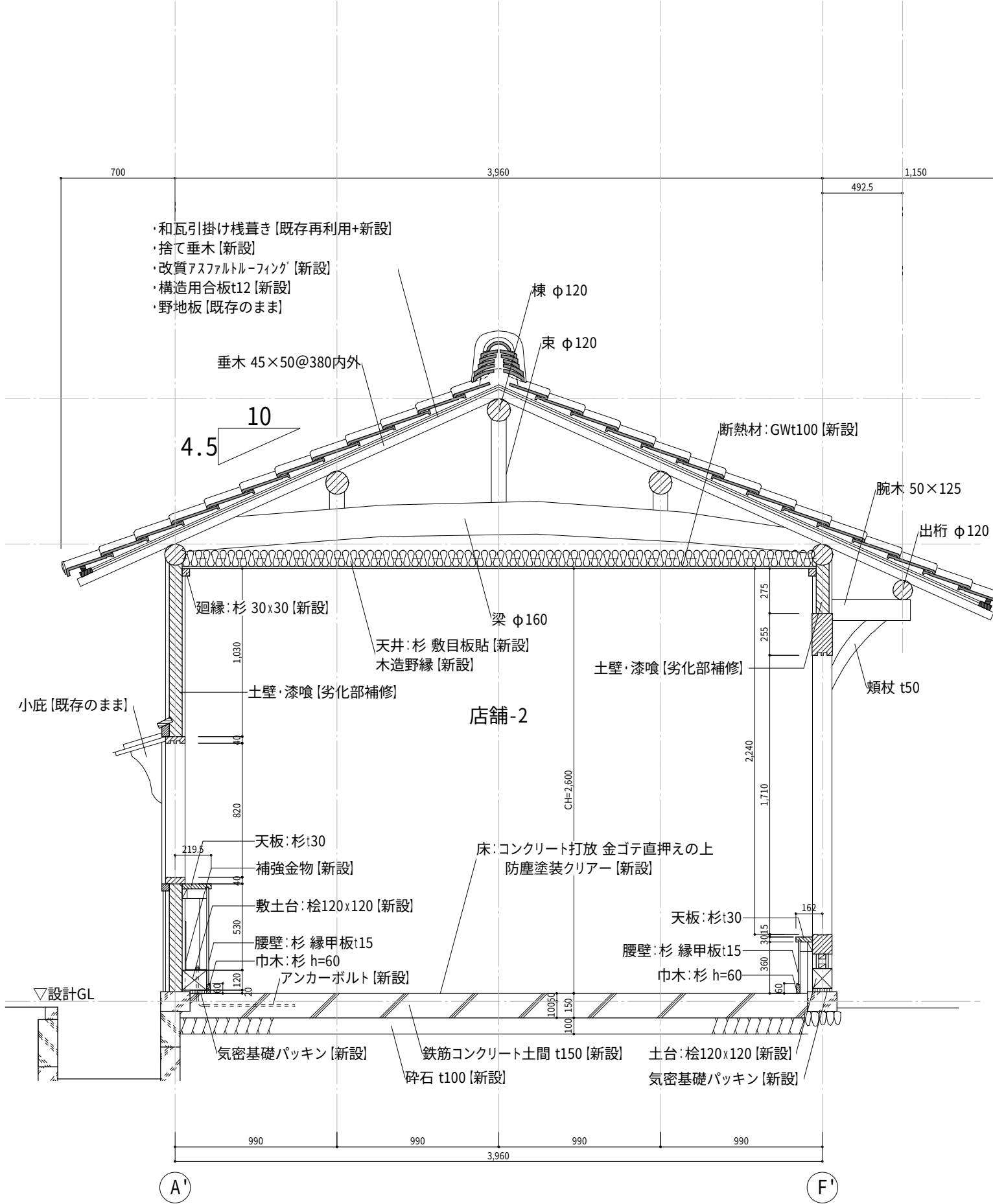




現 況

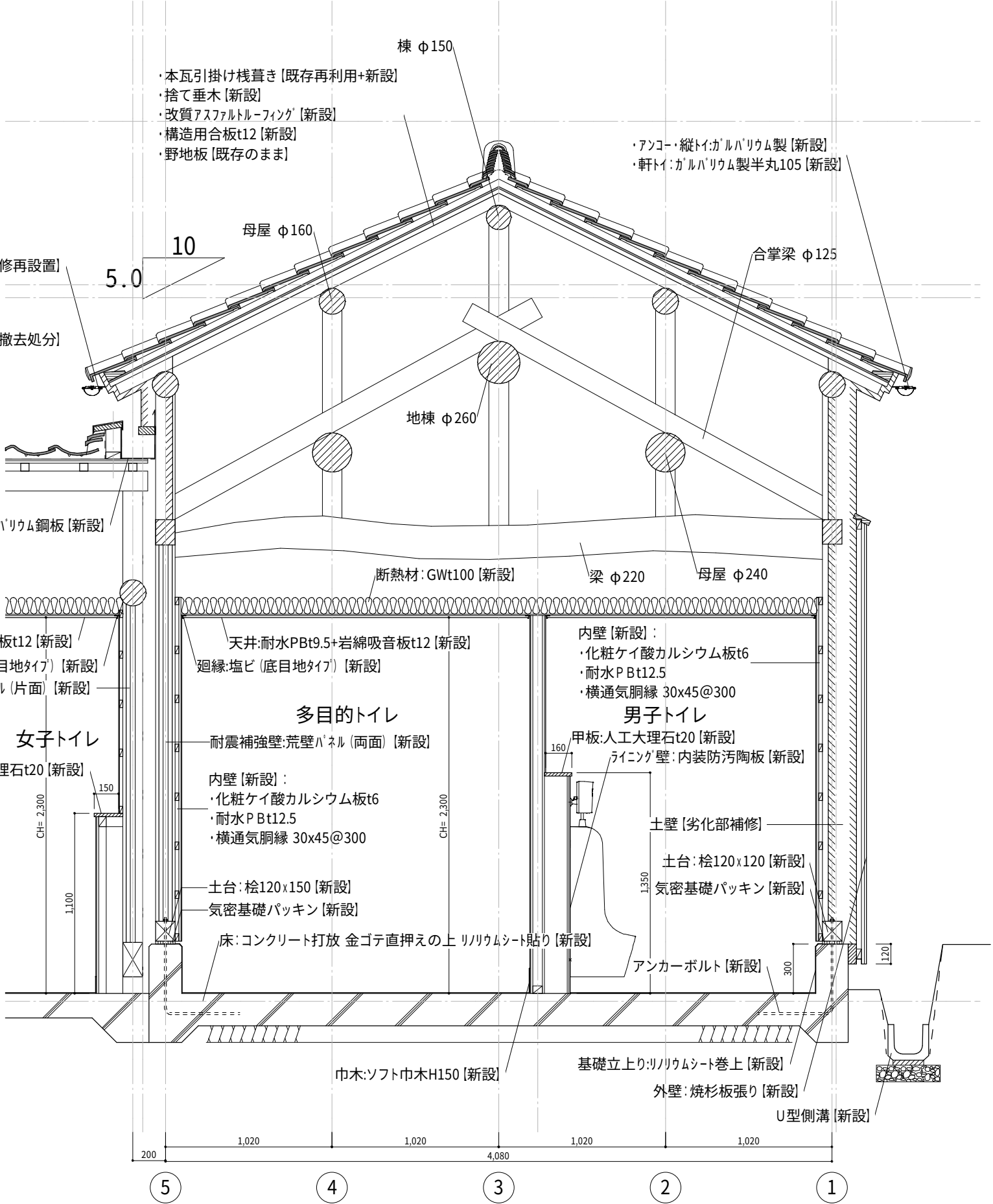
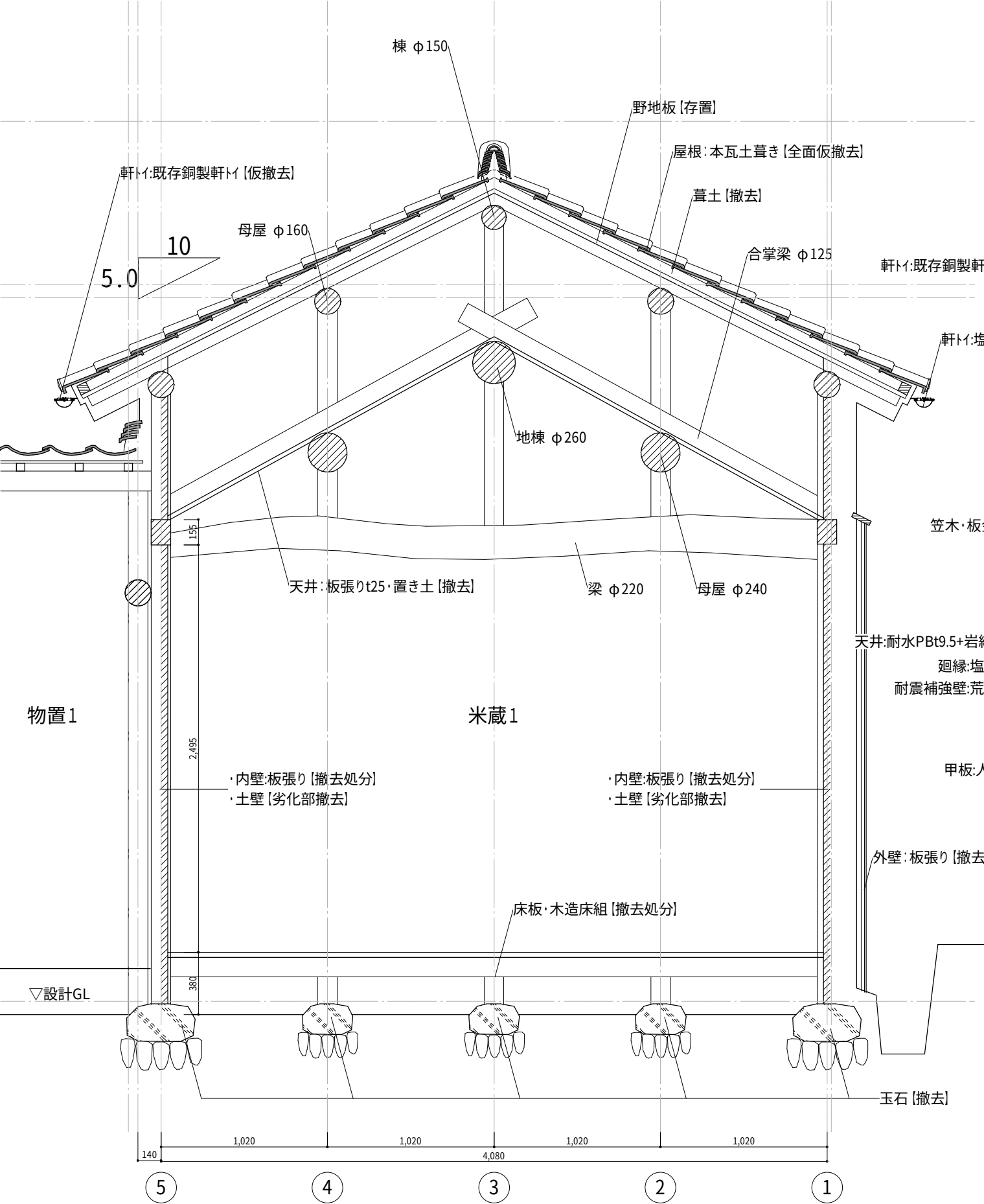


改 修



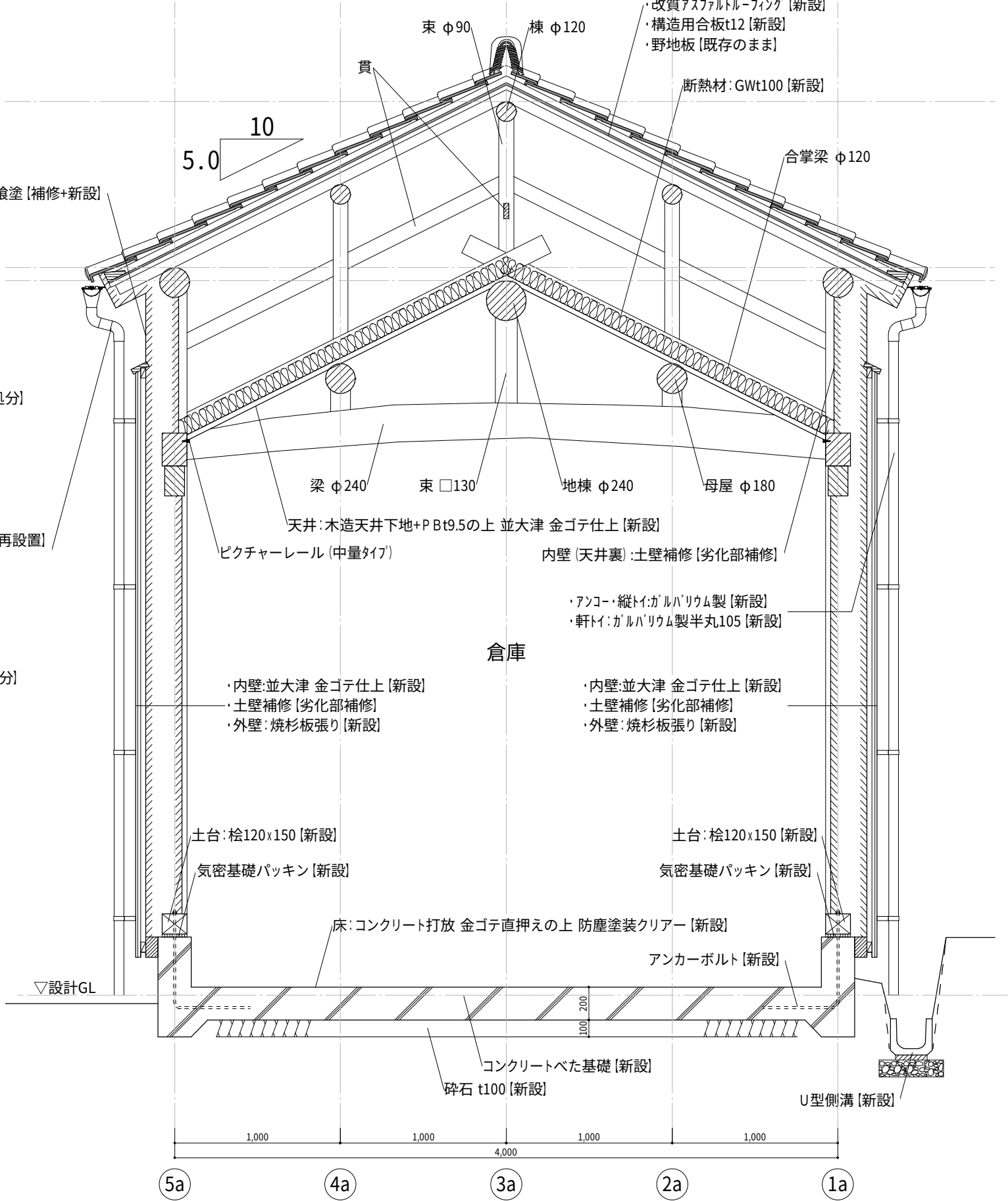
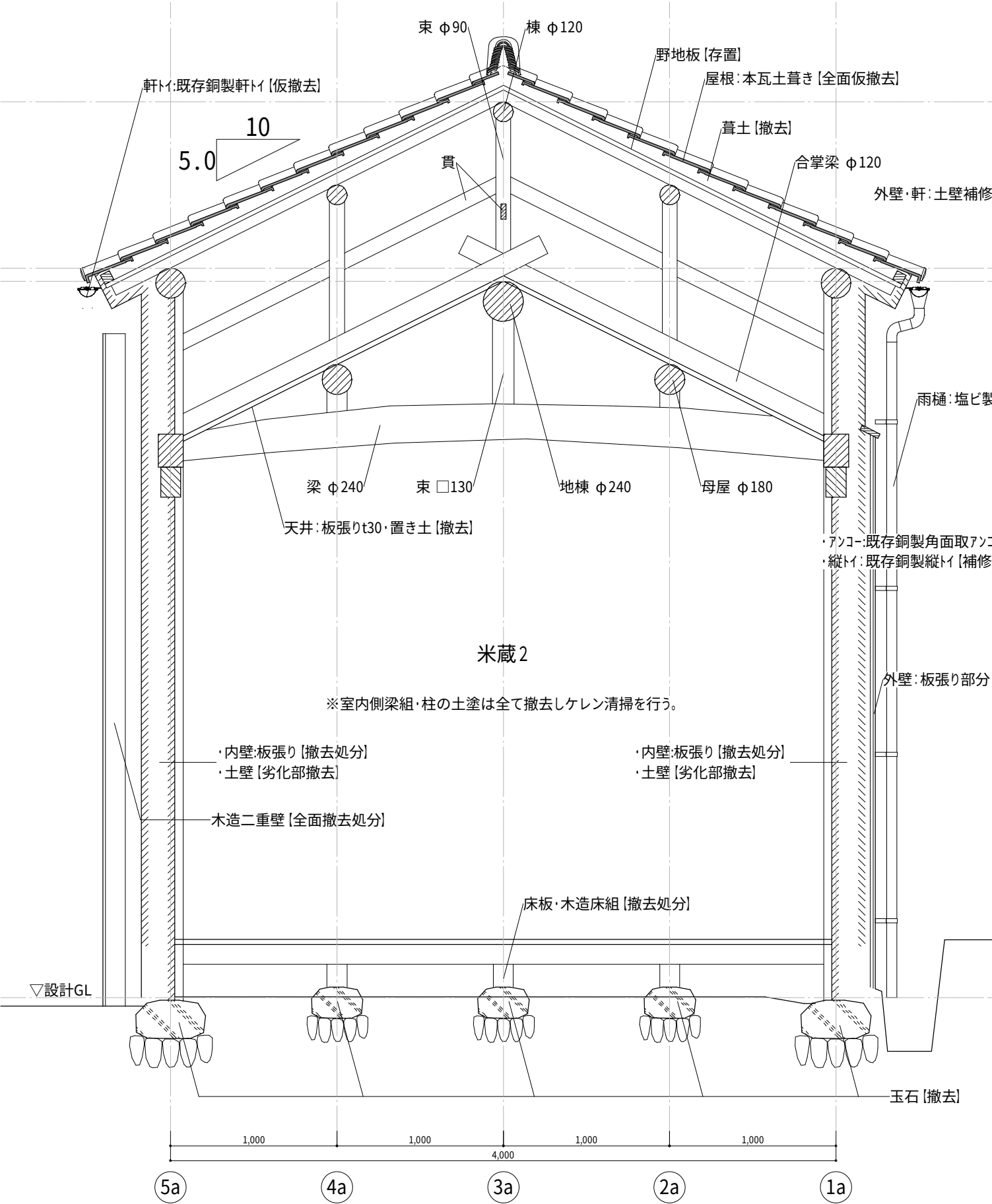
現 況

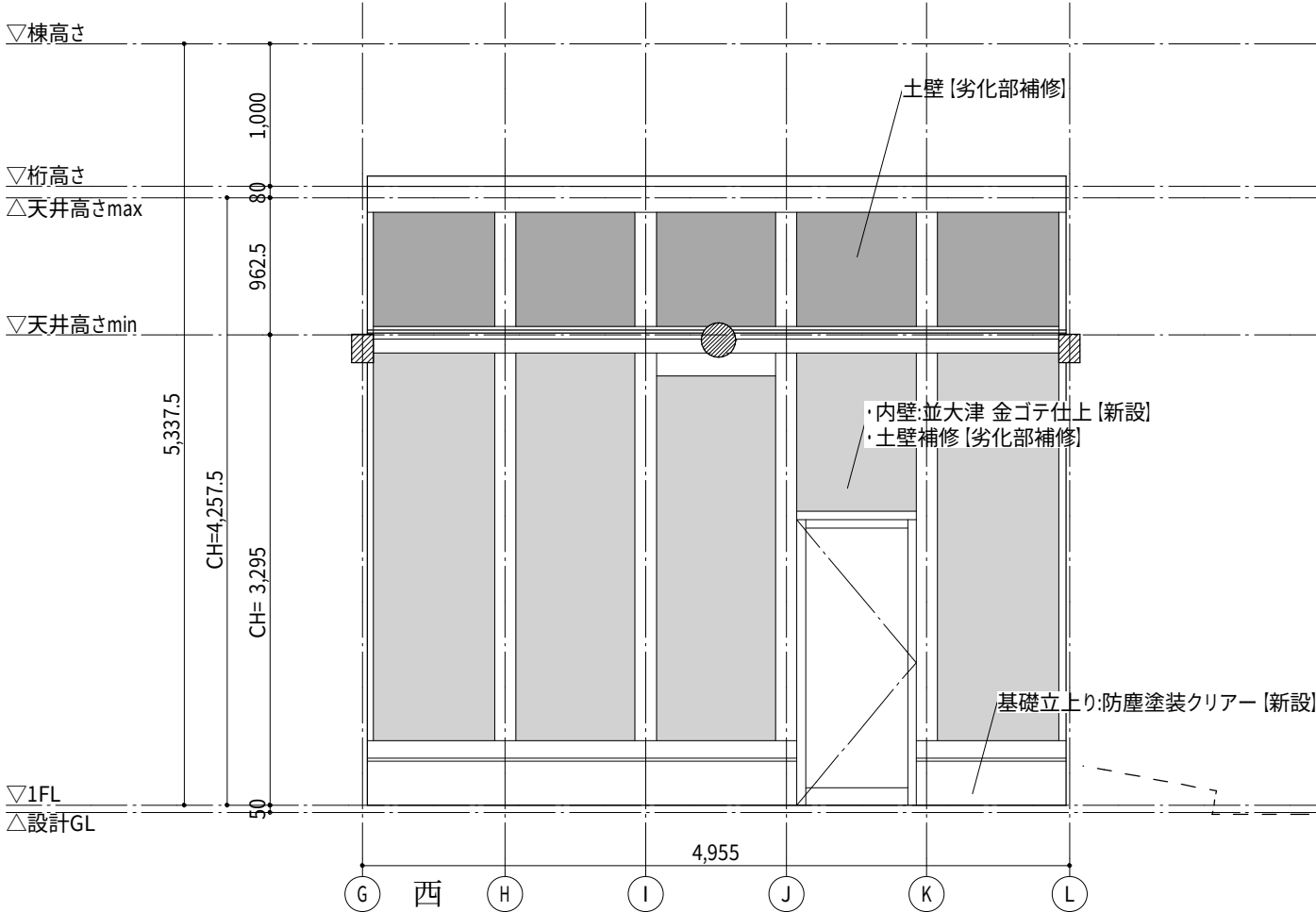
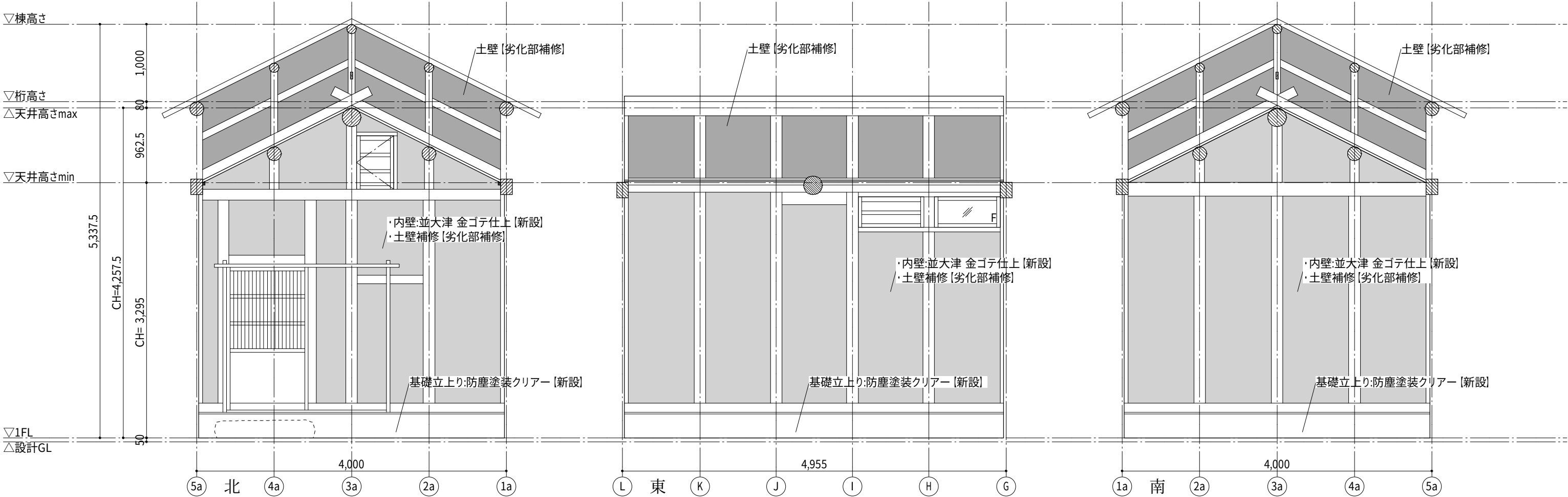
改 修



現 況

改 修

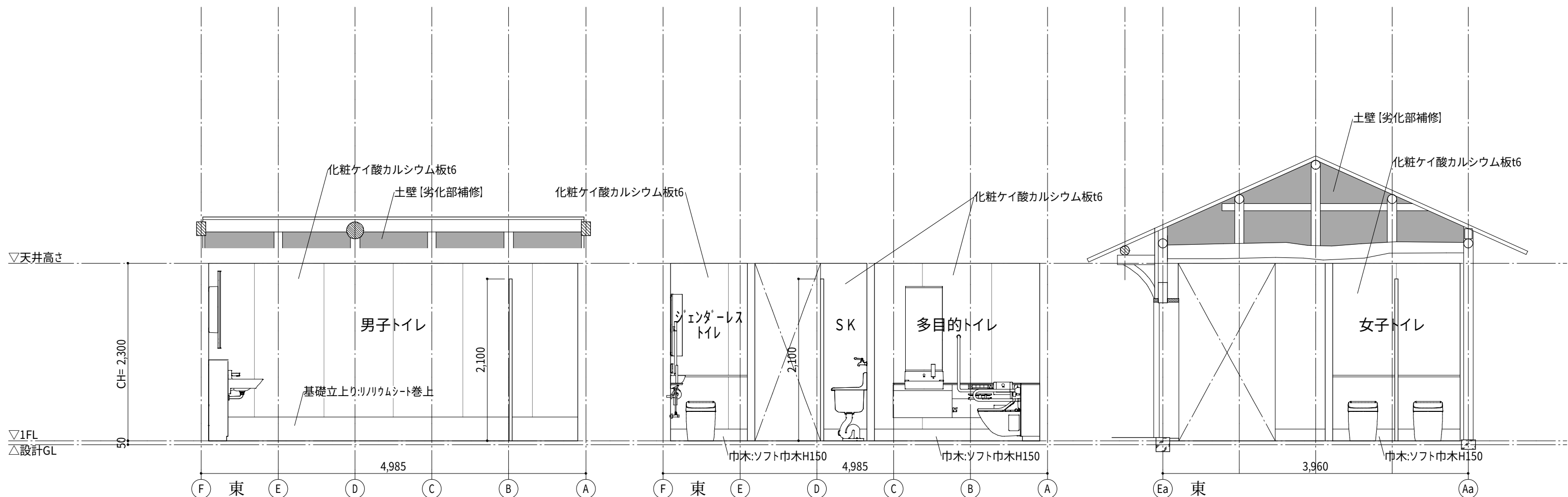
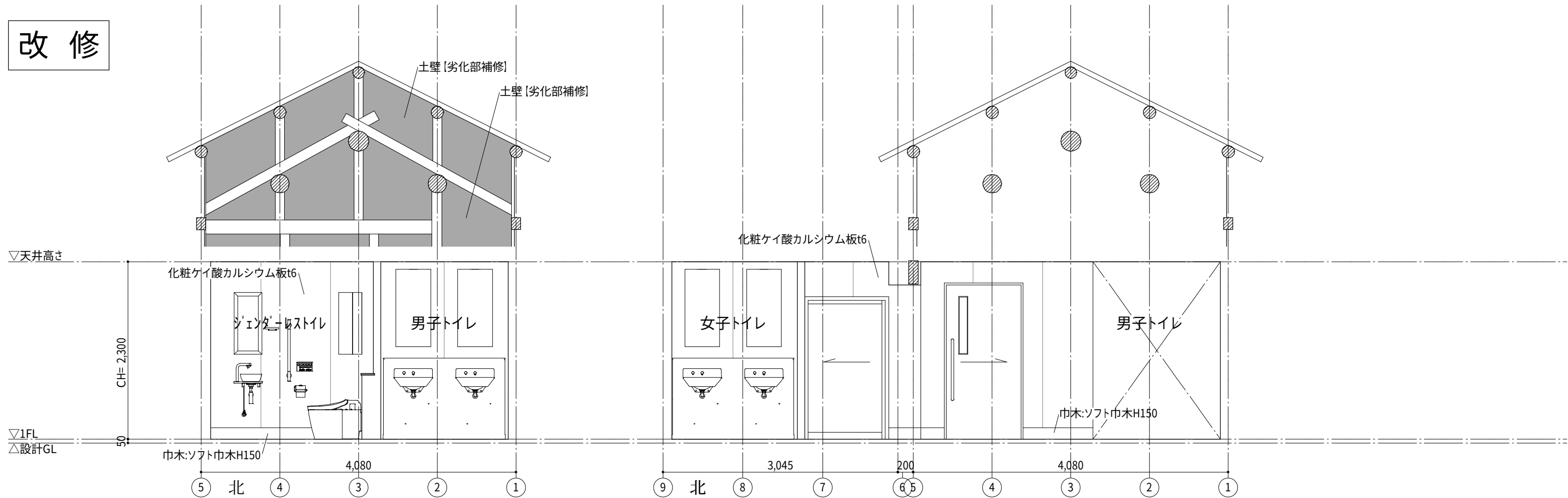




改修

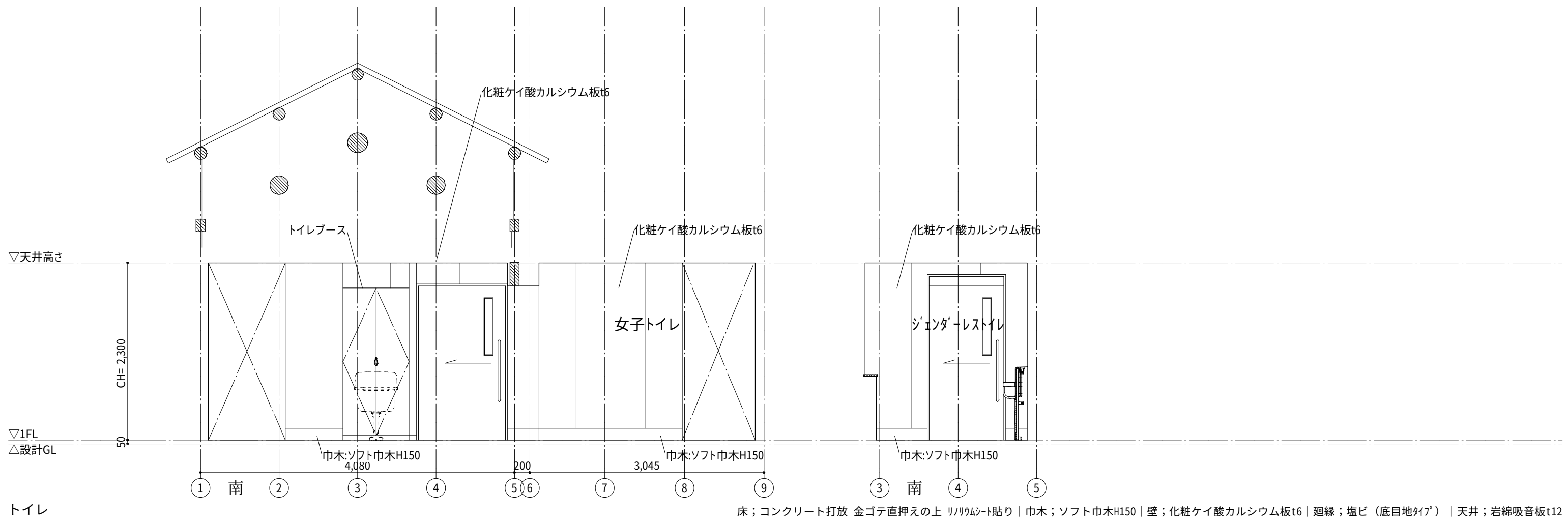
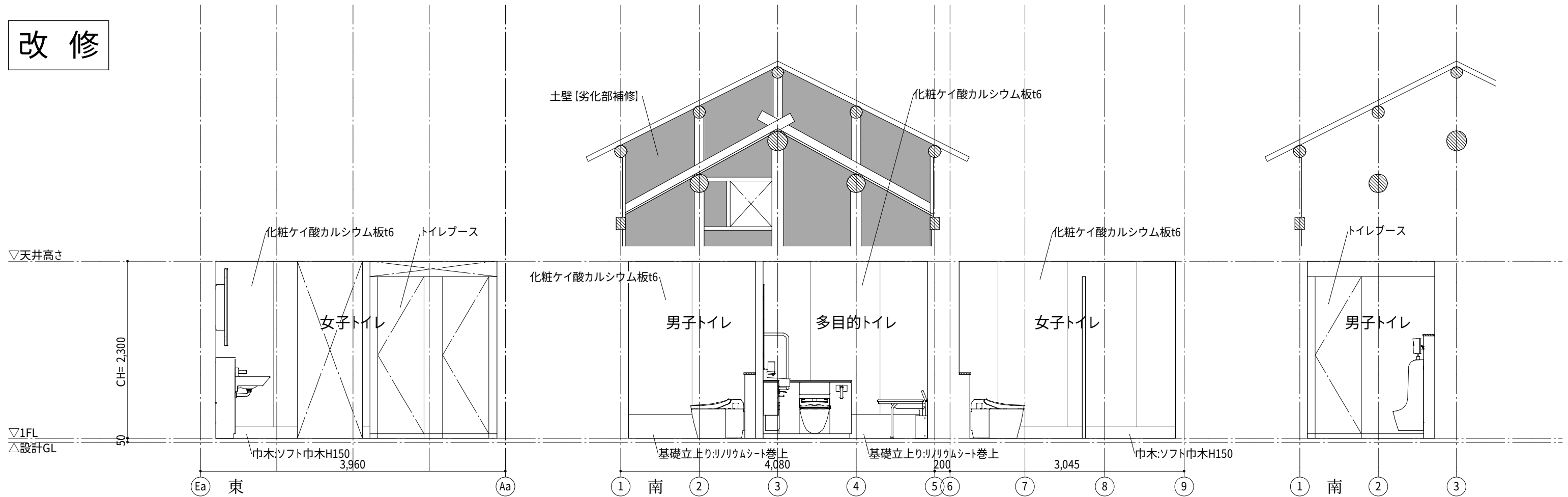
展示室 床；ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 金ゴテ直押えの上防塵塗装クリアー | 巾木；ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 防塵塗装クリアー | 壁；土壁補修の上並大津金ゴテ | 廻縁；－ | 天井；並大津金ゴテ

改修



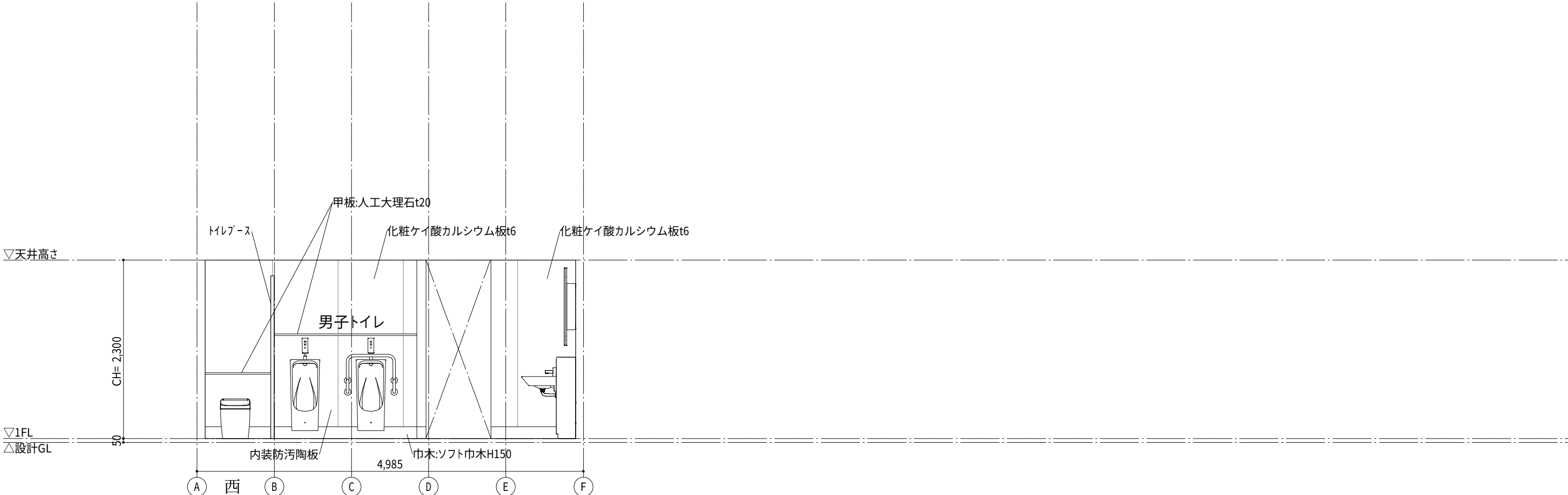
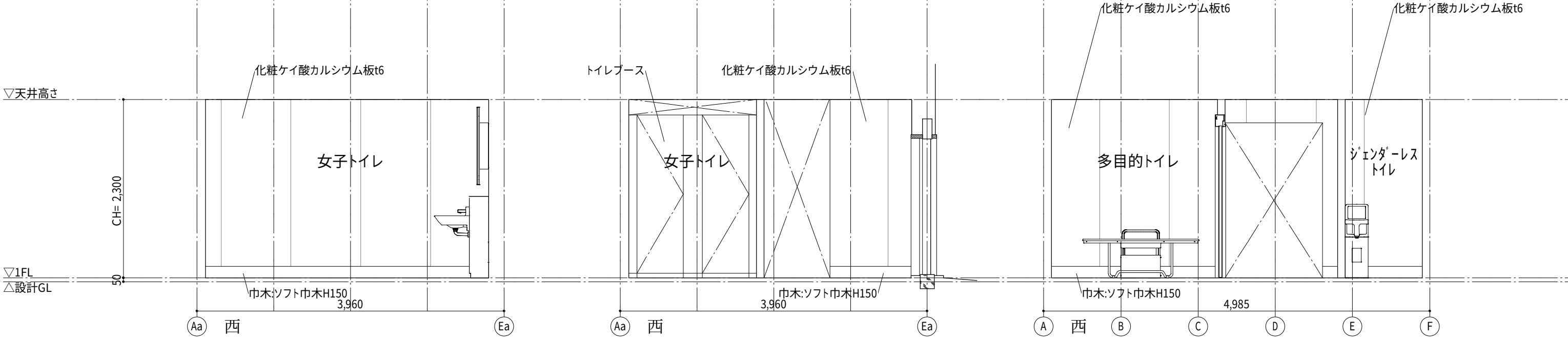
トイレ 床；コンクリート打放 金ゴテ直押えの上 リリウムシート貼り | 巾木；ソフト巾木H150 | 壁；化粧ケイ酸カルシウム板t6 | 廻縁；塩ビ（底目地タイプ） | 天井；岩綿吸音板t12

改修



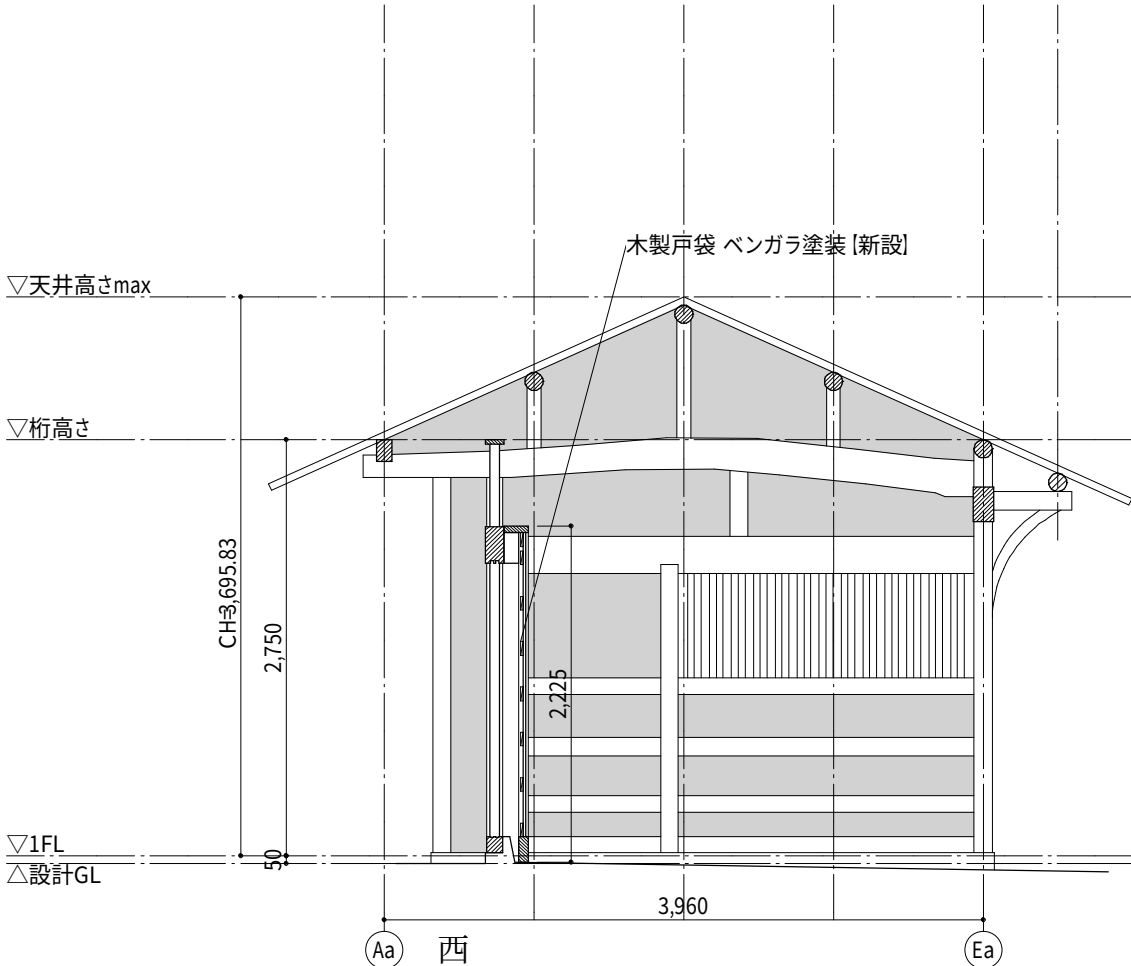
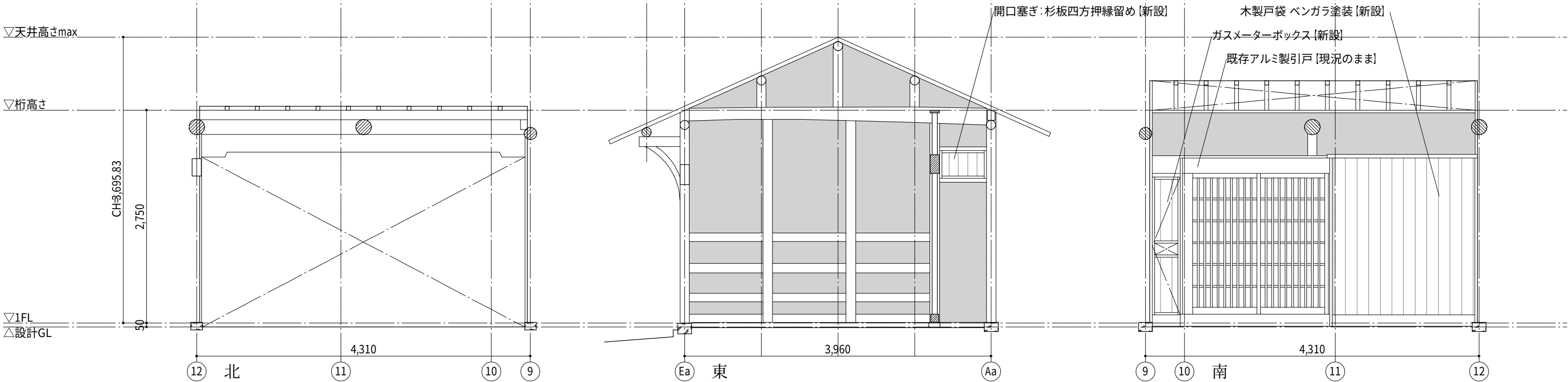
トイレ 床；コンクリート打放 金ゴテ直押えの上 リリウムシート貼り | 巾木；ソフト巾木H150 | 壁；化粧ケイ酸カルシウム板t6 | 廻縁；塩ビ（底目地タイフ） | 天井；岩綿吸音板t12

改修



トイレ 床；コンクリート打放 金ゴテ直押えの上 リノリウムシート貼り | 巾木；ソフト巾木H150 | 壁；化粧ケイ酸カルシウム板t6 | 廻縁；塩ビ（底目地タイフ） | 天井；岩綿吸音板t12

改修



玄 関

床; 石貼り【一部仮撤去復旧】 | 巾木; 土台現し【既存のまま】 | 壁; 聚楽壁【既存のまま】 | 廻縁; - | 天井; 杉化粧野地板【劣化部取替】

株式会社 西 本 組
西 本 建 築 事 務 所
nishimoto architect office 一級建築士事務所

奈良県知事登録 第2023 (ろ) 2495号 管理建築士・1級建築士 第341443号 西本 翠
〒630-0234 奈良県生駒市萩原町20 TEL 0743-77-8095 FAX 0743-77-8126
〒174-0074 東京都板橋区東新町2-25-15 TEL 03-3959-0768 FAX 03-5926-9868

Project
羽曳野市旧浅野家住宅 実施設計

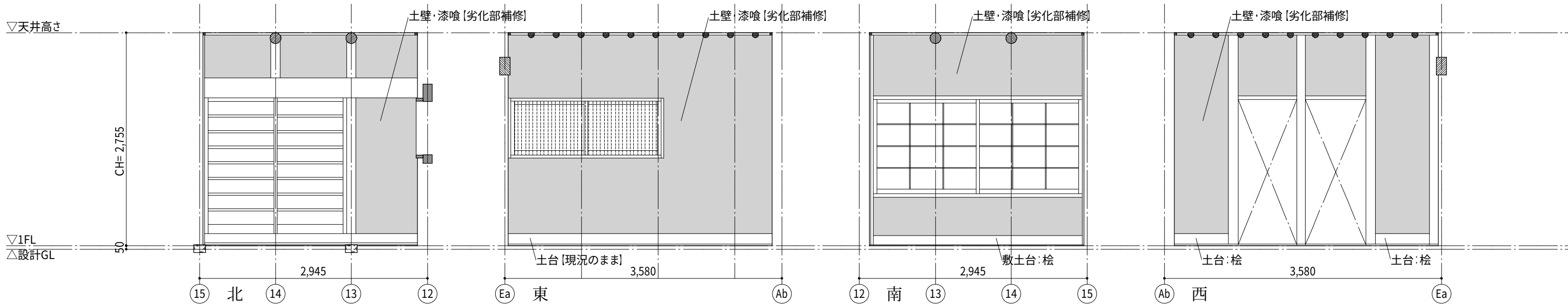
Date 2024.07.31
Drawing 西本成志

Architect 西本翠
Check 西本翠

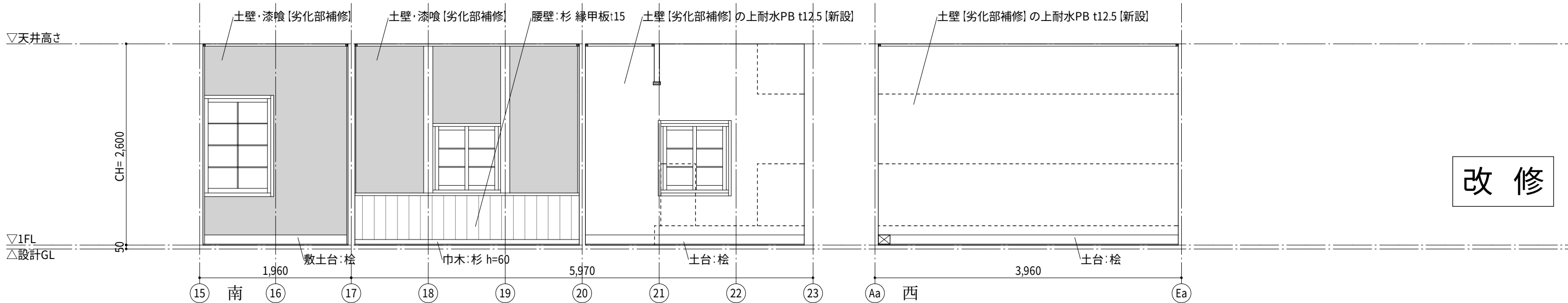
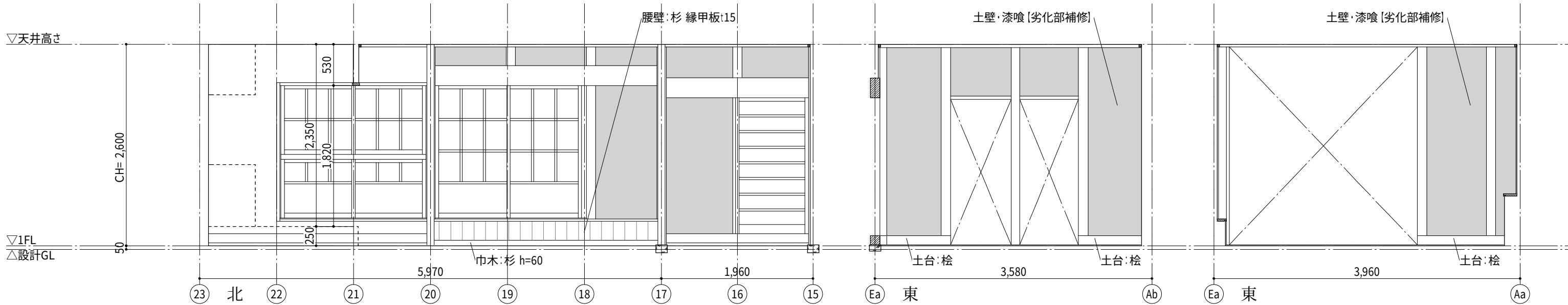
Scale 1:50

Sheet No. D-35

Title
長屋門・蔵棟
展開図-5



店舗-1 床；コンクリート打放 金ゴテ直押えの上防塵塗装クリアー | 巾木；桧H120 | 壁；漆喰【劣化部補修】 | 廻縁；杉36 x 36 | 天井；既存板現し



店舗-2 床；コンクリート打放 金ゴテ直押えの上防塵塗装クリアー | 巾木；桧H120・杉H60 | 壁；漆喰【劣化部補修】 | 廻縁；杉36 x 36 | 天井；杉 敷目板張り

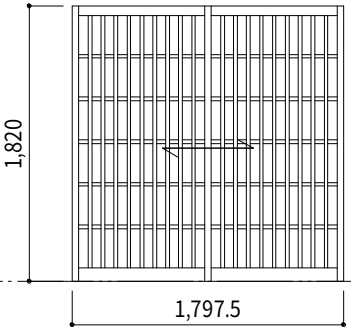
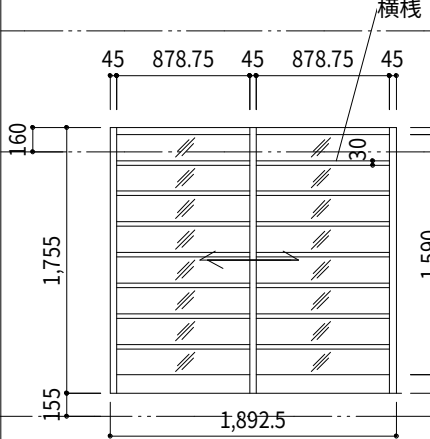
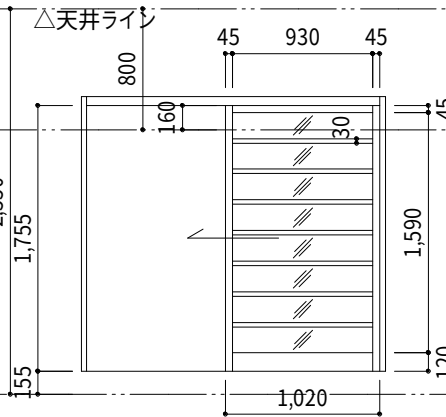
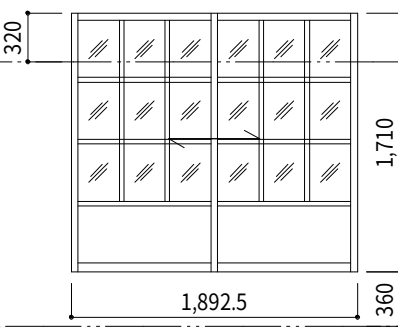
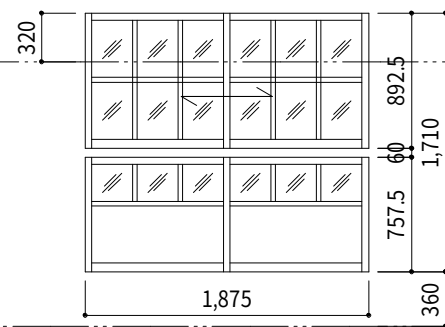
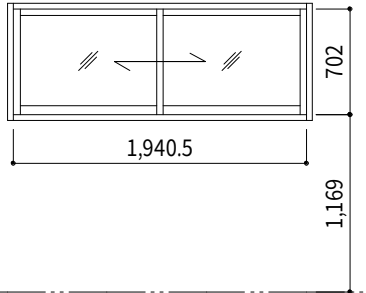
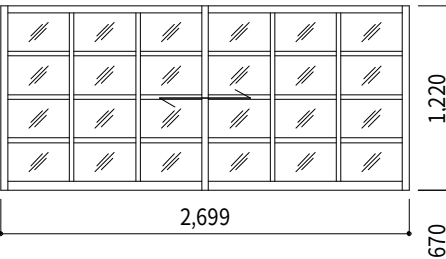
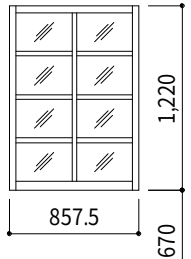
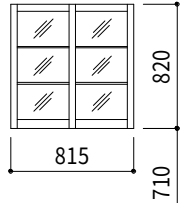
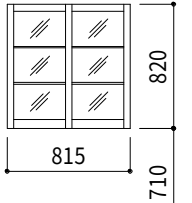
記号	a101WD × 1	a102WD × 1	a103WD × 1	a104WD × 1	a105WD × 1
室名	展示室・倉庫	展示室・倉庫	展示室・倉庫	展示室・倉庫	展示室・倉庫
姿図			排煙有効面積 0.690*0.480-0.1257*0.24115*1/2 0.316		
型式	既存 蔵戸（外）・片引き	既存 蔵戸（内）・片引き	既存 板戸・片開き	既存 板戸・片引き	木製ガラス框戸・片開き
見込	***	***	***	***	45
材料	（既存のまま）	（既存のまま）	（既存のまま）	（既存のまま）	杉
仕上	（既存のまま）	（既存のまま）	（既存のまま）	（既存のまま）	—
硝子	（既存のまま）	（既存のまま）	—	—	SL：FL3+A12+FL3
付属金物	引手（既存のまま） SUS戸車（取替）・シリンダー錠× 2（新設）	引手（既存のまま） SUS戸車（取替）	丁番（取替）	—	旗丁番・シリンダー錠× 2・ドアチェック・戸当り・ドアハンドル
沓摺	—	—	—	—	1
備考	既存建具補修（劣化・破損部補修）	既存建具補修（劣化・破損部補修）	既存建具補修（劣化・破損部補修）	既存建具補修（劣化・破損部補修）	
記号	b101WD × 1	b101LSD × 1	b102LSD × 1		
室名	トイレ	トイレ／多目的トイレ	トイレ／ジェンダーレストイレ		
姿図					
型式	木製框戸（管理用）・片引き	軽量鋼製戸・片引き	軽量鋼製戸・片引き		
見込	45	枠:135 扉:36	枠:135 扉:36		
材料	杉	枠・框:溶融亜鉛めっき鋼板t1.2	枠・框:溶融亜鉛めっき鋼板t1.2		
仕上	ベンガラ塗装	扉:化粧鋼板t0.6	扉:化粧鋼板t0.6		
硝子	—	F3	F3		
付属金物	引手・SUS戸車・シリンダー錠× 2	ドアハンドル・サムターン（表示付）・ドアハンドル・ハンガーレール	ドアハンドル・サムターン（表示付）・ドアハンドル・ハンガーレール		
沓摺	SUS土間レール	1	1		
備考		文化シャッター：カームスライダー同等	文化シャッター：カームスライダー同等		

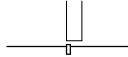
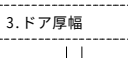
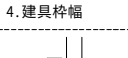
建具の符号と種類	
符号	種 類
SSD	ステンレス製扉
SD	スチール製扉
AD	アルミ製扉
WD	木製扉
TD	強化ガラス扉
ADW	ステンレス製窓
SW	スチール製窓
AW	アルミ製窓
WW	木製窓
LS	軽量スチールシャッター
SS	重量スチールシャッター
HD	戸襖
P	障子
SP	スチール製パーティション
AP	アルミ製パーティション

ガラスの符号と種類	
符号	種 類
FL	フロートガラス
F	型板ガラス
PW	網入型板ガラス
PWL	線入型板ガラス
PWH	網入磨板ガラス
WHNL	線入磨板ガラス
HR	熱線反射ガラス
BFL	熱線吸収フロート板ガラス
HWP	熱線吸収線入磨板ガラス
HNP	熱線吸収網入磨板ガラス
SL	複層ガラス
HSP	倍強度フロート板ガラス
HSPB	倍強度熱線吸収フロート板ガラス
STP	学校用強化ガラス
STPF	学校用強化型板ガラス

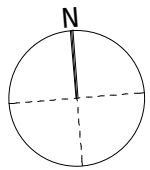
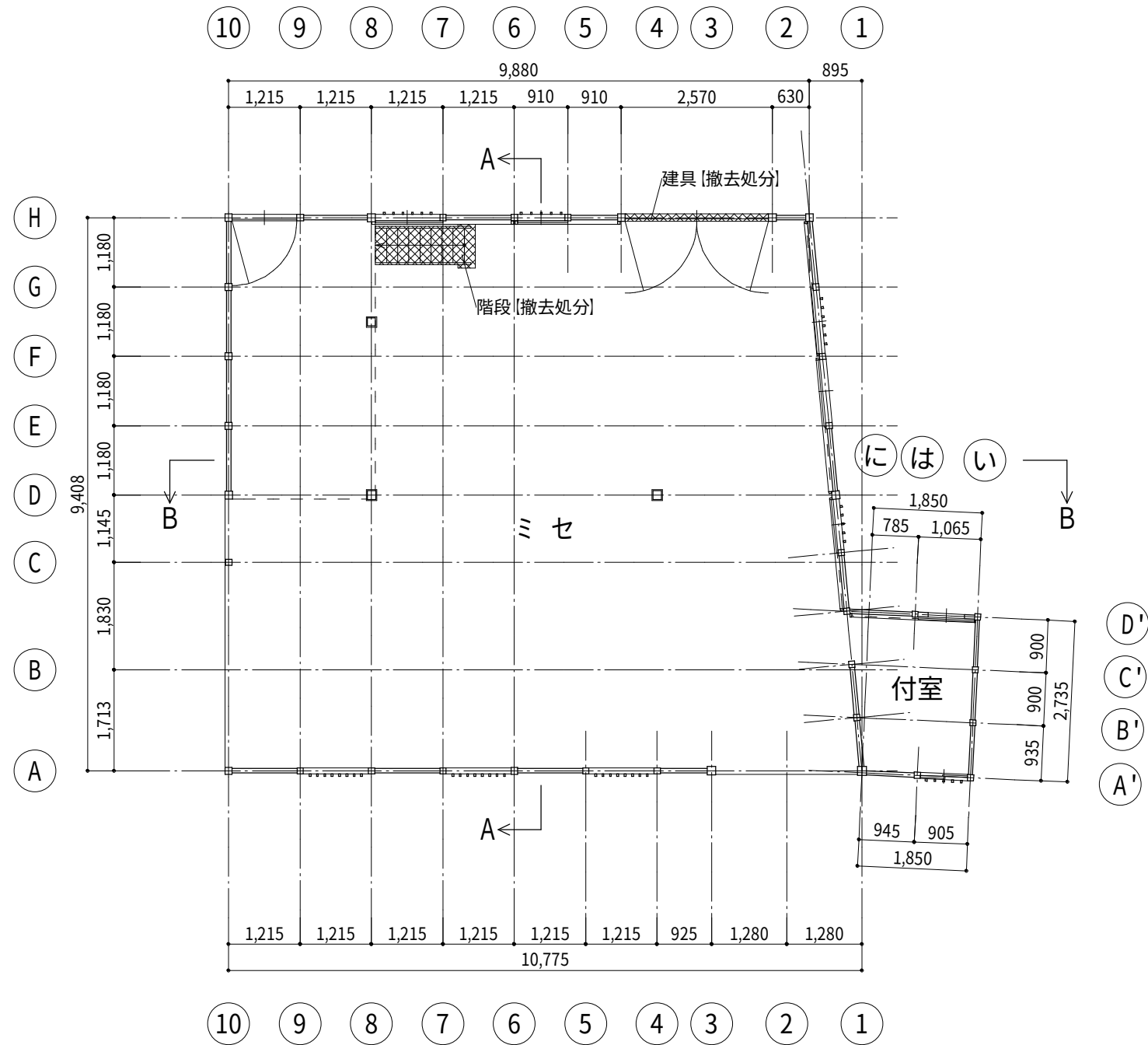
沓摺の材質及び形状		
符号	種 類	1. なし
S	スチール	
ST	ステンレス	
A	アルミ	2. 目地棒:FB-30x6
TB	テラゾーブロック	
M	モルタル	
W	木	3. ドア厚幅
B	真鍮	
		4. 建具枠幅
		5. 建具枠幅

特記事項	

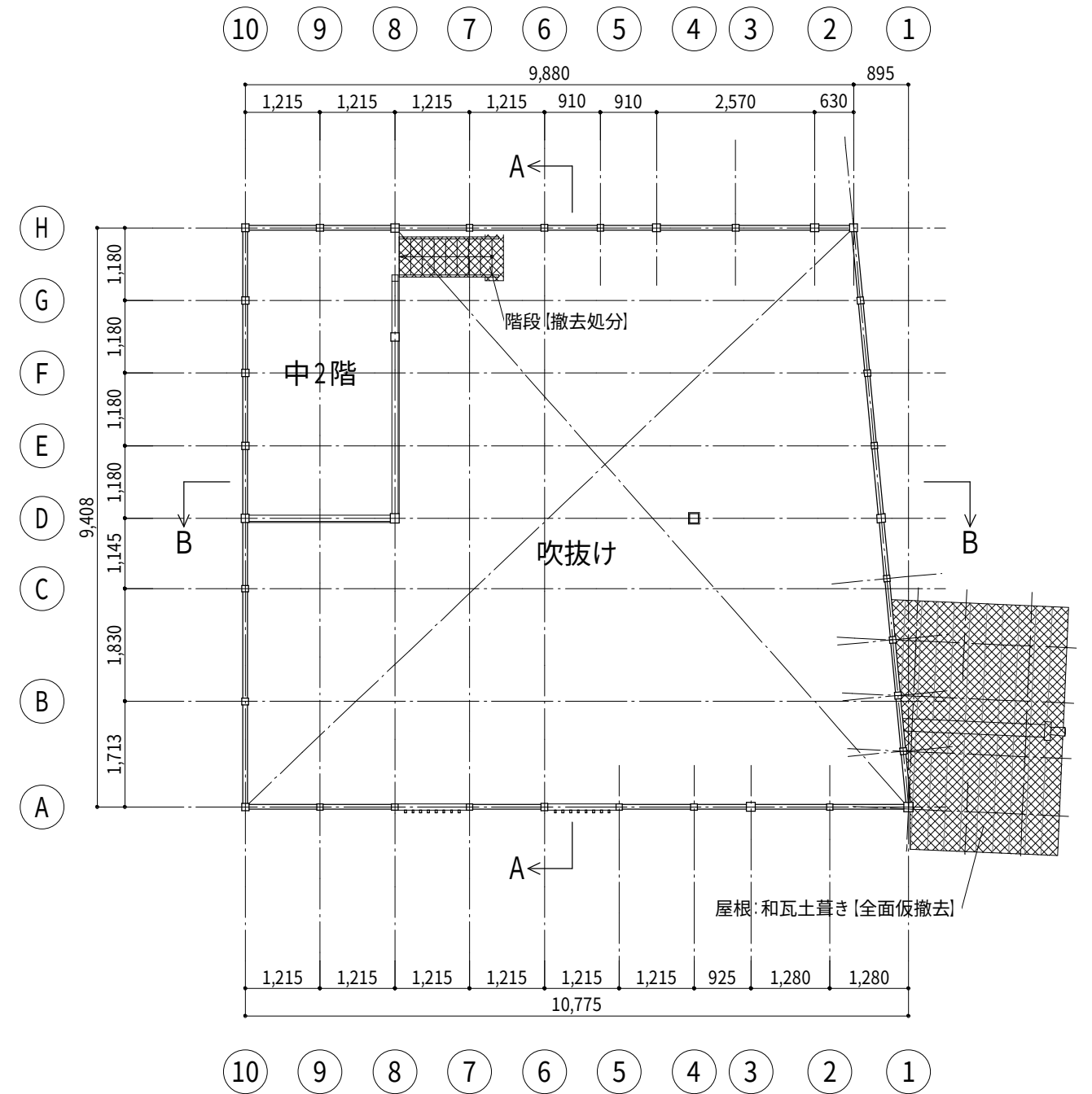
記号	c101 WD × 1	c102 WD × 1	c103 WD × 1	c104 WD × 1	c105 WD × 1
室 名	玄関	店舗	店舗	店舗	店舗
姿 図					
型 式	既存 木製格子戸・引違い	木製ガラス格子戸・引違い	木製ガラス格子戸・片引き	既存 木製ガラス格子戸・引違い	既存 木製ガラス格子戸・2段 引違い
見 込	***	30	30	***	***
材 料	(既存のまま)	杉	杉	(既存のまま)	(既存のまま)
仕 上	(既存のまま)	—	—	(既存のまま)	(既存のまま)
硝 子	—	SL：FL3+A6+FL3（フロスト）	SL：FL3+A6+FL3（フロスト）	(既存のまま)	(既存のまま)
付属金物	引手（既存のまま）・SUS戸車（取替）	引手・引違錠・SUS戸車	引手・シリンダー錠×2・鎌錠 SUS戸車	引手（既存のまま）・引違錠（新設）	引手（既存のまま）・引違錠（新設）
沓 摺	—	SUS甲丸レール	SUS甲丸レール	—	—
備 考	既存建具補修（劣化・破損部補修）			既存建具補修（劣化・破損部補修）	既存建具補修（劣化・破損部補修）
記号	c106 WD × 1	c107 WD × 1	c108 WD × 1	c109 WD × 1	c110 WD × 1
室 名	店舗	店舗	店舗	店舗	店舗
姿 図					
型 式	木製ガラス框戸・引違い	木製ガラス框戸・引違い	木製ガラス框戸・FIX	既存 木製ガラス格子戸・引違い	既存 木製ガラス格子戸・引違い
見 込	30	30	30	***	***
材 料	杉	杉	杉	(既存のまま)	(既存のまま)
仕 上	—	—	—	(既存のまま)	(既存のまま)
硝 子	SL：FL3+A6+FL3	SL：FL3+A6+FL3（フロスト）	SL：FL3+A12+FL3（フロスト）	(既存のまま)	(既存のまま)
付属金物	引手・引違錠・SUS戸車	引手・引違錠・SUS戸車	—	—	—
沓 摺	真鍮甲丸レール	真鍮甲丸レール	—	—	—
備 考				既存建具補修（劣化・破損部補修）	既存建具補修（劣化・破損部補修）

建具の符号と種類		
符号	種 類	
SSD	ステンレス製扉	
SD	スチール製扉	
AD	アルミ製扉	
WD	木製扉	
TD	強化ガラス扉	
ADW	ステンレス製窓	
SW	スチール製窓	
AW	アルミ製窓	
WW	木製窓	
LS	軽量スチールシャッター	
SS	重量スチールシャッター	
HD	戸襖	
P	障子	
SP	スチール製パーティション	
AP	アルミ製パーティション	
ガラスの符号と種類		
符号	種 類	
FL	フロートガラス	
F	型板ガラス	
PW	網入型板ガラス	
PWL	線入型板ガラス	
PWH	網入磨板ガラス	
WHNL	線入磨板ガラス	
HR	熱線反射ガラス	
BFL	熱線吸収フロート板ガラス	
HWP	熱線吸収線入磨板ガラス	
HNP	熱線吸収網入磨板ガラス	
SL	複層ガラス	
HSP	倍強度フロート板ガラス	
HSPB	倍強度熱線吸収フロート板ガラス	
STP	学校用強化ガラス	
STPF	学校用強化型板ガラス	
沓摺の材質及び形状		
符号	種 類	1. なし
S	スチール	
ST	ステンレス	
A	アルミ	2. 目地棒; FB-30x6
TB	テラゾーブロック	
M	モルタル	
W	木	3. ドア厚幅
B	真鍮	
		4. 建具枠幅
		
		5. 建具枠幅
		
特記事項		

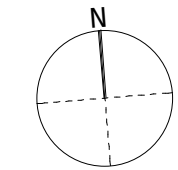
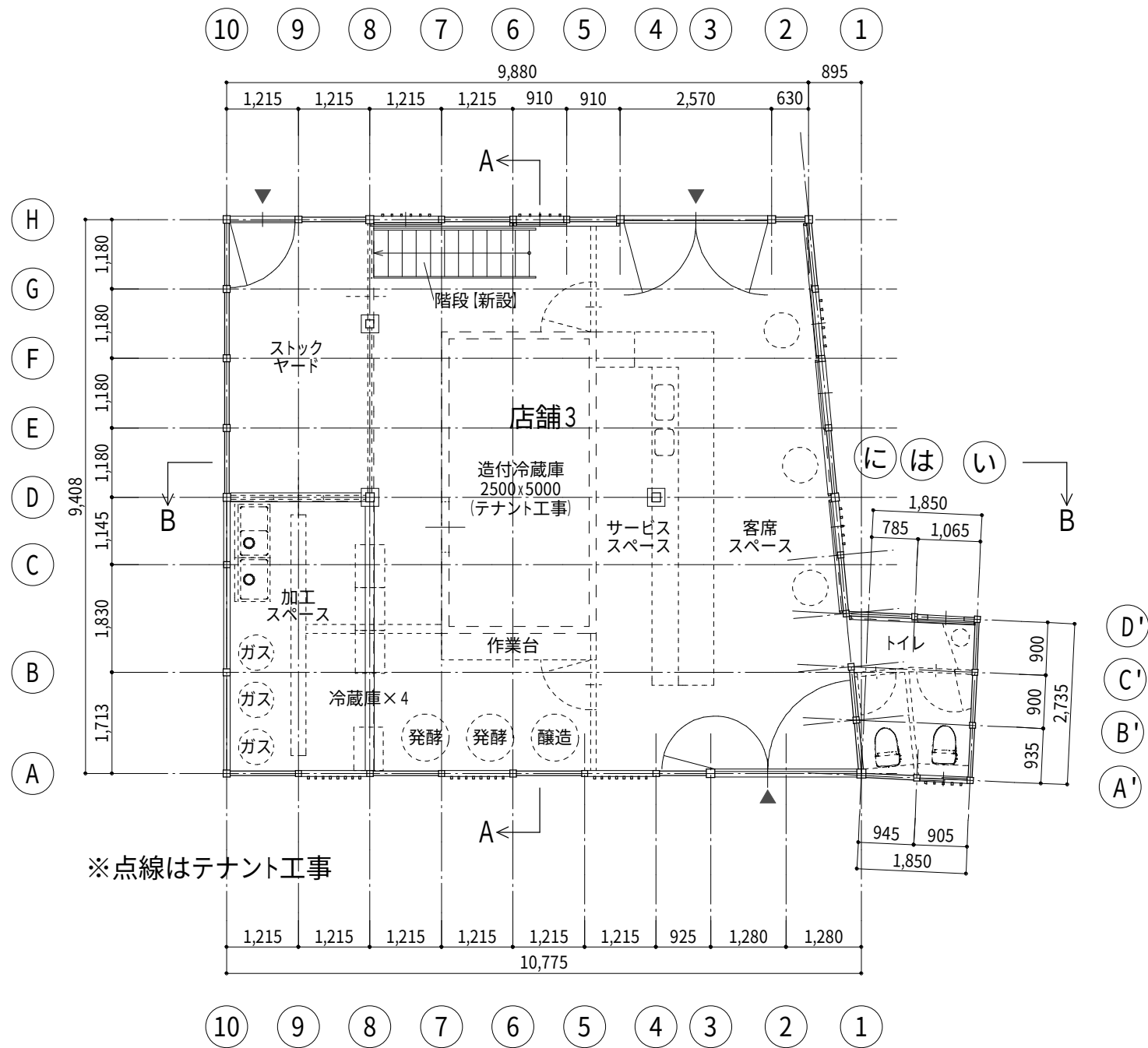
現況



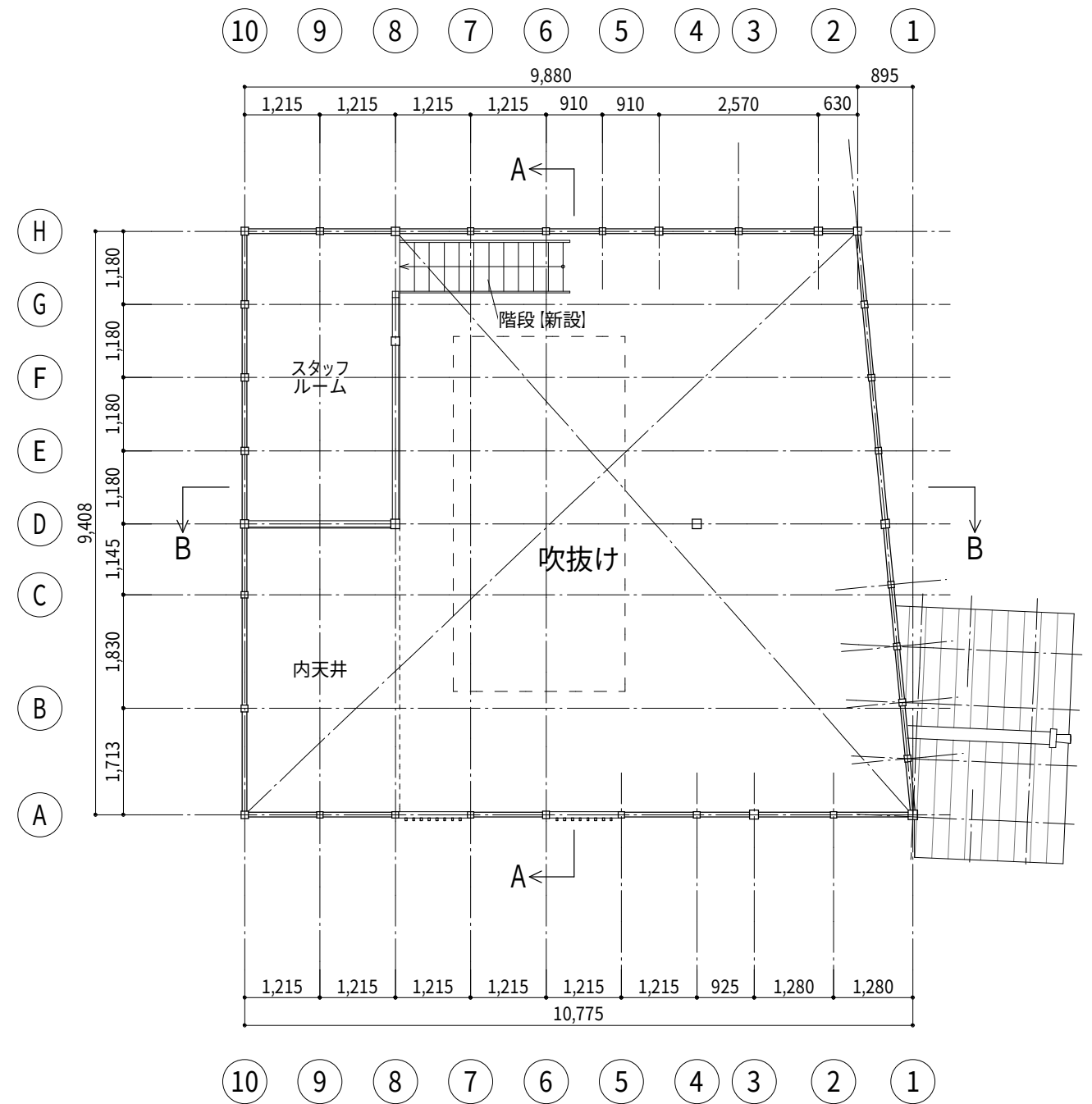
1階



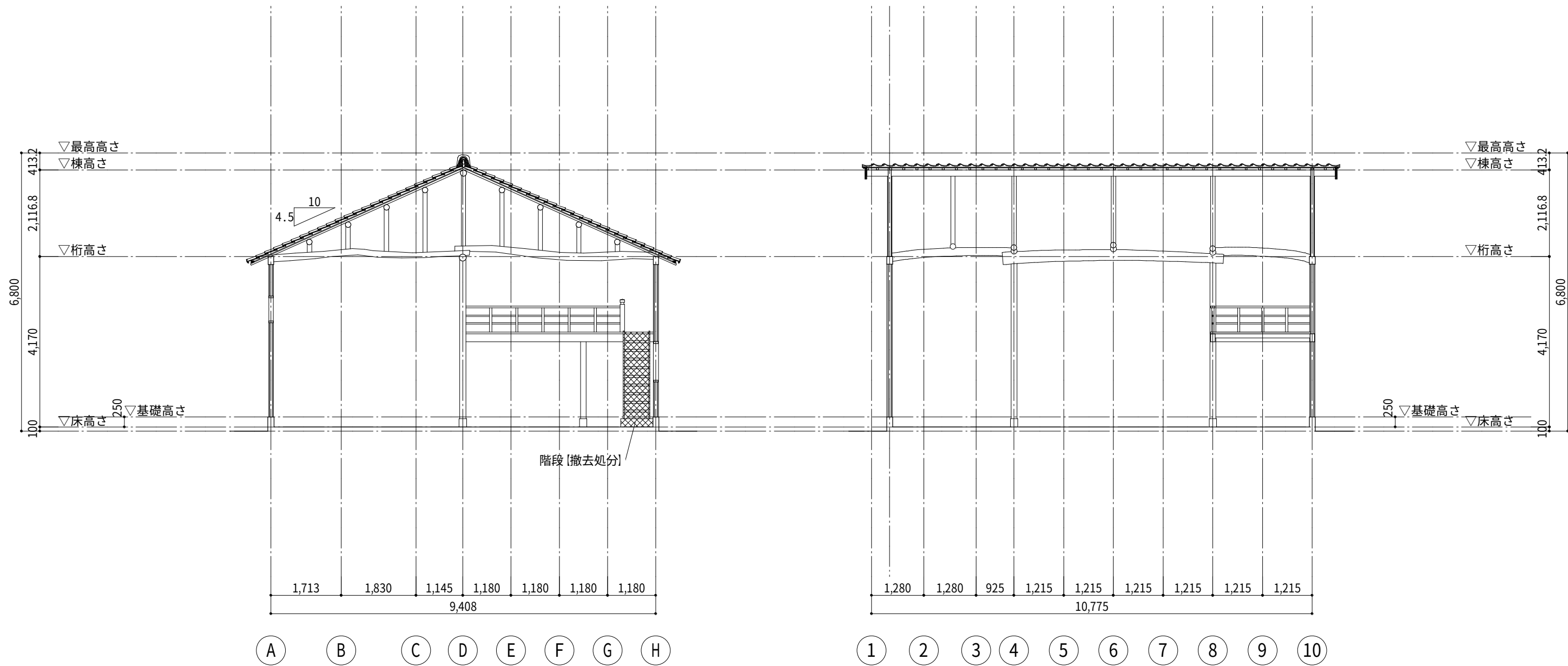
中2階



1階

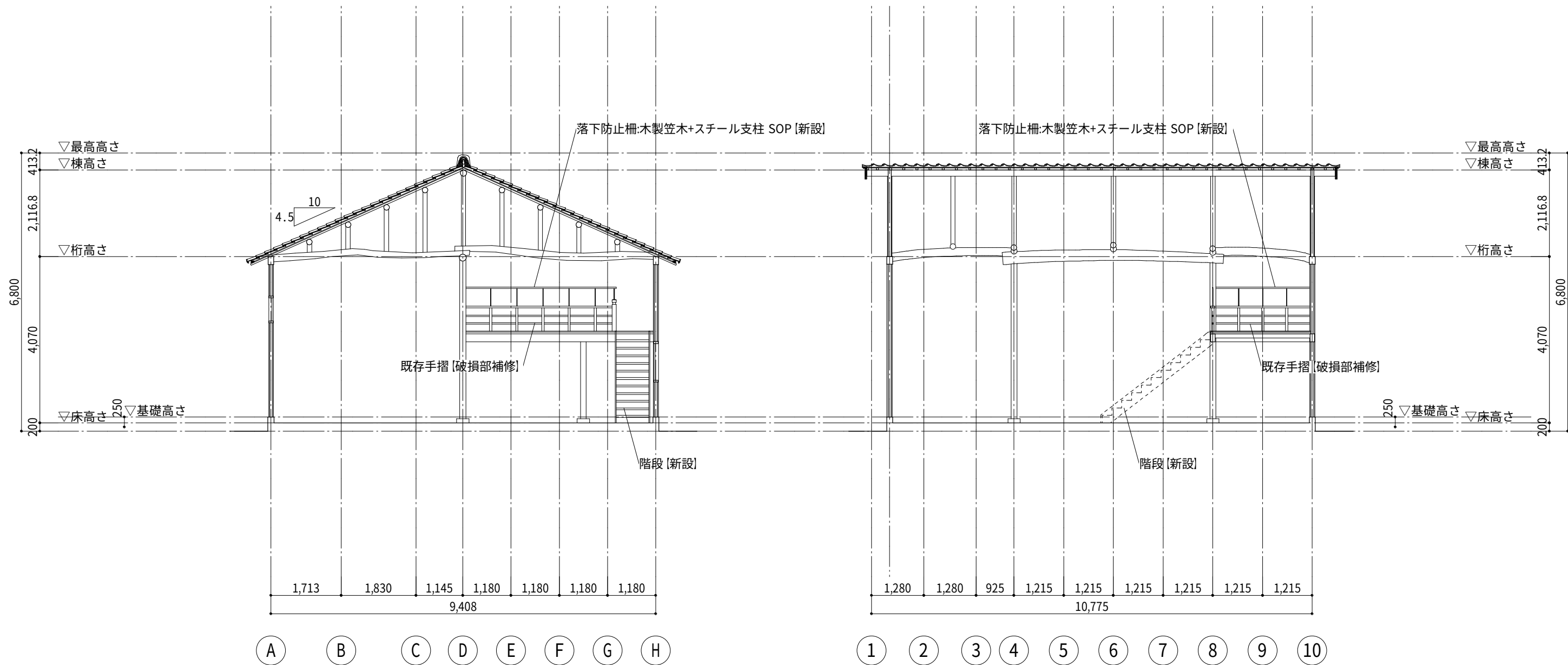


中2階



A－A断面

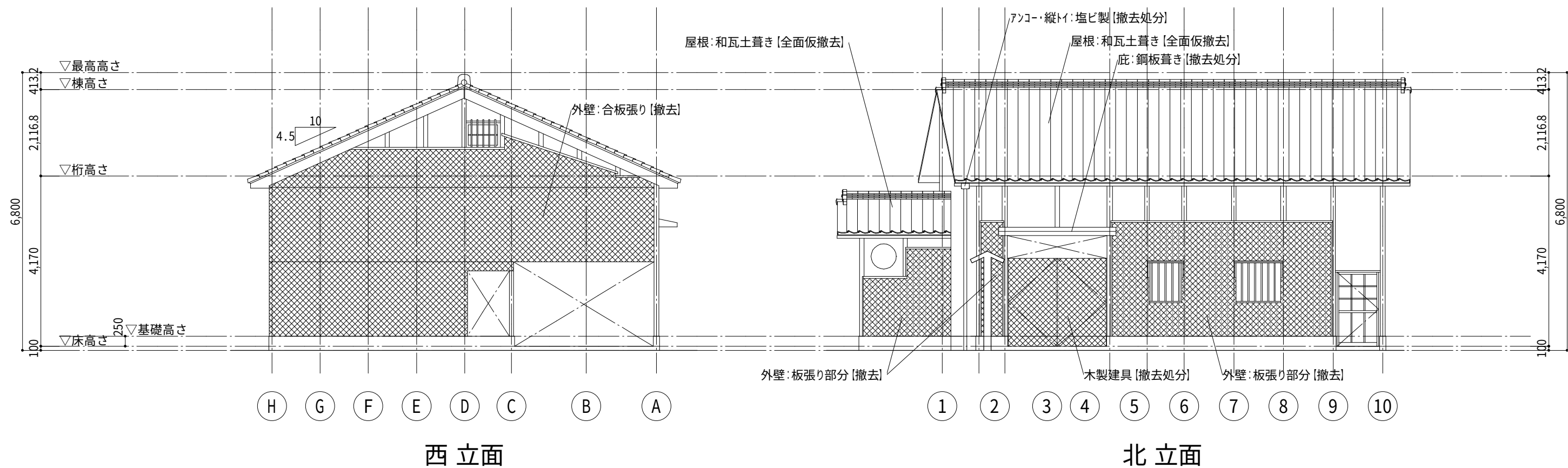
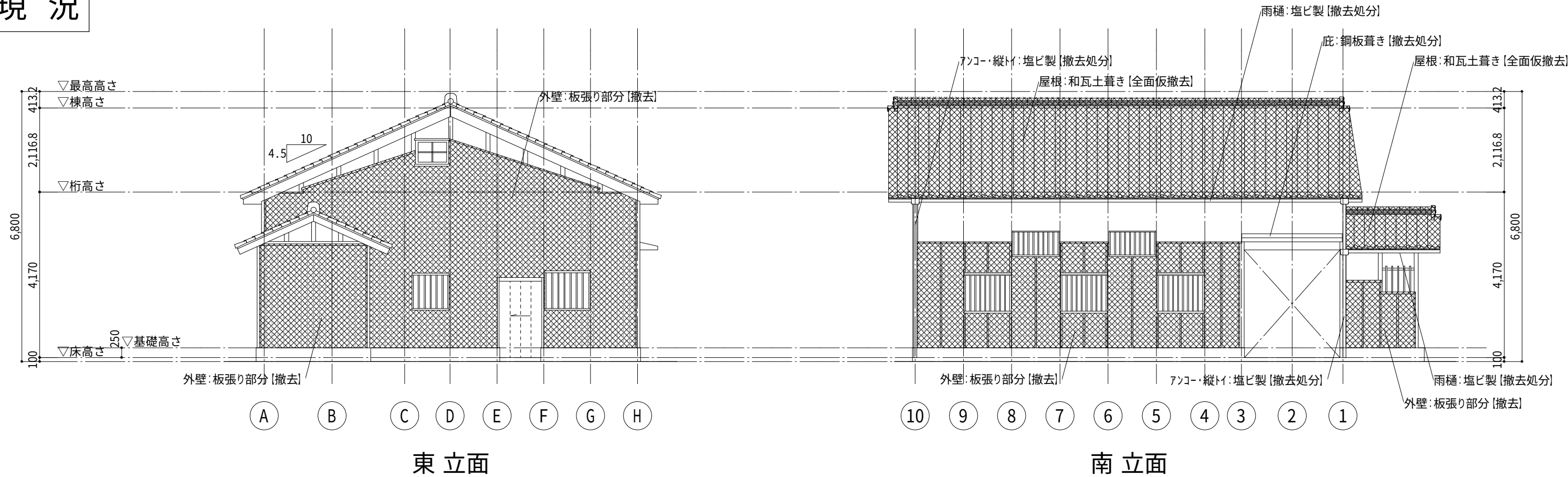
B－B断面



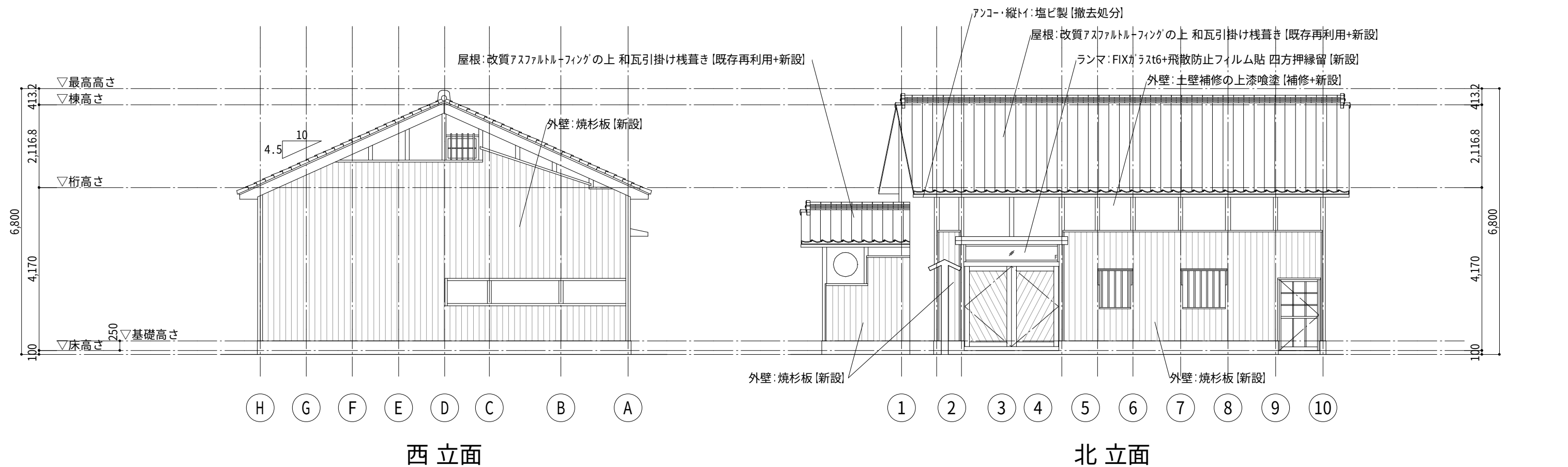
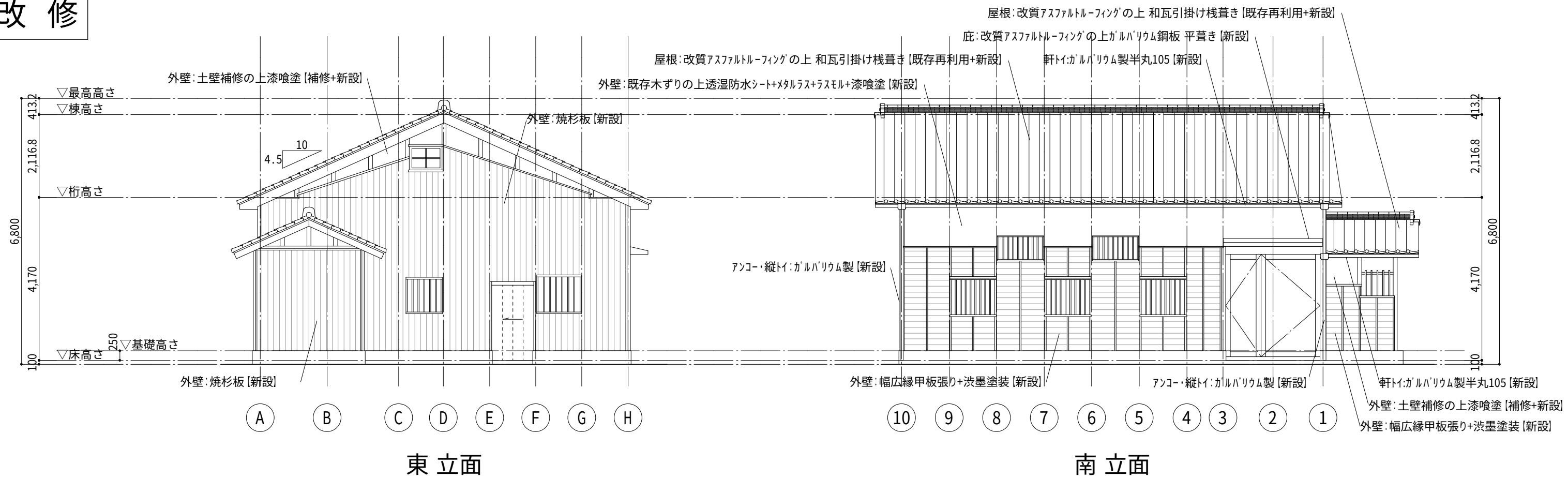
A－A断面

B－B断面

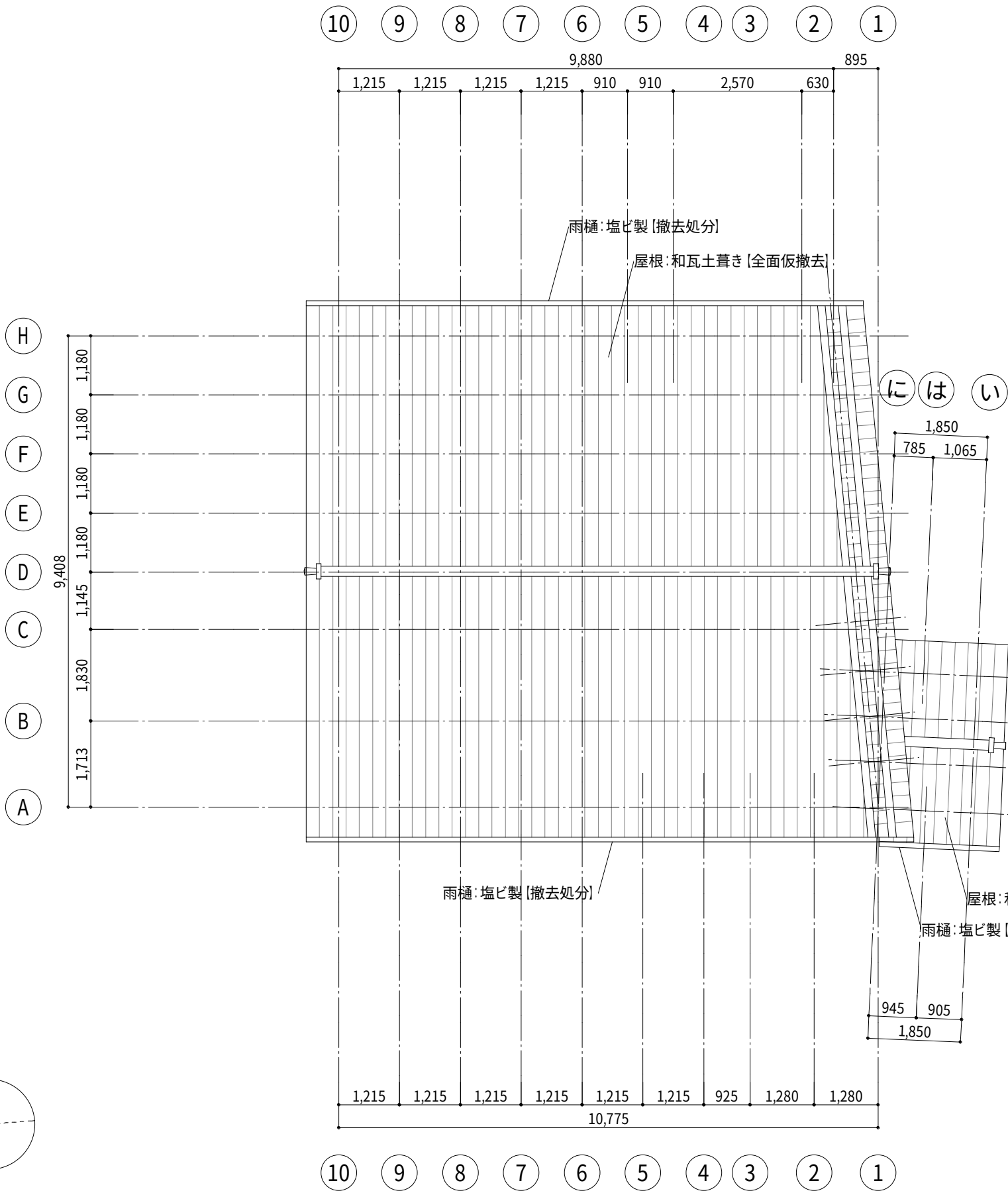
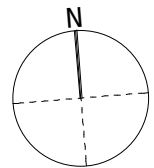
現 況



改修



現 況



ミセ東工事概要

■屋根

- ・既存の和瓦土葺きを全面仮撤去する。
- ・既存瓦を全数点検し、再利用可能なものは穴あけ加工の上再利用、不足する瓦は新規瓦とする。
- ・既存葺き土は、外構工事の築山部で再利用する。
- ・既存野地板の劣化破損部は撤去し補修する。
- ・既存野地板の上に構造用合板t9を全面敷き込む。
- ・新規構造用合板t9の上に改質アルファルトルーフィングを敷設し、全面引掛け棧瓦葺きで修繕する。
- ・棟瓦、袖瓦、鬼瓦は現況の意匠を継承する。

■外壁

- ・既存板張りは全面撤去処分する。
- ・既存土壁は劣化部分を補修し、耐震性を復元する。
- ・既存漆喰部分は劣化部分は撤去し、全面補修する。

■樋

- ・既存塩ビ製樋は全て撤去処分する。
- ・ガルバリウム製の樋を新設する。

■基礎補強

- ・既存土間コンクリートの上に差し筋 (D10 L=120 @600㌢程度) を設置し、鉄筋コンクリート (t=100 D10@300㌢程度) で増し打ちを行う。
- ・独立基礎は、□300となるように、コンクリート巻きを行う。
- ・鉄筋コンクリート増し打ちスラブと、全ての柱をアンカーボルト等で緊結する。

■内部

- ・既存の腰板壁を全面撤去処分する。
- ・既存土壁は劣化部分を補修し、耐震性を復元する。
- ・付室部分の内装仕上材は全面撤去処分する。
- ・既存の階段を撤去し、基準法に適合した木製階段を新設する。
- ・中二階手摺の破損部分を補修し、落下防止柵を新設する。
- ・中二階部分は既存床板の上に捨て根太h=15を敷設し、その上にヒノキ縁甲板t15を新設する。
- ・既存の木製建具を補修し、再利用する。
- ・建具のない開口部には木製ガラス框戸を新設する。

■給排水設備

- ・テナント工事で予定している衛生設備位置に合わせて、増し打ちスラブ上キャップ留め等までとする。

